

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業

エイズ予防のための戦略研究 総合研究報告書

課題 2

都市在住者を対象とした HIV 新規感染者及び AIDS 発症者を 減少させるための効果的な広報戦略の開発 別添報告書：2007 年実施の形成調査結果報告書

研究リーダー：木原正博（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻社会疫学分野）

研究要旨

研究目的及び方法

若者もしくは中高年の男女におけるHIV/性感染症(STD)関連情報のニーズ、HIV(STDへのリスク認知、HIV(STD検査への阻害要因・促進要因を明らかにし、介入開発に資するために大阪府下で以下の集団を対象に、量的調査、質的調査を2007年5-7月にかけて実施した。

①一般集団の量的調査(対象：自動車教習所受講生、M社パソコンモニター、C社世帯モニター)、
②フォーカス・グループ・インタビューによる質的調査(対象：大阪市内在住の20歳前半の若者男女、40歳以上の中高年の男女(合計20名以上)、③HIV検査受検者に対する質的調査(対象：HIV感染者、パソコンモニター、保健所受検者)、④STD受診者に対する量的調査(対象：大阪府内の6協力医療機関を調査期間内(2007年6月)に訪れた受診者312名)。

研究結果

形成調査より、介入設計において留意すべき点として概略以下のような結果が得られた。

(1) 啓発キャンペーンに関する戦略

①中年以上では、男女とも大阪でのHIV流行が重要。女性では、女性の方がHIVに感染しやすいことも重要。②若者では、男女とも、HIVより、STDに対する重要感が高いため、STDに重点を置く。③若者では、STDについては、男女共、大阪での流行、無症状であること、口からの感染、母子感染、女性に多いことが重要度が高い。HIVに関しては、大阪での流行、STDがHIV易感染性を高めること、感染がわかつても国に報告されないことが重要度が高い。④若者では、男性はSTDで副睾丸炎、女性では不妊になることに関心が高く、男女別キャンペーンが必要。⑤STD受診者では、大阪でのHIV流行、女性の易感染性、夜間休日検査が、重要度が高い。

(2) 検査サービスの改善に関する戦略

1) 短期戦略としての重点：①どこの保健所でもHIV検査を受けられるという情報。②中高年の人々がプライバシーに不安を持つことのない検査システムの導入。③匿名でも誤通知が生じないことう情報。④HIV検査の方法、手順、カウンセリングについての情報。⑤HIV検査で治療法の紹介やカウンセリングが受けられること等についての情報。⑥若者が受けやすい場所での検査機会を創出すること。

2) 中期戦略としての重点

a. 保健所の検査：①何の検査に来たかを受付で言わなくてよいシステムの工夫。②保健所等での待合室のあり方(プライバシー確保)の改善。③保健所等での告知の際のプライバシー。④保健所職員の対応や言動のあり方の改善。⑤性的指向に配慮したサービスの導入。⑥若者向けの無料匿名のSTD検査の導入。

b. 医療機関の検査：①検査目的を受付で言わずに済むシステムの工夫。②医療機関での告知や対応のあり方の改善。③医療機関でのHIV(STD)検査価格のインターネット上の公開促進。④中高年者がプライバシー漏洩に不安のない検査システムの導入。⑤STDの検査が尿検査でできることの啓発。

3) 長期戦略：①公的な検査機会の数、場所、日時のバラエティーを増やす。②即日検査のニーズにもっと応えられるようにする。③一般検診や健康診断時のHIV(STD)検査導入の可能性を検討する。

1. はじめに

都市在住者を対象とした HIV 新規感染者及び AIDS 発症者を減少させるための効果的な広報戦略の開発に関する研究では、啓発対象となる集団の、①STD・HIV 感染リスクの認知の促進に寄与する要因、及び②STD 検査の受検あるいは HIV 検査の受検の促進に寄与する要因を明らかにすることによって、啓発プログラムで発信すべき最も効果・効率の高いメッセージや支援情報リソース(Web サイト)の開発に資するデータを獲得すること」を目的に、以下の 8 つの形成調査を実施した。

- ・ 形成調査 1 : 大阪府内の自動車教習所受講者を対象としたエイズ/性感染症の知識・認識調査
- ・ 形成調査 2 : 大阪市在住のパソコンモニターを対象としたエイズ/性感染症の知識・認識調査
- ・ 形成調査 3 : 大阪府在住の世帯モニターを対象としたエイズ/性感染症の知識・認識調査
- ・ 形成調査 4 : 大阪市内在住の若者・中高年者におけるエイズ/性感染症に関する知識、認識、受検阻害要因等についての質的研究
- ・ 形成調査 5 : HIV 感染者を対象とした HIV 検査の問題点に関する調査
- ・ 形成調査 6 : 大阪府在住のパソコンモニターを対象とした HIV 検査の問題点に関する調査
- ・ 形成調査 7 : 大阪府内の保健所 HIV 検査受検者を対象とした HIV 検査の問題点に関する調査
- ・ 形成調査 8 : 大阪府内の STD 医療機関患者を対象としたエイズの知識・認識調査

本報告書では、形成調査 4 以外について結果を報告する。形成調査 4 (フォーカス・グループ・インタビューに関するもの) は、他の 7 調査で使用する質問票の質問項目の妥当性を検討するために行われたもので、その結果は他 7 調査の質問票を作成する段階すでに吸収されているためである。なお、形成調査 6 の量的質問項目については、質問が曖昧なものがあり、誤回答が生じたので集計からは割愛した。

以上の調査は、以下の 2 つの目的で実施された。

- ・ HIV/STD 関連知識の普及度と重要性の認識度を測定し、その比較から広報キャンペーングのメッセージをポジショニングすること(形成調査 1、2、3、8 の知識に関する量的項目)
- ・ 保健所と医療機関における HIV 検査の改善に資する情報を得ること(形成調査 1、2、3、8 の検査に関する量的項目と質的項目、形成調査 5、6、7 における量的項目と質的項目)

以下、目的別に調査結果を記述する。

2. 方法と対象者

(1) 形成調査 1 : 大阪府内の自動車教習所受講者を対象としたエイズ/性感染症の知識・認識調査

ア. 研究デザイン

横断的記述疫学・分析疫学的研究

イ. 実施予定期間:調査

2007 年 5 月後半

ウ. 研究対象者の選択基準とサンプル数

大阪府内の複数の自動車教習所を受講する若者男女の中から、研究内容の説明文書(資料1)に同意し、回答した 500 名(20-29 歳:男性 250 人、女性 250 人)を対象とした。

エ. 調査方法

自記式質問票(資料2)によるオンライン調査。

オ. 質問票の構成

a. 属性:年齢、性別、居住地

b. STD に関する項目:STD に関する関心・リスク認知・検査意図、性器クラミジアに関する知識の有無、性器クラミジアに関する知識への個人的重要感、STD 検査に対する態度

c. エイズに関する項目:エイズに関する関心・リスク認知・検査意図、エイズに関する知識の有無、エイズに関する知識への個人的重要感、エイズ検査に関する態度

d. 性行動に関する項目:性経験、複数パートナー経験、コンドーム使用

e. その他:エイズキャンペーンへの接触度

カ. 倫理的配慮

a. 研究の侵襲性への配慮

本調査は、質問事項の一部に性行動に関する内容を含むため、回答者によっては不快感を覚える可能性がある。そのために、以下の配慮を行った。

- ・性行動に関する質問は 3 間にとどめる。
- ・アンケートの前文に、「性感染症やエイズに関する知識やご認識などをお聞きする内容が中心ですが、性行動に関する質問が数問含まれます」という文章をいれ、参加の判断がしやすいようにする。
- ・「説明と同意」のところで示したように、参加が任意であり、答えたくない質問は解答しなくてよいこと、途中で参加を取りやめられることを研究の主旨と共に説明文書に明記し、調査開始前に担当者が参加者に説明する。
- ・連絡先を明記し、質問や苦情、不安などに対応できるようとする。また、要望があれば、STD・HIV の相談窓口、STD もしくは HIV の検査・治療の専門家を紹介する。

b. 個人情報の保護

本研究の実施は、世界医師会ヘルシンキ宣言(2004 年東京改訂)の趣旨に沿い、厚生労働省「臨床研究に関する倫理指針(平成 16 年 12 月 28 日全部改正)」及び「疫学研究に関する倫理指針(平成 17 年 6 月 29 日一部改正)」に準拠して、倫理の一般原則、すなわち人権尊重の原則、最善の原則、公正の原則、無危害の原則を踏まえて、以下のとおり、個人情報の保護について配慮を行う。

c. データの匿名化

本調査で用いる質問票には個人の同定につながる情報の記入は一切求めない。

d. 個人情報および個人データの取扱者の範囲

- ・調査の実施とデータ入力は社団法人中央調査社に委託するが、同社から受け取った調査データは、研究リーダーの所属す

る京都大学大学院医学研究科社会疫学分野の研究者及び本戦略研究課題の研究協力者のみ取り扱い可能とする。

・なお、中央調査社は、プライバシーマーク（登録番号：12390032）を取得しており、個人情報保護方針として「個人情報の取扱いに関する法令や国が定める指針、及び、当社が加盟している社団法人 日本マーケティング・リサーチ協会が定める『マーケティング・リサーチ綱領』、『マーケティング・リサーチ産業 個人情報保護ガイドライン』その他の規範を遵守」する旨宣言している。

e. データの保存及び廃棄

データは、ネット環境から切り離すために、専用の高速大容量メモリースティックに保存し、分析及びデータ保管は、それを用いて行う。同メモリースティックは、京都大学大学院医学研究科社会疫学分野の鍵のかかるデータ保管庫に厳重な管理の下に保管し、研究終了後 5 年以内に廃棄する。記入済み質問紙は、データクリーニング後、3 ヶ月以内に廃棄する。

f. 説明と同意

調査の対象となる個人は、質問票調査の参加をもって参加同意を得たと見なす。調査の目的や参加が任意であり、答えたくない質問は解答しなくてよいこと、途中で参加を取りやめられることなどについて、調査開始前に説明文書(別添1)を手渡して説明する。

キ. 費用負担および謝礼

研究参加にあたっての回答者の費用負担は発生しない。また、研究参加謝礼として、その場で 1000 円程度の謝品を提供する。

(2) 形成調査 2：大阪市在住のパソコンモニターを対象としたエイズ/性感染症の知識・認識調査

ア. 研究デザイン

横断的記述疫学・分析疫学的研究

イ. 実施予定期間

調査:2007年5月後半

ウ. 研究対象者の選択基準とサンプル数

マクロミル株式会社に登録されたパソコンモニターで、2007年3月に実施した本戦略研究のベースライン調査の対象となった大阪府内居住の約5000人(20歳-59歳男女)の中から、ベースライン調査に含まれず、かつスクリーニングメール*で調査への参加意思を示したモニターのうち、さらに、研究内容の説明文書(別添1)に同意した1000名(20-35歳:男性250人、女性250人、36-59歳:男性250人、女性250人)を対象とした。

*スクリーニングメールの文面

「5月下旬ごろに、『エイズ予防に関するアンケート調査』を実施する予定です。このアンケートは、厚生労働省の厚生科学研究所による調査で、今後のエイズ啓発の効果を高めるのに必要な情報を集めることを目的として行われるもので、性感染症やエイズに関する知識やご認識などをお聞きする内容が中心ですが、性行動に関する質問が数問含まれます。この調査にご協力いただけますか? なお、ご希望をいただいても、抽選で対象にならない場合がありますので、予めご了承ください。」

エ. 調査方法

マクロミル社ホームページ上に説明文(資料3)と質問票(資料4)を掲示し、回答同意者がパスワードでアクセスして回答する。

オ. 質問票の構成

a.属性:年齢、性別、居住地

b.STDに関する項目:・STDに関する関心・リスク認知・検査意図、性器クラミジアに関する知識の有無、性器クラミジアに関する知識への個人的重要感、STD検査に対する態度

c.エイズに関する項目:エイズに関する関心・リスク認知・検査意図、エイズに関する知識の有無、エイズに関する知識への個人的重要感、

エイズ検査に関する態度

- d.性行動に関する項目:性経験、複数パートナー経験、コンドーム使用
- e.その他:エイズキャンペーンへの接触度

カ. 倫理的配慮

a.研究の侵襲性への配慮

本調査は、質問事項の一部に性行動に関する内容を含むため、回答者によっては不快感を覚える可能性がある。そのために、以下の配慮を行った。

- ・スクリーニング段階で、予め性行動に関する質問が一部含まれることを示し、選択できるようにする。
- ・性行動に関する質問は3間にとどめる。
- ・アンケートの前文に、「性感染症やエイズに関する知識やご認識などをお聞きする内容が中心ですが、性行動に関する質問が数問含まれます」という文章をいれ、参加の判断がしやすいようにする。
- ・アンケート回答前にも、参加が任意であり、答えたくない質問は解答しなくてよいこと、途中で参加を取りやめられることを明記し、そのように質問画面をプログラムする。
- ・連絡先を明記し、質問や苦情、不安などに対応できるようにする。また、要望があれば、STD・HIVの相談窓口、STDもしくはHIVの検査・治療の専門家を紹介する。

b.個人情報の保護

本研究の実施は、世界医師会ヘルシンキ宣言(2004年東京改訂)の趣旨に沿い、厚生労働省「臨床研究に関する倫理指針(平成16年12月28日全部改正)」及び「疫学研究に関する倫理指針(平成17年6月29日一部改正)」に準拠して、倫理の一般原則、すなわち人権尊重の原則、最善の原則、公正の原則、無危害の原則を踏まえて、以下のとおり、個人情報の保護について配慮を行う。

c.データの匿名化および連結可能性

調査の実施とデータ収集は、株式会社マク

ロミルに委託する。本調査で用いる質問票には個人の同定につながる情報の記入は求めない。また、調査データは、マクロミル社から連結不能なデータにして受け取り、回答データは全て任意の ID で管理する。

- d.個人情報および個人データの取扱者の範囲
 - ・マクロミル社から受け取った調査データは、研究リーダーの所属する京都大学大学院医学研究科社会疫学分野の研究者及び本戦略研究課題の研究協力者のみ取り扱い可能とする。連結可能な原データはマクロミル社(2000年1月31日設立)で管理される。
 - ・なお、同社は、プライバシーマーク(登録番号:C820042(02))を取得しており、調査対象者の個人情報の保護に関しては、マーケティング・リサーチ業界の国際行動規範である「ICC/ESOMAR 国際綱領」および社団法人日本マーケティング・リサーチ協会の定める「マーケティング・リサーチ綱領」を遵守する旨明記している。

e.データの保存及び廃棄

マクロミル社から受け取った調査データは、ネット環境から切り離すために、専用の高速大容量メモリースティックに保存し、分析及びデータ保管は、それを用いて行う。同メモリースティックは、京都大学大学院医学研究科社会疫学分野及び研究協力者の所属施設の鍵のかかるデータ保管庫に厳重な管理の下に保管し、研究終了後5年以内に廃棄する。

f.説明と同意

調査の対象となる個人は、質問票調査の参加をもって参加同意を得たと見なす。調査の目的について、オンライン上の説明文書によって説明する。

キ.費用負担および謝礼

研究参加にあたっての回答者の費用負担は発生しない。また、研究参加謝礼は、回答者にはマクロミル社から通常契約の謝礼(ポイント)が渡される。

(3) 形成調査3：大阪府在住の世帯モニターを対象としたエイズ/性感染症の知識・認識調査

ア. 研究デザイン

横断的記述疫学・分析疫学的研究

イ. 実施予定期間

調査:2007年5月後半

ウ. 研究対象者の選択基準とサンプル数

中央調査社に登録された大阪府内居住の40-59歳のモニター(約2000)からランダムに選んだ1000人(男女各500人)に、質問票を郵送する。回収率が通常約50%であるため、有効回答数は男女各約250人を予想している。予定回収数を達成するために、必要に応じて、督促もしくは代替サンプルの使用を考慮する。

エ. 調査方法

自記式質問票による郵送調査

オ. 質問票(資料6)の構成

a.属性:年齢、性別、居住地

b.STDに関する項目:STDに関する関心・リスク認知・検査意図、性器クラミジアに関する知識の有無、性器クラミジアに関する知識への個人的重要感、STD検査に対する態度

c.エイズに関する項目:エイズに関する関心・リスク認知・検査意図、エイズに関する知識の有無、エイズに関する知識への個人的重要感、エイズ検査に関する態度

d.性行動に関する項目:性経験、複数パートナー経験、コンドーム使用

e.その他:エイズキャンペーンへの接触度

カ.倫理的配慮

a.研究の侵襲性への配慮

本調査は、質問事項の一部に性行動に関する内容を含むため、回答者によっては不快感を覚える可能性がある。そのために、以下の配慮を行った。

- ・性行動に関する質問は3間にとどめる。
- ・アンケートの前文に、「性感染症やエイズに関する知識やご認識などをお聞きす

る内容が中心ですが、性行動に関する質問が数問含まれます」という文章をいれ、参加の判断がしやすいようにする。

- ・参加が任意であり、答えたくない質問は解答しなくてよいこと、途中で参加を取りやめられることを研究の主旨と共に説明文書(資料 5)に明記し、調査開始前に担当者が参加者に説明する。
- ・連絡先を明記し、質問や苦情、不安などに対応できるようにする。また、要望があれば、STD・HIV の相談窓口、STD もしくは HIV の検査・治療の専門家を紹介する。

b.個人情報の保護

本研究の実施は、世界医師会ヘルシンキ宣言(2004 年東京改訂)の趣旨に沿い、厚生労働省「臨床研究に関する倫理指針(平成 16 年 12 月 28 日全部改正)」及び「疫学研究に関する倫理指針(平成 17 年 6 月 29 日一部改正)」に準拠して、倫理の一般原則、すなわち人権尊重の原則、最善の原則、公正の原則、無危害の原則を踏まえて、以下のとおり、個人情報の保護について配慮を行う。

c.データの匿名化および連結可能性

本調査で用いる質問票には個人の同定につながる情報の記入は一切求めない。また、調査データは、中央調査社から連結不能なデータにして受け取り、回答データは全て任意の ID で管理する。d.個人情報および個人データの取扱者の範囲

- ・調査の実施とデータ入力は社団法人中央調査社に委託するが、調査票と個人のリンク同社から受け取った調査データは、研究リーダーの所属する京都大学大学院医学研究科社会疫学分野の研究者及び本戦略研究課題の研究協力者のみ取り扱い可能とする。
- ・なお、中央調査社は、プライバシーマーク（登録番号：12390032）を取得しており、個人情報保護方針として「個人情報

の取扱いに関する法令や国が定める指針、及び、当社が加盟している社団法人 日本マーケティング・リサーチ協会が定める『マーケティング・リサーチ綱領』、『マーケティング・リサーチ産業 個人情報保護ガイドライン』その他の規範を遵守」する旨宣言している。

d.データの保存及び廃棄

中央調査社から受け取った調査データは、ネット環境から切り離すために、専用の高速大容量メモリースティックに保存し、分析及びデータ保管は、それを用いて行う。同メモリースティックは、京都大学大学院医学研究科社会疫学分野の鍵のかかるデータ保管庫に厳重な管理の下に保管し、研究終了後 5 年以内に廃棄する。

e.説明と同意

調査の対象となる個人は、質問票調査の参加をもって参加同意を得たと見なす。郵送に際しては、調査の目的や内容、調査の目的や参加が任意であり、答えたくない質問は解答しなくてよいこと、途中で参加を取りやめられることなどを説明した説明文書を同封する。

キ. 費用負担および謝礼

研究参加にあたっての回答者の費用負担は発生しない。また、研究参加謝礼は、調査参加者には、後日、謝礼(500 円相当の図書券)を送付する。

(4) 形成調査 4：大阪市内在住の若者・中高年者におけるエイズ/性感染症に関する知識、認識、受検阻害要因等についての質的研究

ア. 研究デザイン

フォーカス・グループ・インタビューによる質的研究

イ. 実施予定期間:調査

2007 年 5 月後半

ウ. 研究対象者の選択基準とサンプル数

株式会社中央調査会社の持つモニターから、大阪市内在住の20歳代前半の若者および40歳代中高年者を、男女それぞれ少なくとも各5名ずつサンプリングする。テーマの広がりなどから、必要な場合には、さらにインタビューの追加実施を考慮する。

エ. 調査方法

大阪市内の交通の便利のよい場所に、静かでプライバシーの十分確保される場所を確保する(マジックミラー等を備えた所謂インタビュールームは使用せず、通常の遮音のよい室を使用する)。インタビューは「インタビューフロー」(資料7)に沿って行い、若者男性、若者女性、中高年男性、中高年女性は別々にインタビューを行う。ファシリテーターと記録者は参加者と同性である研究者が参加し、参加者全員の口頭による了解が得られた場合のみ、テープ録音と観察記録を探る。各インタビューは2時間までを目安とする。

オ. インタビューフローの構成

- ・質問票案の表面妥当性について
- ・STDに対する情報ニーズ・反応、検査の阻害要因・促進要因
- ・エイズに対する情報ニーズ・反応、検査の阻害要因・促進要因

カ. 予定される解析方法

テープ録音されたデータは中央調査社に依頼して逐語録化し、コード化した後、Excelに入力して、帰納的内容分析を行う。コード化の妥当性については、4人の研究者で話し合って決定する。

キ. 倫理的配慮

a. 研究の侵襲性への配慮

本調査では、性感染症やエイズに関するテーマが話題となる、回答者によっては不快感を覚える可能性がある。そのために、以下の配慮を行う。

- ・募集の際の説明文に、インタビューのテーマと、個人の行動を話題にすることがないことを説明し、対象者が事前に選択しやすいように

する。

- ・「説明と同意」のところで示したように、参加が任意であり、答えたくない質問は答えなくてよいこと、途中で参加を取りやめ退席できることを研究の主旨と共に説明文書に明記する。
- ・連絡先を明記し、インタビュー前後に、質問や苦情、不安などに対応できるようにする。また、要望があれば、STD・HIVの相談窓口、STDもしくはHIVの検査・治療の専門家を紹介する。

b. 個人情報の保護

本研究の実施は、世界医師会ヘルシンキ宣言(2004年東京改訂)の趣旨に沿い、厚生労働省「臨床研究に関する倫理指針(平成16年12月28日全部改正)」及び「疫学研究に関する倫理指針(平成17年6月29日一部改正)」に準拠して、倫理の一般原則、すなわち人権尊重の原則、最善の原則、公正の原則、無危害の原則を踏まえて、以下のとおり、個人情報の保護について配慮を行う。

c. データの匿名化および連結可能性

調査会社のパネルを活用するにあたって、対象者のプライバシーの保護のため個人の特定につながる質問は、文面、口頭いずれでも一切行わない。また、会話中は仮名を用いることで、個人が同定できないようにする。

d. 個人情報および個人データの取扱者の範囲

会話のテープ録音は事前に許可が得られた場合にのみ行い、また、録音テープおよび逐語録は、厳重な管理の下に保管し、研究担当者(本戦略研究課題の研究協力者の範囲)のみが接触できるようにする。

e. 個人情報および個人データの保管および処理の方法

録音テープおよび逐語録は、研究終了後5年以内に裁断の上廃棄する。

f. 説明と同意

調査の対象となる個人には、調査の目的について、口頭及び説明文書によって、研究の趣旨や意義、参加が任意であること、途中で参加をとりやめることが可能であること、答えたくない質問には回答する必要がないこと、参加をしなくても何ら不利益を生じることがないこと、データはすべて分析され、個人データが出ることが決してないことを事前に説明し、理解と同意が得られた場合にのみ参加を依頼する。同意した参加者には、「インタビューへの参加同意書」(資料8)に署名(仮名もしくは記号)をしてもらい、インタビューを開始する。

ク. 費用負担および謝礼

研究参加にあたっての回答者の費用負担は発生しない。また、回答者には参加謝礼として、インタビュー終了後に、交通費を含め8,000円の謝金を提供する。

(5) 形成調査5：HIV 感染者を対象としたHIV検査の問題点に関する調査

ア. 研究デザイン

自由記述回答を用いた質的研究

イ. 実施予定期間調査期間

国立大阪医療センターの倫理委員会の承認が得られた後、約2週間。

2007年6月初めから2週間を予定

ウ. 研究対象者の選択基準とサンプル数

国立大阪医療センターに通院するHIV陽性者で、研究協力者である主治医が、心理的・精神的状態を考慮して、参加可能と判断する人に、同主治医が参加を依頼する。同意が得られたHIV陽性者50名を目標数とする。目標数に達しなくとも、調査期間が終了した時点でリクルートを打ち切る。

エ. 調査方法

調査は以下の手順で実施した。

- 本戦略研究課題の研究協力者である主治医より説明文(資料9)を手渡して説明し、患者に調査に参加する意思があるかどうかを

確認する。

- 同意した患者に、同主治医が質問票を手渡す。
- 対象者は国立大阪医療センター内のプライバシーの守られる室でその日のうちに自ら質問票に記入し、回答後、封筒に密封して、同主治医に直接手渡す。
- 同主治医は質問票が密封されていることを確認し、厳重な管理の下に保管する。
- 同主治医は目標人数に達した時点で、本戦略研究課題のリーダー(木原正博)に連絡する。
- 研究リーダーは、同主治医より直接質問票を受け取る。

オ. 質問票の構成(資料10)

- 過去の検査経験に関する選択肢による項目
- 検査サービスにおいて経験した問題点、改善すべき点、よかつた経験などに関する自由記述

カ. 予定される解析方法

選択肢による回答項目は、Excelに入力して集計し、自由記述回答については、コード化の後、Excelに入力し、帰納的内容分析を行う。コード化の妥当性については、4人の研究担当者で話し合って決定する。

キ. 倫理的配慮

a. 研究の侵襲性への配慮

本調査は、過去の不快な記憶の想起を伴う可能性があるため、回答者によっては心理的な苦痛を覚える可能性がある。そのため、以下の配慮を行う。

- 研究協力者である主治医から、説明文を手渡すとともに、口頭で丁寧に調査の目的や、参加が全く任意であり、答えたくない質問には解答しなくてよいこと、途中で参加を取りやめられることを伝える。心理的動搖を少しでも生じる不安がある患者には、初めから調査の話自体をしないようにする。
- 連絡先を明記し、質問や苦情などに対応できるようにする。

・研究協力者である主治医と連携し、心理的な苦痛を感じた患者には、院内の HIV 専門のカウンセラーに相談できる体制を整える。

b. 個人情報の保護

本研究の実施は、世界医師会ヘルシンキ宣言(2004 年東京改訂)の趣旨に沿い、厚生労働省「臨床研究に関する倫理指針(平成 16 年 12 月 28 日全部改正)」及び「疫学研究に関する倫理指針(平成 17 年 6 月 29 日一部改正)」に準拠して、倫理の一般原則、すなわち人権尊重の原則、最善の原則、公正の原則、無危害の原則を踏まえて、以下のとおり、個人情報の保護について配慮を行う。

c. データの匿名化および連結可能性

本調査で用いる質問票には個人の同定につながる情報の記入は求めないし、自由記述にも、それを含めないように依頼する。

d. 個人情報および個人データの取扱者の範囲

研究協力者である主治医から受け取った質問票と入力されたデータは、研究リーダーの所属する京都大学大学院医学研究科社会疫学分野の研究者のみ取り扱い可能とする。

e. データの保存及び廃棄

研究協力者である主治医から受け取った質問票は、京都大学大学院医学研究科社会疫学分野の鍵のかかるデータ保管庫に厳重な管理の下に保管し、データ分析終了後 3 ヶ月以内に廃棄する。入力されたデータは、専用の高速大容量メモリースティックに保存し、分析及びデータ保管は、それを用いて行う。同メモリースティックは、質問票と同じシステムで厳重に管理する。

f. 説明と同意

研究協力者である主治医から、説明文を手渡すとともに、口頭で丁寧に調査の目的や、参加が全く任意であり、答えたくない質問は解答しなくてよいこと、途中で参加を取りやめられることを伝える。質問票調査の参加をもって参加同意を得たとみなす。

ク. 費用負担および謝礼

研究参加にあたっての回答者の費用負担は発生しない。また、研究参加者には、謝礼として、1000 円の図書券を主治医より進呈する。

(6) 形成調査 6：大阪府在住のパソコンモニターを対象とした HIV 検査の問題点に関する調査

ア. 研究デザイン

自由記述回答を用いた質的研究

イ. 実施予定期間

調査期間:2007 年 6 月前半

ウ. 研究対象者の選択基準とサンプル数

2007 年 3 月に、本戦略研究課題のベースライン調査として実施されたマクロミル社のパソコンモニター調査で、過去 1 年間に HIV 検査を受けたと回答した大阪府在住の人々(約 150 名)を対象とする。スクリーニングメール*で調査への参加意思を示したモニター人々のうち、さらに、研究内容の説明文書(別添 1)に同意した人々を対象とする。100 名を目標とし、大阪府内在住者で必要数に満たない場合には、過去 1 年間に大阪府内で HIV 検査を受けたに大阪府外の在住者も対象者として考慮する。

*スクリーニングメールの文面

「5 月中ごろに、『HIV 検査サービスのあり方に関する基礎調査』を実施する予定です。このアンケートは、厚生労働省の厚生科学研究による調査で、今後の HIV 検査のよりよいあり方の検討に資する情報を集めることを目的として行われるもので、質問は、これまでに、保健所等の公的 HIV 検査や一般医療機関での HIV 検査を受けた経験のある方に、その時の印象とそれに基づくご意見・ご提案をお聞きする内容となっています。この調査にご協力いただけますか？」

エ. 調査方法

マクロミル社ホームページ上に説明文(資料 11)と質問票(資料 12)を掲示し、回答同意者がパスワードでアクセスして回答する。

オ. 質問票の構成

- ・過去の検査経験に関する選択肢による項目
- ・検査サービスにおいて経験した問題点、改善すべき点、よかつた経験などに関する自由記述

カ. 予定される解析方法

選択肢による回答項目は、Excel で集計し、自由記述回答については、コード化の後、Excel に入力し、帰納的内容分析を行う。コード化の妥当性については、4 人の研究担当者で話し合って決定する。

キ. 倫理的配慮

a. 研究の侵襲性への配慮

本調査は、過去の不快な記憶の想起を伴う可能性があるため、回答者によっては心理的な苦痛を覚える可能性がある。そのために、以下の配慮を行う。

- ・質問票を送付する前に、スクリーニングメールによって、調査の目的を明示し、選択できるようにする。
- ・「説明と同意」のところで示したように、アンケート回答前にも、参加が任意であり、答えたくない質問は解答しなくてよいこと、途中で参加を取りやめられることを明記し、そのように質問画面をプログラムする。
- ・連絡先を明記し、調査に対する質問や苦情などに対応できるようにする。
- ・エイズ予防財団の相談窓口の連絡先を記載するとともに、心理的な不安や苦痛を感じた対象者に対する相談体制を財團内で整える。

b. 個人情報の保護

本研究の実施は、世界医師会ヘルシンキ宣言(2004 年東京改訂)の趣旨に沿い、厚生労働省「臨床研究に関する倫理指針(平成 16 年 12 月 28 日全部改正)」及び「疫学研究に関する倫理指針(平成 17 年 6 月 29 日一部改正)」に準拠して、倫理の一般原則、すなわち人権尊重の原則、最善の原則、公正の原則、無危害の原則を踏まえて、以下のとおり、個人情報の保護について配慮を行う。

c. データの匿名化および連結可能性

調査の実施とデータ収集は、株式会社マクロミルに委託する。本調査で用いる質問票には個人の同定につながる情報の記入は求めない。また、調査データは、マクロミル社から連結不能なデータにして受け取り、回答データは全て任意の ID で管理する。

d. 個人情報および個人データの取扱者の範囲

マクロミル社から受け取った調査データは、研究リーダーの所属する京都大学大学院医学研究科社会疫学分野の研究者及び本戦略研究課題の研究協力者のみ取り扱い可能とする。連結可能な原データはマクロミル社(2000 年 1 月 31 日設立)で管理される。なお、同社は、プライバシーマーク(登録番号:C820042(02))を取得しており、調査対象者の個人情報の保護に関しては、マーケティング・リサーチ業界の国際行動規範である「ICC/ESOMAR 国際綱領」および社団法人日本マーケティング・リサーチ協会の定める「マーケティング・リサーチ綱領」を遵守する旨明記している。

e. データの保存及び廃棄

マクロミル社から受け取った調査データは、ネット環境から切り離すために、専用の高速大容量メモリースティックに保存し、分析及びデータ保管は、それを用いて行う。同メモリースティックは、京都大学大学院医学研究科社会疫学分野及び研究協力者の所属施設の鍵のかかるデータ保管庫に厳重な管理の下に保管し、研究終了後 5 年以内に廃棄する。

f. 説明と同意

調査の対象となる個人は、質問票調査の参加をもって参加同意を得たと見なす。調査の目的について、オンライン上の説明文書によって説明する。説明文の内容は以下の通りである。

ク. 費用負担および謝礼

研究参加にあたっての回答者の費用負担は発生しない。また、研究参加謝礼は、回答者にはマクロミル社から通常契約の謝礼(ポイント)が渡される。

(7) 形成調査7：大阪府内の保健所HIV検査受検者を対象としたHIV検査の問題点に関する調査

ア. 研究デザイン

自由記述回答を用いた質的研究

イ. 実施予定期間

調査期間：2007年6月前半の2週間

ウ. 研究対象者の選択基準とサンプル数

調査期間内に、大阪府内の保健所など公的HIV検査を提供する施設(少なくとも10箇所)を訪れた新規のHIV検査受検者で、同意が得られた200名を目標数とする(1施設20名)。検査結果を聞きにきた人は対象としない(HIV陽性者が含まれる可能性があるため)。

エ. 調査方法

調査は以下の手順で実施する。

- ・ 検査受付時に、説明文(資料13)を手渡して調査について説明し、調査に参加する意思があるかどうかを尋ねる。
- ・ 参加に同意した受検者に質問票と封筒と筆記用具を手渡す。
- ・ 参加者は、記入が終わり封筒に密封した質問票を、検査が終了し施設を出る時点で、回収箱に入れる。回収箱は、施錠できるものとし、施設長がそれを管理する。
- ・ 質問票は研究担当者が直接施設から受け取る。

オ. 質問票の構成(資料14)

- ・ 過去の検査経験に関する選択肢による項目
- ・ 検査サービスにおいて経験した問題点、改善すべき点、よかつた経験などに関する自由記述

カ. 予定される解析方法

選択肢による回答項目は、Excelに入力して

集計し、自由記述回答については、コード化の後、Excelに入力し、帰納的内容分析を行う。コード化の妥当性については、4人の研究担当者で話し合って決定する。

キ. 倫理的配慮

a. 研究の侵襲性への配慮

本調査では、新規の受検者を対象とし、過去のHV検査に関する不快な記憶の想起を伴うことがないため、形成調査5(HIV陽性者対象)、形成調査6(パソコンモニター中のHIV検査経験者)とは異なり、調査自体が、心理的な苦痛を与える可能性は低いが、検査時の対応に傷つき相談を求める参加者がいることも想定しうる。そこで、以下の配慮を行う。

- ・エイズ予防財団の相談窓口の連絡先を記載するとともに、心理的な不安や苦痛を感じた対象者に対する相談体制を財団内で整える。
- ・連絡先を明記し、質問や苦情などに対応できるようにする。

b. 個人情報の保護

本研究の実施は、世界医師会ヘルシンキ宣言(2004年東京改訂)の趣旨に沿い、厚生労働省「臨床研究に関する倫理指針(平成16年12月28日全部改正)」及び「疫学研究に関する倫理指針(平成17年6月29日一部改正)」に準拠して、倫理の一般原則、すなわち人権尊重の原則、最善の原則、公正の原則、無危害の原則を踏まえて、以下のとおり、個人情報の保護について配慮を行う。

c. データの匿名化および連結可能性

本調査で用いる質問票には個人の同定につながる情報の記入は求めないし、自由記述にも、それを含めないように依頼する。

d. 個人情報および個人データの取扱者の範囲

施設長から受け取った質問票と、入力されたデータは、研究リーダーの所属する京都大学大学院医学研究科社会疫学分野の研究者のみ取り扱い可能とする。

e. データの保存及び廃棄

研究協力者である主治医から受け取った質問票は、京都大学大学院医学研究科社会疫学分野の鍵のかかるデータ保管庫に厳重な管理の下に保管し、研究終了後 5 年以内に廃棄する。入力されたデータは、専用の高速大容量メモリースティックに保存し、分析及びデータ保管は、それを用いて行う。同メモリースティックは、質問票と同じシステムで厳重に管理する。

f. 説明と同意

検査受付担当者から、説明文を手渡すとともに、口頭で丁寧に調査の目的や、参加が全く任意であり、答えたくない質問は解答しなくてよいこと、途中で参加を取りやめられることを伝える。質問票調査の参加をもって参加同意を得たとみなす。

ク. 費用負担および謝礼

研究参加にあたっての回答者の費用負担は発生しない。また、研究参加者には、謝礼として、500 円の図書券を進呈する。

(8) 形成調査 8：大阪府内の STD 医療機関患者を対象としたエイズの知識・認識調査

ア. 研究デザイン

横断的記述疫学的研究及び分析疫学的研究

イ. 実施予定期間

調査：2007 年 5 月後半から 1 ヶ月

ウ. 研究対象者の選択基準とサンプル数

大阪府内の STD クリニックで、戦略研究協力医療機関を受診する患者を連続サンプリングする。協力医療機関は 10 施設とし、できるだけ地域的に偏りがないよう設定する。有効回答数は男約 250 人を目標とするが、1999 年の調査経験から、回収率は 85% を予想している。1999 年の調査経験から、女性サンプルは集まりにくいため特に目標数を設定せず、調査期間内に集まったものを分析に供する。

エ. 調査方法

自記式質問票(資料 16)による郵送調査

オ. 質問票の構成

a. 属性：年齢、性別、居住地

b. エイズに関する項目：エイズに関する関心、エイズ検査の経験と受けない理由、エイズに関する知識への個人的重要感、エイズへのリスク認知と検査に関する態度

c. その他：エイズキャンペーンへの接触度

カ. 倫理的配慮

a. 研究の侵襲性への配慮

本調査は、エイズに関する質問が多いため、回答者によっては不快感を覚える可能性がある。そのために、以下の配慮を行う。

・来院時にまず説明文(資料 15)を渡し、エイズに関するアンケートであることを明示して、対象者が参加の判断しやすいようにする。

・患者が圧を感じることがないよう、医師からの強い勧めを行わず、あくまで自主的に判断できるように配慮する。

・「説明と同意」のところで示したように、参加が任意であり、答えたくない質問は解答しなくてよいこと、途中で参加を取りやめられることを研究の主旨と共に説明文書に明記する。

・エイズ予防財団の相談窓口の連絡先を記載するとともに、心理的な不安や苦痛を感じた対象者に対する相談体制を財団内で整える。

b. 個人情報の保護

本研究の実施は、世界医師会ヘルシンキ宣言(2004 年東京改訂)の趣旨に沿い、厚生労働省「臨床研究に関する倫理指針(平成 16 年 12 月 28 日全部改正)」及び「疫学研究に関する倫理指針(平成 17 年 6 月 29 日一部改正)」に準拠して、倫理の一般原則、すなわち人権尊重の原則、最善の原則、公正の原則、無危害の原則を踏まえて、以下のとおり、個人情報の保護について配慮を行う。

c. データの匿名化および連結可能性

本調査で用いる質問票には個人の同定につながる情報の記入は一切求めない。

d.個人情報および個人データの取扱者の範囲

調査票と調査データは、研究リーダーの所属する京都大学大学院医学研究科社会疫学分野の研究者及び本戦略研究課題の研究協力者のみ取り扱い可能とする。

e.データの保存及び廃棄

データファイルは、ネット環境から切り離すために、専用の高速大容量メモリースティックに保存し、分析及びデータ保管は、それ用いて行う。同メモリースティックは、京都大学大学院医学研究科社会疫学分野の鍵のかかるデータ保管庫に厳重な管理の下に保管し、研究終了後 5 年以内に廃棄する。記入済み質問紙も、研究終了後 5 年以内に廃棄する。

f. 説明と同意

調査の対象となる個人は、質問票調査の参加をもって参加同意を得たと見なす。

キ. 費用負担および謝礼

研究参加にあたっての回答者の費用負担は発生しない。また、研究参加謝礼は、調査参加者には、後日、謝礼(1000 円相当の図書券)を送付する。

3. 結果

3-1 回答者の年齢性別分布

各形成調査の回答者の性別、年齢分布を表 1 に示す。それによれば、それぞれの調査を代表する年代は次のようになる。

形成調査 1 (自動車教習所受講生) :

10 - 20 歳代 全体の約 8 割

形成調査 2 及び 6 (パソコンモニター) :

30 - 40 歳 全体の約 6-7 割

形成調査 3 (世帯モニター) :

40 - 50 歳代 全体の約 7-8 割

形成調査 7 (保健所受検者) :

20 - 30 歳代 全体の約 7-8 割

形成調査 8 (STD 医療機関) :

20-40 歳代

全体の約 8-9 割

3-2. HIV/STD 知識の普及度と重要性認識度の分析結果（調査 1-3 及び 8）

4 つの調査対象集団の分析結果を表 2 ~ 4 に示した。これらの分析結果から、HIV/STD 知識の普及は、どの集団においても低く (STD 女性受検者の一部の項目を除く)、普及している知識限られ、かつどの集団でもほぼ以下の項目に限定されていた（項目名短縮）。

- ・HIV が日本で増加していること
- ・HIV に感染しても長期間症状がないこと
- ・HIV に感染しても早期発見・治療すれば普通に近い生活ができること
- ・保健所で無料匿名の HIV 検査が受けられること

これら以外の HIV 関連知識は、どれもほとんどが 50%未満であった。特に低い項目 (< 30%) は集団間でほぼ共通し、以下の項目であった。

- ・台湾で HIV 流行が生じたこと
- ・大阪で HIV 感染者が増えていること
- ・男女間の性交渉では女性の方が男性より HIV 感染しやすいこと
- ・大阪に夜間休日検査ができる場所があること

STD 関連項目は逆に、日本で増加していること、女性に多いこと、女性で赴任を引き起こす可能性があることが、女性で 30-40% 程度である以外は軒並み 30%未満であり、非常に知識の普及度が低いことが明らかとなった。

一方、重要度の分布を見ると、世帯モニター (中高年) では、男女とも、HIV/STD どの項目も重要と考える人の割合が低く、対照的に、自動車教習所受講生 (若者) では、どの項目に対しても、重要と答える人の割合が高く、パソコンモニター (中年) では、両者の中間的傾向を示し、ほぼ年齢に応じるとの解釈もできる。

次に、これらのデータを、知識の普及割合と重要度認識割合という2つの変数で、各集団別にクロス集計した結果を表5～12に示した。表中、項目名は省略表現とした。

さらに、「重要性認識割合が高く（≥50%）、普及割合が低く（<50%）、かつ両者の差が40%を越えるもの」を「最重点項目」、「重要性認識割合が高く（≥50%）、普及割合が低く（<50%）、かつ両者の差が10%以上40%未満のもの」を「重点項目」、「重要性認識割合も普及度も低い（<50%）が、両者の差が20%以上のもの」を「準重点項目」としてまとめると、表13のようになる。

表13から、量的分析の結果を以下のようにまとめることができる。

- ・ 中年以上の集団では、男女とも関心のある項目がほとんどなく、大阪でのHIV流行に関する知識だけが多少とも重要と受け止められている。女性では、それに加えて女性がHIVに感染しやすいという知識が重要と認識されている。
- ・ 若者集団では、男女とも、HIVより、STDに対して重要感が高い。
- ・ 若者集団では、STDについての知識は、普及度は低いが強い重要感を持って受け止められており、特に、男女共通して、大阪での流行、無症状であること、口から感染すること、生まれてくる子どもに感染すること、STDが女性に多いことが重要度が高い。HIVに関しては、大阪で流行していること、STDに感染しているとHIVに感染しやすいことに重要感が強く、次いで感染がわかつても国に報告されないことに対して、重要感が強い。
- ・ 若者集団では、男性は、STDで副睾丸炎になること、女性ではSTDで不妊になることに重要感が高い。つまり、自分の身体に関係することを重要と感じている。
- ・ STD受診者については、HIVについてのみ質問したが、大阪での流行、女性が感染し

やすいこと、夜間休日検査に対して重要感が高い。

3-3. 保健所と医療機関におけるHIV/STD検査の問題点や改善方向に関する分析結果

3-3-1. 形成調査1-3及び8の分析結果

形成調査1-3及び8における検査関連の質問は量的項目が主体であり部分的に短い自由記載（質的項目）が加わるという形式になっている。量的項目の分析結果は表14～17に、質的項目の分析結果は、資料17に記載されている。

（1）量的項目の分析結果

量的項目では、保健所や医療機関でHIV検査あるいは医療機関でSTD検査を受けることに抵抗を感じるかどうかと、抵抗を感じる理由を聞くことと、そして、どうすれば、保健所や医療機関で受検をしやすくなるかのポイントを聞く内容となっている。

表18は、受検に抵抗を感じる人の割合を検査別、男女別に比較したものである。STD受診者を除けば、半数から3分の1の人が受けにくさを報告しているが、女性でその傾向が強く、またエイズ検査の方がSTD検査よりもその傾向が強い。年齢とともにその割合は増加するが、男性でその傾向が強く、中高年では男女差は小さくなっている。

女性や中高年の男性が受け易い検査環境を考慮する必要がある。

表19は、受けにくさの原因についての回答の順位を、検査別、集団別、性別に示したものである。この表から以下のポイントが示唆される。

- ・ どの集団でも、エイズあるいはSTDの検査に来たと受付で言わなければならないことに抵抗感を感じている。これは特に女性で強く70%以上を超える場合も少なくない。
- ・ どの集団でも、医療機関でのHIV検査につ

- いては、検査費用がわからないことに不安を持っている。
- ・ どの集団でも、STDの検査については、検査の恥ずかしさが重要な阻害要因となっている。
 - ・ 中年以上の多い集団（パソコンモニター、世帯モニター、STD受診者）では、エイズ、STDいずれの検査についても社会的立場があることから、若者に比べプライバシー不安が大きい。
 - ・ 若者の多い集団（自動車教習所受講生）では、保健所のHIV検査については、男女とも検査自体のことについて知らないことの不安や、行きにくさも重要な阻害要因となっている。
 - ・ 若者の多い集団（自動車教習所受講生）では、医療機関のHIV検査については、男女で傾向が異なり、男性では、行きにくさ、保険証が、女性では、HIV検査と受付で言わなければならぬことと、検査費用が受検阻害要因になっている。

以上の分析から、保健所や医療機関におけるエイズ検査やSTD検査を促進するには、どの集団にも共通に行うべき対策と集団固有の対策を考慮する必要がある。

表20は、HIV検査及びSTD検査がどのようにすれば受けやすくなるかについて回答の順位を、検査別、集団別、性別に示したものである。この表から以下のポイントが示唆される。

- ・ どの集団でも、HIV検査、STD検査いずれについても、「健康診断の一部として選べる」、「窓口で言わずに申し込み用紙で受検ができる」が重要視されている。
- ・ どの集団でも、STD検査については、それに加えて、尿検査への希望が高い。
- ・ 若者の多い集団（自動車教習所受講生）では、STD検査については、保健所での無料匿名の検査の希望が高い。

(2) 質的項目の分析結果

質的項目にはごく限られた回答しか得られていないので、一般化は危険であるが、回答内容をカテゴリー分類すると、ほぼ量的回答の内容を具体化したものであった。量的回答の選択肢には含まれていなかつたが重要と思われる以下の趣旨の記述が認められた。

- a. 保健所では顔がさす。
- b. 匿名であるために人違いの結果が伝えられる可能性がある。
- c. （女性の場合）男性の医師や担当者に応対されることに抵抗がある。
- d. 健康保険を使うと会社や地域に情報が漏れる可能性がある。
- e. 広報活動（検査自体のPR、治療方法、ケア）をもっとやる必要がある。
- f. 感染していることがわかると隔離される恐れがある。

これらの回答の中で特にbは重要であると思われ、匿名が逆に不信感の原因ないならないよう、誤通知にならぬことをよく周知する必要がある。また、aについては、どこの保健所でも受けられることのPRが不足していることの反映と思われる。

3-3-2. 形成調査5,6,7の分析結果

(1) 量的項目の分析結果

形成調査5、6、7の量的質問では、それぞれ、HV陽性者、パソコンモニター、保健所来所者について、実際の（保健所来所者の場合は当日の）HIV検査の印象（①全体的印象、②曜日、③時間帯、④受け付け時の対応、⑤待合場所の雰囲気、⑥検査担当者の態度、⑦検査（結果）についての説明、⑧プライバシー配慮、⑨性的指向配慮）について質問した。分析結果は表21、22に示した（ただし、形成調査6の分析は項目の不備のために除外）。

分析結果の主なポイントは以下の通りである。

- ・ 保健所の検査に関する印象は、保健所受検

- 者よりも、HIV 感染者でかなり悪い傾向があった。
- ・ 保健所の検査に関する印象は、保健所来所者（検査を受けに来た人、結果を聞きにきた人）では概ね良好で、6-8割の人が「非常に満足」「かなり満足」と回答していた。
- ・ しかし、曜日、時間帯、待合場所については、満足度が低かった。
- ・ HIV 感染者では、無回答が多かったが、医療機関での HIV 検査の印象がかなり悪く、不満足の頻度が高かった。
- ・ HIV 感染者では、医師の態度、看護師の態度、検査についての説明、プライバシー配慮、性的指向への配慮、検査結果告知時の配慮が満足と不満足に分極していた。これは、保健所に比べて、医師・医療機関の対応が不揃いであることを示唆している。

(2) 質的項目の分析結果(資料 18~21)

形成調査 5、6、7 の質的質問は、保健所や医療機関の HIV 検査を実際受けた経験について、その印象を自由に記述してもらうものであり、形成調査 5 (HIV 感染者) では、100 人中 76 名 (76%) が、形成調査 6 (パソコンモニター) では 109 人中 53 人 (49%)、形成調査 7 (保健所受検者) では、大阪市は 200 人中 112 人 (56%)、大阪府は 313 人中 172 人 (55%) から回答が得られた。

記述内容を大きくカテゴリー化して整理したのが表 23 である。この表のポイントは以下のようにまとめられる。

- ・ 医療機関における HIV 検査の経験に対しては、医療従事者の対応に対してかなり不満が強く、保健所の場合は逆の対応のよさを評価する記述が多くかつほとんどを占めた。
- ・ しかし、医療機関での対応については、それを評価する記述も少なからずあり、医療機関によって、評価が分極する傾向がある。
- ・ 保健所の HIV 検査については、検査の日・

時間についての不満が非常に多い。

- ・ 保健所の HIV 検査については、即日検査を求める意見も少なからず認められた。

記述内容の特徴や特記すべきものをまとめると以下のようになる（冒頭[医]は医療機関、それ以外は保健所の検査に関するコメント）。

1) 検査の曜日・時間について、

- ・ 勤め人や学生に配慮した検査や結果返しの曜日や時間の設定をしてほしい（例：週 2 回以上、曜日、午後、夜間、休日）
- ・ 会社に理由をつけるのが面倒
- ・ 受けにくいくと「もういいや」となりがち
- ・ いろいろな場所で実施してほしい

2) 結果返しについて

- ・ パスワードを使っていつでも電話で確認できるシステムの導入（米国での経験）
- ・ 局留の郵送という方法
- ・ 郵送や電話やインターネットによる結果返しはできないか。

3) 即日検査について

- ・ 待ち時間ががあればあるほど不安になり、結果を聞きにいくのもいやになる。

4) プライバシーについて

- ・ プライバシー配慮のよさに驚いた。
- ・ 待合室で人に顔を合わさないようにできる工夫（囲い、時間をずらす、カーテンなど）
- ・ 仕切りがカーテンでは人に聞かれる不安がある。
- ・ [医]性的指向の話では特に配慮がほしい。
- ・ [医]カーテンで仕切られた空間で告知は不安だった。
- ・ [医]機関でも匿名でしてほしい。

5) 保健所の施設内の案内について

- ・ 入り口が「それとわかる」のが嫌だった。
- ・ 受付がわかりにくく。
- ・ 受付でエイズの検査はここかと聞かなければならぬのが困った。
- ・ 告知の場所が人にわかる場所で悲しく恥

- ずかしい思いをした。
- 暗い古い雰囲気では特に若い人は行きにくい。
- 6) 従事者の対応について（よい対応）
- わかりやすい説明は安心につながる。
 - 対応が親切だと安心して受けられる。
 - 従事者の人の明るさで救われた気分になる。
 - 「ゲイ」であることを受け入れてもらえた。
 - [医]拠点病院の医療従事者の対応は素晴らしい。
 - [医]開業医の先生に親切にしてもらえた。
- 7) 従事者の対応について（悪い対応）
- 受付で「エイズ検査」と大声で言われた。
 - 検査についての説明が不足している（特に、潜伏期と検査の関係について）。
 - (10 年前) 同性愛者は全員乱交していると言われた。
 - 医師から「子どもは生まない方がいい」と言われた。
 - 告知のときに「誰ともセックスをするな」と言われた。
 - 職員から「月 20 万円かかる病気でどんな病気だと」大声で言われ、後で近所中に言いふらされた（5 年前）。
 - 検査動機を説明したら担当者があからさまに不快感を示した。
 - さも原因があつてきたんでしょという態度が不愉快。
 - 不特定多数との性関係を持っていることを前提にしたかのような不愉快な態度。
 - [医]術中検査を強要されたのが不快だった。
 - [医]家族同席で告知された。
 - [医]家に電話があり母親とともに呼び出されて告知された。
 - [医]家族に先に告知された。
 - [医]突然に告知された。
 - [医]カウンセリングもなく告知された。
 - [医]何の配慮もなく告知され、死ぬほど苦
- しんだ。
- [医]エイズに関する知識が乏しい医師がいる。
 - [医]医師や看護師からの差別的態度。
 - [医]HIV 陽性とわかつたら医師が豹変し冷淡になった。
 - [医]嫌悪感丸出しの態度で対応された。
 - [医]医師・看護師から暴言・陰口を言われ、妻子まで差別的扱いを受けた。
- 8) 性的指向への配慮
- 同性愛者のカウンセラーがいるとよい。
- 9) PR 不足への注文
- 単に検査のことだけではなく、カウンセリングサービスがあることや、治療などの情報も提供するともっと検査が受けやすくなる。
- 10) 検査費用
- [医]費用が高すぎる。
- 11) その他
- 待合のパンフレットを取りやすい場所に置く（正面ではなく背後に。駅に）。
 - 人数制限があるのは困る。
 - 陽性結果が出た場合に届出するという書類へのサインに不安感を覚える人がいるのでは？

4. 結論

以上の全ての形成調査の分析から、本研究における介入の戦略（デザイン）について以下のようにポジショニングが可能である。

(1) 啓発キャンペーンに関する戦略（2007 年度から）

- 中年以上の集団に対しては、男女とも大阪での HIV 流行に関する情報に重点を置いたキャンペーンが適切である。女性に対しては、それに加えて女性が HIV に感染しやすいというメッセージもの情報にも重点を置く。
- 若者集団では、男女とも、HIV より、STD に重要感を強く持っているため、STD に

- 重点を置いたキャンペーンが適切である。
- c. 若者集団では、STD については、男女共通して、大阪での流行、無症状であること、口から感染すること、生まれてくる子どもに感染すること、STD が女性に多いことが重要度の高いキャンペーン項目と考えられる。また、HIV に関しては、大阪で流行していること、STD に感染していると HIV に感染しやすいことが、重要度の高いキャンペーン項目と考えられ、感染がわかつても国に報告されないことが、それにつぐ重点項目である。
 - d. 若者集団では、男性は、STD で副睾丸炎になること、女性では STD で不妊になることに関心が高いため、男女分けたキャンペーンも考慮するべきである。
 - e. STD 受診者については、HIV についてのみ質問したが、大阪での流行、女性が感染しやすいこと、夜間休日検査が、重要度の高いキャンペーン項目である。

(2) 検査サービスの改善に関する戦略

<短期戦略：2007 年度から>

- a. どこの保健所でも HIV 検査を受けられることについて周知を図る。
 - b. 中高年の人々がプライバシー漏洩に不安を持つことのない検査システムを導入する。
 - c. 匿名でも誤通知が生じないことについて周知を図る。
 - d. 若者に HIV 検査がどういうものか（方法、手順、カウンセリング）について周知を図る。
 - e. HIV 検査について治療法の紹介やカウンセリングが受けられること等について周知を図る。
- 以上は、広報、雑誌、Web サイトの中で初年度から周知していく。a の周知は b の問題の解消にも役立つ。
- f. 若者が受けやすい場所での検査機会を創出する。

→自治体、地元コミュニティとアメリカ村における若者向けの検査プログラムをスタートする。

<中期戦略>

1) 保健所の検査

- g. 何の検査に来たかを受付で言わなくてよい方法を導入する。
 - h. 保健所等での待合室のあり方について改善する。
 - i. 保健所等での告知の際のプライバシー確保を十分に行う。
 - j. 保健所職員の対応や言動のあり方について改善する。
 - k. 性的指向の配慮したサービスを導入する。
- 以上は、調査結果を行政担当者に具体的な記述をつけたレポートとして還元して、現場で改善の方向を検討してもらう。

- l. 若者向けに無料匿名の STD 検査を導入する。

→これについては、g のプログラムの中への盛り込みを自治体とともに検討していく。また、東京都港区が地元の医療機関と 2007 年度から実施した無料 HIV/STD 検査プロジェクト（AI プロジェクト）を紹介して導入の可能性について検討を開始する。

2) 医療機関の検査

- m. 何の検査に来たかを受付で言わなくてよい方法を導入する。
 - n. 医療機関における告知や対応のあり方について改善する。
 - o. 医療機関における HIV/STD 検査の価格のインターネット上の公開を進める。
- 関連研究会・医会（TI 研究会、泌尿器科医会、産婦人科医会、皮膚科医会）に本調査結果を還元し、研究班や NGO と交流を促進して、これらの改善点や可能性を検討していく。
- p. 中高年の人々がプライバシー漏洩に不安

を持つことのない検査システムを導入する。

→医療機関でも自由診療なら匿名検査が可能であるが、現時点では医療機関の足並みが揃っていない（匿名でしている医療機関は3割程度）ので、2007年度中に関連医会とその点の合意を取り付け、2008年度より広報の中に加えていく。

q. STD の検査が尿検査でできることを啓発する。

→検査の進歩で、尿検査の信頼度が上がっているが、まだ現時点では医療機関の足並みが揃っていないと思われるのと、2007年度中に関連医会とその点の合意を取り付け、2008年度より広報の

中に加えていく。

<長期戦略>

- r. 公的な検査機会の数を増やし、場所、日時のバラエティーを増やす。
- s. 即日検査のニーズにもっと応えられるようにする。

→調査結果を行政に還元し、現実的 possibilityについて検討してもらう。

- t. 一般検診や健康診断時の HIV/STD 検査導入の可能性を検討する。

→実際すでに一部で行われているので、その現状の把握を行い、その是非を含めて検討する。

表1.形成調査の回収数

	性別	数	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	無回答
形成調査1 自動車教習所受講者	男性	240	45.8	35.0	10.4	5.8	1.7	1.3	0.0
	女性	286	35.0	46.5	10.5	4.2	2.4	1.4	0.0
	無回答	17	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	94.1	0.0
形成調査2 パソコンモニター	男性	399	1.3	17.0	30.1	35.6	16.0	0.0	0.0
	女性	407	0.5	19.4	29.5	37.8	12.8	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
形成調査3 世帯モニター	男性	247	0.0	0.0	0.0	46.6	53.4	0.0	0.0
	女性	288	0.0	0.0	0.0	52.8	47.2	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
形成調査6 パソコンモニター	男性	56	0.0	8.9	39.3	39.3	12.5	0.0	0.0
	女性	53	0.0	20.8	49.1	22.6	7.5	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
形成調査7 保健所受検者(大阪府)	男性	173	3.5	46.8	31.2	7.5	5.8	5.2	0.0
	女性	134	14.9	53.7	22.4	5.2	1.5	2.2	0.0
	その他	6	16.7	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
形成調査8 STDクリニック受診者	男性	134	1.5	25.4	30.6	29.1	11.2	1.5	0.7
	女性	174	4.6	34.5	39.1	16.1	2.9	1.7	1.1
	無回答	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

表2. 形成調査1-3、8の知識及び重要性認識の割合に関する分析結果（男女合計）

	形成調査1:教習所 (n=543)			形成調査2:PCモニター (n=806)			形成調査3:世帯 (n=535)			形成調査8:STIクリニック (n=312)		
	知ってる	重要	差	知ってる	重要	差	知ってる	重要	差	知ってる	重要	差
HIV-1. 最近、中国でも、エイズウイルス感染者が増えていること	31.7	18.4	-13.3	36.9	12.2	-24.6	45.2	11.0	-34.2	45.4	26.7	-18.7
HIV-2. 最近、台湾でも、大きなエイズ流行が起きたこと	17.9	18.2	0.3	21.5	11.2	-10.3	22.2	10.5	-11.8	29.3	26.4	-2.9
HIV-3. 最近、日本でも、エイズウイルス感染者が増えていること	81.0	63.7	-17.3	84.5	53.0	-31.5	85.8	34.4	-51.4	89.8	78.5	-11.4
HIV-4. 最近、大阪でも、エイズウイルス感染者が増えていること	31.5	68.5	37.0	27.9	58.2	30.2	29.9	38.3	8.4	38.7	80.5	41.8
HIV-5. 治療の進歩で、早期発見・早期治療をすれば、エイズウイルスに感染しても、普通に近い生活ができるようになったこと	54.3	51.2	-3.1	61.6	43.0	-18.6	65.0	26.9	-38.1	56.7	58.3	1.6
HIV-6. エイズウイルスに感染しても、5-10年は症状がなく、自分では感染しているかどうかわからないこと	73.8	54.3	-19.5	82.3	42.8	-39.5	77.6	27.9	-49.7	81.0	64.9	-16.2
HIV-7. 男女間の性交渉では男性より女性の方が感染しやすいこと	31.5	55.6	24.1	25.8	40.6	14.8	32.7	26.0	-6.7	28.1	68.9	40.8
HIV-8. 保健所（保健センター）では、名前を言わずに無料でエイズ検査ができること	68.1	56.9	-11.2	82.3	45.2	-37.0	74.4	26.5	-47.9	80.4	64.3	-16.1
HIV-9. 大阪には、夜間や休日にエイズ検査を受けられる公的な検査所があること	18.0	54.0	36.0	24.5	45.6	21.1	18.5	25.6	7.1	34.1	59.6	25.5
HIV-10. 自分の住んでいる地域に関わらず、日本中どこかの保健所でもエイズ検査を受けることができる	36.8	53.4	16.6	43.8	43.1	-0.7	40.6	25.0	-15.5	53.6	64.0	10.4
HIV-11. 病院や医院では、全額自費ですが、実名でなくてもエイズ検査ができること	36.8	49.9	13.1	34.9	38.2	3.3	33.8	21.1	-12.7	48.4	59.3	10.9
HIV-12. 検査で感染がわかっても、名前や住所が国に報告されることはないこと	34.3	55.8	21.5	35.5	41.2	5.7	34.4	24.1	-10.3	47.7	59.6	11.9
STI-1. 今、日本で非常に増えていること	48.1	58.4	10.3	43.9	41.8	-2.1	38.7	27.7	-11.0			
STI-2. 今、大阪でも非常に増えていること	23.4	63.7	40.3	17.4	47.3	30.0	17.2	29.3	12.1			
STI-3. 女性に多い性病（男性の1.5倍）ということ	40.9	60.0	19.1	49.9	40.2	-9.8	49.2	25.8	-23.4			
STI-4. 若い人に多く、10人に1人以上が感染していると言われていること	25.4	55.6	30.2	33.0	34.6	1.5	25.4	29.0	3.6			
STI-5. オーラルセックス（口を使った性行為）でもうつるということ	32.4	49.0	16.6	29.8	37.6	7.8	19.8	19.6	-0.2			
STI-6. 感染していても男性の半分、女性の8割でいたみもかゆみも出ないこと	26.3	56.5	30.2	26.5	45.2	18.7	22.1	29.5	7.5			
STI-7. でも、放っておくと、女性では卵管が傷ついて不妊になりやすくなるということ	33.0	56.0	23.0	38.4	37.8	-0.6	34.6	18.5	-16.1			
STI-8. でも、放っておくと、男性では副こう丸炎になることがあること	10.5	43.5	33.0	13.1	33.2	20.1	9.7	21.3	11.6			
STI-9. 放っておくと、エイズウイルスに何倍もかかりやすくなること	17.7	62.8	45.1	15.0	44.4	29.4	10.1	29.2	19.1			
STI-10. 出産のとき赤ちゃんの肺や目にうつるという困ったことが起こること	19.5	64.1	44.6	24.7	39.7	15.0	24.5	20.7	-3.7			
STI-11. 医療機関で頼めば尿で検査できること	21.4	58.6	37.2	21.8	43.2	21.5	19.1	27.9	8.8			
あなたはセックの経験がありますか（はい）	68.1			93.8			94.6			99.3		
これまでの性交渉の相手は2人以上になりますか（はい）（性経験者：世=506、教=370、PC=751、STI=291）	73.0			75.8			60.3			97.2		
これまでにコンドームを使わない性交渉の経験はありますか（はい）（性経験者：世=506、教=370、PC=751、STI=291）	71.1			90.6			95.7			93.1		

表3：形成調査1-3、8の知識及び重要性認識の割合に関する分析結果（男性）

	形成調査1:教習所 (n=240)			形成調査2:PCモニター (n=399)			形成調査3:世帯 (n=247)			形成調査8:STIクリニック (n=134)		
	知ってる	重要	差	知ってる	重要	差	知ってる	重要	差	知ってる	重要	差
HIV-1. 最近、中国でも、エイズウイルス感染者が増えていること	34.6	19.3	-15.3	44.3	14.3	-30.0	52.2	15.0	-37.2	54.9	21.7	-33.2
HIV-2. 最近、台湾でも、大きなエイズ流行が起きたこと	19.6	18.1	-1.5	26.5	13.0	-13.5	23.9	14.6	-9.3	25.6	21.7	-3.9
HIV-3. 最近、日本でも、エイズウイルス感染者が増えていること	80.0	61.3	-18.7	85.4	54.9	-30.5	87.0	38.5	-48.5	90.2	75.0	-15.2
HIV-4. 最近、大阪でも、エイズウイルス感染者が増えていること	34.6	66.0	31.4	31.2	61.2	30.0	33.2	44.9	11.7	37.1	75.0	37.9
HIV-5. 治療の進歩で、早期発見・早期治療をすれば、エイズウイルスに感染しても、普通に近い生活ができるようになったこと	50.8	45.4	-5.4	59.7	42.6	-17.1	64.0	28.3	-35.7	60.9	50.0	-10.9
HIV-6. エイズウイルスに感染しても、5-10年は症状がなく、自分では感染しているかどうかわからないこと	73.8	49.6	-24.2	82.1	41.1	-41.0	82.6	27.9	-54.7	83.5	61.2	-22.3
HIV-7. 男女間の性交渉では男性より女性の方が感染しやすいこと	27.5	38.7	11.2	24.7	27.1	2.4	34.4	19.4	-15.0	27.8	50.4	22.6
HIV-8. 保健所（保健センター）では、名前を言わずに無料でエイズ検査ができること	66.3	49.6	-16.7	81.7	45.4	-36.3	68.0	29.1	-38.9	75.2	57.4	-17.8
HIV-9. 大阪には、夜間や休日にエイズ検査を受けられる公的な検査所があること	20.4	50.0	29.6	26.2	45.4	19.2	18.6	28.3	9.7	40.2	56.3	16.1
HIV-10. 自分の住んでいる地域に関わらず、日本中どこかの保健所でもエイズ検査を受けることができる	35.0	48.3	13.3	42.7	41.9	-0.8	40.9	26.7	-14.2	46.6	58.9	12.3
HIV-11. 病院や医院では、全額自費ですが、実名でなくてもエイズ検査ができる	40.8	42.9	2.1	37.9	34.8	-3.1	31.2	22.3	-8.9	45.9	51.9	6.0
HIV-12. 検査で感染がわかつても、名前や住所が国に報告されることはないこと	31.7	51.3	19.6	35.9	39.8	3.9	33.2	24.7	-8.5	42.9	50.4	7.5
STI-1. 今、日本で非常に増えていること	47.5	58.8	11.3	38.6	40.6	2.0	36.0	25.9	-10.1			
STI-2. 今、大阪でも非常に増えていること	26.3	63.0	36.7	17.7	47.1	29.4	15.4	27.5	12.1			
STI-3. 女性に多い性病（男性の1.5倍）ということ	34.2	57.6	23.4	41.2	27.8	-13.4	48.2	21.5	-26.7			
STI-4. 若い人に多く、10人に1人が感染していると言われていること	21.3	39.5	18.2	28.5	30.8	2.3	25.5	25.1	-0.4			
STI-5. オーラルセックス（口を使った性行為）でもうつるということ	35.0	50.0	15.0	33.8	40.4	6.6	29.1	19.4	-9.7			
STI-6. 感染していても男性の半分、女性の8割でいたみもかゆみも出ないこと	25.8	50.4	24.6	24.2	39.6	15.4	24.3	28.3	4.0			
STI-7. でも、放っておくと、女性では卵管が傷ついて不妊になりやすくなるということ	24.2	38.2	14.0	29.0	31.8	2.8	30.4	16.2	-14.2			
STI-8. でも、放っておくと、男性では副こう丸炎になることがある	12.5	63.4	50.9	15.9	43.9	28.0	15.4	30.0	14.6			
STI-9. 放っておくと、エイズウイルスに何倍もかかりやすくなること	20.0	61.3	41.3	16.4	43.6	27.2	9.7	30.0	20.3			
STI-10. 出産のとき赤ちゃんの肺や目にうつるという困ったことが起こること	16.7	55.9	39.2	20.2	35.1	14.9	19.0	21.9	2.9			
STI-11. 医療機関で頼めば尿で検査できること	23.3	57.6	34.3	21.5	38.8	17.3	24.3	25.9	1.6			
あなたはセックの経験がありますか（はい）	72.1			93.5			96.4			100.0		
これまでの性交渉の相手は2人以上になりますか（はい）（性経験者：世=238、教=173、PC=371、STI=127）	76.3			83.0			79.0			98.4		
これまでにコンドームを使わない性交渉の経験はありますか（はい）（性経験者：世=238、教=173、PC=371、STI=127）	71.1			89.5			95.0			92.1		

表4. 形成調査1-3、8の知識及び重要性認識の割合に関する分析結果（女性）

	形成調査1:教習所 (n=286)			形成調査2:PCモニター (n=407)			形成調査3:世帯 (n=288)			形成調査8:STIクリニック (n=174)		
	知ってる	重要	差	知ってる	重要	差	知ってる	重要	差	知ってる	重要	差
HIV-1. 最近、中国でも、エイズウイルス感染者が増えていること	29.7	18.7	-11.0	29.6	10.1	-19.5	39.2	7.6	-31.6	38.0	30.9	-7.1
HIV-2. 最近、台湾でも、大きなエイズ流行が起きたこと	17.1	19.4	2.3	16.7	9.3	-7.4	20.8	6.9	-13.9	32.2	30.3	-1.9
HIV-3. 最近、日本でも、エイズウイルス感染者が増えていること	85.3	68.6	-16.7	83.5	50.6	-32.9	84.7	30.9	-53.8	89.5	82.0	-7.5
HIV-4. 最近、大阪でも、エイズウイルス感染者が増えていること	29.7	73.5	43.8	24.7	54.5	29.8	27.1	32.6	5.5	40.0	85.5	45.5
HIV-5. 治療の進歩で、早期発見・早期治療をすれば、エイズウイルスに感染しても、普通に近い生活ができるようになったこと	58.7	58.3	-0.4	63.5	43.0	-20.5	66.0	25.7	-40.3	53.5	64.5	11.0
HIV-6. エイズウイルスに感染しても、5-10年は症状がなく、自分では感染しているかどうかわからないこと	77.3	60.8	-16.5	82.5	44.0	-38.5	73.3	27.8	-45.5	79.2	67.7	-11.5
HIV-7. 男女間の性交渉では男性より女性の方が感染しやすいこと	36.4	72.1	35.7	26.8	53.3	26.5	31.3	31.6	0.4	28.3	83.2	54.9
HIV-8. 保健所（保健センター）では、名前を言わずに無料でエイズ検査ができること	73.1	66.1	-7.0	82.8	44.7	-38.1	79.9	24.3	-55.6	84.4	69.6	-14.8
HIV-9. 大阪には、夜間や休日にエイズ検査を受けられる公的な検査所があること	16.4	60.1	43.7	22.9	45.2	22.3	18.4	23.3	4.9	29.5	61.9	32.4
HIV-10. 自分の住んでいる地域に関わらず、日本中どこかの保健所でもエイズ検査を受けることができること	39.9	60.1	20.2	45.0	44.0	-1.0	40.3	23.6	-16.7	59.0	67.9	8.9
HIV-11. 病院や医院では、全額自費ですが、実名でなくてもエイズ検査ができること	35.0	58.7	23.7	32.0	40.8	8.8	36.1	20.1	-16.0	50.3	64.9	14.6
HIV-12. 検査で感染がわからっても、名前や住所が国に報告されることはないこと	37.4	62.5	25.1	35.1	41.8	6.7	35.4	23.6	-11.8	51.4	66.7	15.3
STI-1. 今、日本で非常に増えていること	50.0	61.5	11.5	49.0	42.3	-6.7	41.0	29.2	-11.8			
STI-2. 今、大阪でも非常に増えていること	21.3	67.5	46.2	17.0	46.9	29.9	18.8	30.9	12.2			
STI-3. 女性に多い性病（男性の1.5倍）ということ	47.6	65.4	17.8	58.5	51.6	-6.9	50.0	35.4	-14.6			
STI-4. 若い人に多く、10人に1人以上が感染していると言われていること	29.4	72.1	42.7	37.5	37.1	-0.4	25.3	26.4	1.1			
STI-5. オーラルセックス（口を使った性行為）でもうつるということ	30.8	50.9	20.1	25.9	33.9	8.0	11.8	19.8	8.0			
STI-6. 感染していても男性の半分、女性の8割でいたみもかゆみも出ないこと	28.0	64.3	36.3	28.8	49.9	21.1	20.1	30.6	10.5			
STI-7. でも、放っておくと、女性では卵管が傷ついて不妊になりやすくなるということ	41.3	73.1	31.8	47.5	43.0	-4.5	38.2	20.5	-17.7			
STI-8. でも、放っておくと、男性では副こう丸炎になることがあること	9.1	28.3	19.2	10.4	22.1	11.7	4.9	13.9	9.0			
STI-9. 放っておくと、エイズウイルスに何倍もかかりやすくなること	15.4	67.1	51.7	13.6	44.2	30.6	10.4	28.5	18.1			
STI-10. 出産のとき赤ちゃんの肺や目にうつるという困ったことが起こること	22.0	73.9	51.9	29.1	43.2	14.1	29.2	19.8	-9.4			
STI-11. 医療機関で頼めば尿で検査できること	20.3	62.2	41.9	22.1	46.7	24.6	14.6	29.5	14.9			
あなたはセックスの経験がありますか（はい）	67.5			94.1			93.1			98.8		
これまでの性交渉の相手は2人以上になりますか（はい）（性経験者：世=268教=193、PO=380、STI=164）	71.0			68.6			43.7			96.3		
これまでにコンドームを使わない性交渉の経験はありますか（はい）（性経験者：世=268教=193、PO=380、STI=164）	71.5			91.8			96.3			93.9		

表5. 知識・重要度クロス集計（世帯モニター[中高年]男性）

重要性の認識割合 (%)	知識の普及割合 (%)	
	<50%	≥50%
<50%	HIV（台湾流行、大阪流行、女性易感染、夜間検査、検査どこでも、医院匿名検査、国報告） STD（日本流行、大阪流行、女性多、若者多、口感染、無症状、女性不妊、副睾丸炎、HIV易感染、児感染、尿検査）	HIV（中国流行、日本流行、早期治療、無症状、保健所匿名検査）
≥50%		

表6. 知識・重要度クロス集計（世帯モニター[中高年]女性）

重要性の認識割合 (%)	知識の普及割合 (%)	
	<50%	≥50%
<50%	HIV（中国流行、台湾流行、大阪流行、女性易感染、夜間検査、検査どこでも、医院匿名検査、国報告） STD（日本流行、大阪流行、若者多、口感染、無症状、女性不妊、副睾丸炎、HIV易感染、児感染、尿検査）	HIV（日本流行、早期治療、無症状、保健所匿名検査） STD（女性多）
≥50%		

表7. 知識・重要度クロス集計（パソコンモニター[中年]男性）

重要性の認識 割合 (%)	知識の普及割合 (%)	
	<50%	≥50%
<50%	HIV（中国流行、台湾流行、女性易感染、夜間検査、検査どこでも、医院匿名検査、国報告）、STD（日本流行、大阪流行、女性多、若者多、口感染、無症状、女性不妊、副睾丸炎、HIV易感染、児感染、尿検査）	HIV（早期治療、無症状、保健所匿名検査）
≥50%	HIV（大阪流行）	HIV（日本流行）

表8. 知識・重要度クロス集計（パソコンモニター[中年]女性）

重要性の認識 割合 (%)	知識の普及割合 (%)	
	<50%	≥50%
<50%	HIV（中国流行、台湾流行、夜間検査、検査どこでも、医院匿名検査、国報告） STD（日本流行、大阪流行、若者多、口感染、無症状、女性不妊、副睾丸炎、HIV易感染、児感染、尿検査）	HIV（日本流行、早期治療、無症状、保健所匿名検査）
≥50%	HIV（大阪流行、女性易感染）	STD（女性多）

表 9. 知識・重要度クロス集計（自動車教習所受講生[若者]男性）

重要性の認識 割合 (%)	知識の普及割合 (%)	
	<50%	≥50%
<50%	HIV（中国流行、台湾流行、女性易感染、検査どこでも、医院匿名検査）、STD（若者多、女性不妊）	HIV（早期治療、無症状、保健所匿名検査）
≥50%	HIV（大阪流行、夜間検査、国報告） STD（日本流行、大阪流行、女性多、口感染、無症状、副睾丸炎、HIV易感染、児感染、尿検査）	HIV（日本流行）

表 10. 知識・重要度クロス集計（自動車教習所受講生[若者]女性）

重要性の認識 割合 (%)	知識の普及割合 (%)	
	<50%	≥50%
<50%	HIV（中国流行、台湾流行）、STD（副睾丸炎）	
≥50%	HIV（大阪流行、女性易感染、夜間検査、検査どこでも、医院匿名検査、国報告） STD（大阪流行、女性多、若者多、口感染、無症状、女性不妊、HIV易感染、児感染、尿検査）	HIV（日本流行、早期治療、無症状、保健所匿名検査） STD（日本流行）

表 11. 知識・重要度クロス集計（STD 医療機関受診者男性）－HIV の質問のみ

重要性の認識 割合 (%)	知識の普及割合 (%)	
	<50%	≥50%
<50%	HIV（台湾流行）	HIV（中国流行）
≥50%	HIV（大阪流行、女性易感染、夜間検査、検査どこでも、医院匿名検査、国報告）	HIV（日本流行、早期治療、無症状、保健所匿名検査）

表 12. 知識・重要度クロス集計（STD 医療機関受診者女性）－HIV の質問のみ

重要性の認識 割合 (%)	知識の普及割合 (%)	
	<50%	≥50%
<50%	HIV（中国流行、台湾流行）	
≥50%	HIV（大阪流行、女性易感染、夜間検査）	HIV（日本流行、早期治療、無症状、保健所匿名検査、検査どこでも、医院匿名検査、国報告）

表 13. 知識・重要度分析から抽出した重点項目群

集団の種類		最重点項目	重点項目	準重点項目
世帯モニタ- (中高年)	男	なし	なし	なし
	女	なし	なし	なし
パソコンモニター (中年)	男	なし	HIV（大阪流行）	STD（大阪流行、副睾丸炎）
	女	なし	HIV（大阪流行、女性易感染）	HIV（夜間検査） STD（大阪流行、無症状、HIV 易感染、尿検査）
自動車教習所受講生 (若者)	男	STD（副睾丸炎、HIV 易感染）	HIV（大阪流行、夜間検査、国報告）、 STD（大阪流行、女性多、無症状、児感染、尿検査、日本流行、口感染）	なし
	女	HIV（大阪流行、夜間検査） STD（大阪流行、若者多、HIV 易感染、児感染、尿検査）	HIV（女性易感染、検査どこでも、医院匿名検査、国報告） STD（女性多、口感染、無症状、女性不妊）	なし
STD 医療機関受診者	男	なし	HIV（大阪流行、女性易感染、夜間検査、検査どこでも）	なし
	女	HIV（大阪大流行、女性易感染）	HIV（夜間検査）	なし

表 14 (J1-5, K1-3). 形成調査 1 (自動車教習所受講生) の分析結果

J1. 保健所HIV検査に抵抗感じると思うか (N=543)

	男性 (n=240)		女性 (n=286)		不明 (n=17)	
	N	%	N	%	N	%
非常に感じると思う	35	14.6	70	24.5	1	5.9
かなり感じると思う	29	12.1	55	19.2	1	5.9
感じると思う	80	33.3	76	26.6	2	11.8
あまり感じないと思う	41	17.1	51	17.8	1	5.9
全く感じないと思う	49	20.4	26	9.1	0	0.0
無回答	6	2.5	8	2.8	12	70.6
合計	240	100.0	286	100.0	17	100.0

J2. 何に抵抗を感じるか

〈保健所のHIV検査に抵抗を非常に感じる・かなり感じる・感じる、
あまり感じないを選択した場合のみ〉 (N=442)

	男性 (n=185)		女性 (n=252)		不明 (n=5)	
	N	%	N	%	N	%
保健所自体に行きにくい	77	41.6	113	44.8	2	40.0
無回答	2	1.1	0	0.0	0	0.0
知り合いに会うかも	63	34.1	109	43.3	2	40.0
無回答	2	1.1	0	0.0	0	0.0
エイズ検査と受付で言う必要	73	39.5	133	52.8	3	60.0
無回答	2	1.1	0	0.0	0	0.0
プライバシーの不安	56	30.3	93	36.9	1	20.0
無回答	2	1.1	0	0.0	0	0.0
軽蔑的な扱いをされる不安	37	20.0	76	30.2	1	20.0
無回答	2	1.1	0	0.0	0	0.0
プライベートを聞かれる不安	38	20.5	85	33.7	1	20.0
無回答	2	1.1	0	0.0	0	0.0
いろいろ注意される不安	20	10.8	28	11.1	0	0.0
無回答	2	1.1	0	0.0	0	0.0
どういう検査かわからない不安	79	42.7	138	54.8	2	40.0
無回答	2	1.1	0	0.0	0	0.0
その他	7	3.8	11	4.4	0	0.0
無回答	2	1.0811	0	0.0	0	0.0

J3. 医療機関HIV検査に抵抗感じると思うか (N=543)

	男性 (n=240)		女性 (n=286)		不明 (n=17)	
	N	%	N	%	N	%
非常に感じると思う	46	19.2	88	30.8	0	0.0
かなり感じると思う	39	16.3	56	19.6	2	11.8
感じると思う	76	31.7	78	27.3	2	11.8
あまり感じないと思う	34	14.2	36	12.6	0	0.0
全く感じないと思う	38	15.8	22	7.7	1	5.9
無回答	7	2.9	6	2.1	12	70.6
合計	240	100.0	286	100.0	17	100.0

J4. 何に抵抗を感じるか

〈医療機関のHIV検査に抵抗を非常に感じる・かなり感じる・感じる、
あまり感じないを選択した場合のみ〉 (N=457)

	男性 (n=195)		女性 (n=258)		不明 (n=4)	
	N	%	N	%	N	%
医療機関自体に行きにくい	72	36.9	92	35.7	1	25.0
無回答	10	5.1	16	6.2	0	0.0
検査費用がわからない	67	34.4	129	50.0	1	25.0
無回答	10	5.1	16	6.2	0	0.0
保険証から家族に知られる恐れ	69	35.4	96	37.2	1	25.0
無回答	10	5.1	16	6.2	0	0.0
知り合いに会うかも	65	33.3	101	39.1	1	25.0
無回答	10	5.1	16	6.2	0	0.0
エイズ検査と受付で言う必要	65	33.3	132	51.2	3	75.0
無回答	10	5.1	16	6.2	0	0.0
プライバシーの不安	56	28.7	85	32.9	0	0.0
無回答	10	5.1	16	6.2	0	0.0
軽蔑的な扱いをされる不安	37	19.0	68	26.4	1	25.0
無回答	10	5.1	16	6.2	0	0.0
プライベートを聞かれる不安	43	22.1	78	30.2	1	25.0
無回答	10	5.1	16	6.2	0	0.0
いろいろ注意される不安	22	11.3	26	10.1	0	0.0
無回答	10	5.1	16	6.2	0	0.0
どういう検査かわからない不安	63	32.3	106	41.1	2	50.0
無回答	10	5.1	16	6.2	0	0.0
その他	4	2.1	6	2.3	1	25.0
無回答	10	5.1	16	6.2	0	0.0

J5. どうしたら保健所や医療機関でのエイズ検査が受けやすいか (N=543)

	男性 (n=240)		女性 (n=286)		不明 (n=17)	
	N	%	N	%	N	%
すぐ結果がわかる	129	53.8	160	55.9	2	11.8
無回答	11	4.6	12	4.2	12	70.6
繁華街一角で気軽に受検可	31	12.9	35	12.2	1	5.9
無回答	11	4.6	12	4.2	12	70.6
検査料金が安い	52	21.7	87	30.4	1	5.9
無回答	11	4.6	12	4.2	12	70.6
健康診断の一部として選べる	100	41.7	153	53.5	3	17.6
無回答	11	4.6	12	4.2	12	70.6
祝祭日・日曜に受検可	57	23.8	64	22.4	2	11.8
無回答	11	4.6	12	4.2	12	70.6
駅近くで受検可	24	10.0	28	9.8	1	5.9
無回答	11	4.6	12	4.2	12	70.6
夜間に受検可	69	28.8	65	22.7	2	11.8
無回答	11	4.6	12	4.2	12	70.6
郵送で受検可	75	31.3	103	36.0	1	5.9
無回答	11	4.6	12	4.2	12	70.6
窓口で言わず申込用紙で受検可	107	44.6	164	57.3	2	11.8
無回答	11	4.6	12	4.2	12	70.6
事前電話予約で当日は番号で受検可	59	24.6	103	36.0	1	5.9
無回答	11	4.6	12	4.2	12	70.6
事前ネット予約で当日番号で受検可	67	27.9	101	35.3	2	11.8
無回答	11	4.6	12	4.2	12	70.6
その他	5	2.1	8	2.8	1	5.9
無回答	11	4.6	12	4.2	12	70.6

K1. 医療機関STD検査に抵抗感じると思うか (N=543)

	男性 (n=240)		女性 (n=286)		不明 (n=17)	
	N	%	N	%	N	%
非常に感じると思う	40	16.7	65	22.7	1	5.9
かなり感じると思う	31	12.9	66	23.1	0	0.0
感じると思う	79	32.9	73	25.5	3	17.6
あまり感じないと思う	29	12.1	40	14.0	0	0.0
全く感じないと思う	51	21.3	32	11.2	1	5.9
無回答	10	4.2	10	3.5	12	70.6
合計	240	100.0	286	100.0	17	100.0

K2. 何に抵抗を感じるか

<医療機関のHIV検査に抵抗を非常に感じる・かなり感じる・感じる、
あまり感じないを選択した場合のみ> (N=427)

	男性 (n=179)		女性 (n=244)		不明 (n=4)	
	N	%	N	%	N	%
検査費用がわからない	82	45.8	137	56.1	0	0.0
無回答	1	0.6	3	1.2	0	0.0
保険証から家族に知られる恐れ	62	34.6	103	42.2	1	25.0
無回答	1	0.6	3	1.2	0	0.0
知り合いに会うかも	69	38.5	110	45.1	1	25.0
無回答	1	0.6	3	1.2	0	0.0
STI検査を受付で言う必要	69	38.5	127	52.0	2	50.0
無回答	1	0.6	3	1.2	0	0.0
プライバシーの不安	61	34.1	94	38.5	0	0.0
無回答	1	0.6	3	1.2	0	0.0
軽蔑的な扱いをされる不安	34	19.0	70	28.7	0	0.0
無回答	1	0.6	3	1.2	0	0.0
プライベートを聞かれる不安	47	26.3	84	34.4	1	25.0
無回答	1	0.6	3	1.2	0	0.0
検査がはずかしい不安	69	38.5	140	57.4	1	25.0
無回答	1	0.6	3	1.2	0	0.0
検査が痛い不安	36	20.1	108	44.3	1	25.0
無回答	1	0.6	3	1.2	0	0.0
いろいろ注意される不安	20	11.2	32	13.1	0	0.0
無回答	1	0.6	3	1.2	0	0.0
その他	3	1.7	9	3.7	1	25.0
無回答	1	0.6	3	1.2	0	0.0

K3. どうしたら性感染症の検査が(医療機関で)受けやすいか (N=543)

	男性 (n=240)		女性 (n=286)		不明 (n=17)	
	N	%	N	%	N	%
保健所で無料匿名で受検可	153	63.8	182	63.6	2	11.8
無回答	5	2.1	11	3.8	13	76.5
尿検査ができる	120	50.0	141	49.3	2	11.8
無回答	5	2.1	11	3.8	13	76.5
繁華街一角で気軽に受検可	26	10.8	34	11.9	1	5.9
無回答	5	2.1	11	3.8	13	76.5
検査料金が安い	52	21.7	88	30.8	1	5.9
無回答	5	2.1	11	3.8	13	76.5
健康診断の一部として選べる	98	40.8	129	45.1	3	17.6
無回答	5	2.1	11	3.8	13	76.5
祝祭日・日曜に受検可	48	20.0	55	19.2	2	11.8
無回答	5	2.1	11	3.8	13	76.5
駅近くで受検可	27	11.3	35	12.2	1	5.9
無回答	5	2.1	11	3.8	13	76.5
夜間に受検可	70	29.2	65	22.7	1	5.9
無回答	5	2.1	11	3.8	13	76.5
郵送で受検可	75	31.3	101	35.3	1	5.9
無回答	5	2.1	11	3.8	13	76.5
窓口で言わず申込用紙で受検可	83	34.6	137	47.9	1	5.9
無回答	5	2.1	11	3.8	13	76.5
事前電話予約で当日は番号で受検可	61	25.4	101	35.3	1	5.9
無回答	5	2.1	11	3.8	13	76.5
事前ネット予約で当日は番号で受検可	63	26.3	98	34.3	1	5.9
無回答	5	2.1	11	3.8	13	76.5
その他	5	2.1	5	1.7	0	0.0
無回答	5	2.1	11	3.8	13	76.5

表 15 (J1-5, K1-3) . 形成調査 2 (パソコンモニター) の分析結果

J1. 保健所HIV検査に抵抗感じると思うか (N=806)

	男性 (n=399)		女性 (n=407)	
	N	%	N	%
非常に感じると思う	40	10.0	95	23.3
かなり感じると思う	108	27.1	104	25.6
感じると思う	149	37.3	142	34.9
あまり感じないと思う	74	18.5	53	13.0
全く感じないと思う	26	6.5	11	2.7
無回答	2	0.5	2	0.5
合計	399	100.0	407	100.0

J2. 何に抵抗を感じるか

<保健所のHIV検査に抵抗を非常に感じる・かなり感じる・感じる、
あまり感じないを選択した場合のみ> (N=765)

	男性 (n=371)		女性 (n=394)	
	N	%	N	%
保健所自体に行きにくい	173	46.6	170	43.1
無回答	5	1.3	0	0.0
知り合いに会うかも	128	34.5	181	45.9
無回答	5	1.3	0	0.0
エイズ検査と受付で言う必要	213	57.4	289	73.4
無回答	5	1.3	0	0.0
プライバシーの不安	184	49.6	215	54.6
無回答	5	1.3	0	0.0
軽蔑的な扱いをされる不安	96	25.9	152	38.6
無回答	5	1.3	0	0.0
プライベートを聞かれる不安	124	33.4	193	49.0
無回答	5	1.3	0	0.0
いろいろ注意される不安	40	10.8	64	16.2
無回答	5	1.3	0	0.0
どういう検査かわからない不安	123	33.2	182	46.2
無回答	5	1.3	0	0.0
その他	2	0.5	12	3.0
無回答	5	1.3	0	0.0

J3. 医療機関HIV検査に抵抗感じると思うか (N=806)

	男性 (n=399)		女性 (n=407)	
	N	%	N	%
非常に感じると思う	57	14.3	106	26.0
かなり感じると思う	122	30.6	116	28.5
感じると思う	140	35.1	141	34.6
あまり感じないと思う	53	13.3	34	8.4
全く感じないと思う	23	5.8	9	2.2
無回答	4	1.0	1	0.2
合計	399	100.0	407	100.0

J4. 何に抵抗を感じるか

<医療機関のHIV検査に抵抗を非常に感じる・かなり感じる・感じる、
あまり感じないを選択した場合のみ> (N=769)

	男性 (n=372)		女性 (n=397)	
	N	%	N	%
医療機関自体に行きにくい	152	40.9	153	38.5
無回答	2	0.5	2	0.5
検査費用がわからない	180	48.4	248	62.5
無回答	2	0.5	2	0.5
保険証から家族に知られる恐れ	117	31.5	145	36.5
無回答	2	0.5	2	0.5
知り合いに会うかも	145	39.0	197	49.6
無回答	2	0.5	2	0.5
エイズ検査と受付で言う必要	221	59.4	296	74.6
無回答	2	0.5	2	0.5
プライバシーの不安	184	49.5	213	53.7
無回答	2	0.5	2	0.5
軽蔑的な扱いをされる不安	96	25.8	153	38.5
無回答	2	0.5	2	0.5
プライベートを聞かれる不安	110	29.6	190	47.9
無回答	2	0.5	2	0.5
いろいろ注意される不安	38	10.2	74	18.6
無回答	2	0.5	2	0.5
どういう検査かわからない不安	96	25.8	152	38.3
無回答	2	0.5	2	0.5
その他	3	0.8	8	2.0
無回答	2	0.5	2	0.5

J5. どうしたら保健所や医療機関でのエイズ検査が受けやすいか (N=806)

	男性 (n=399)		女性 (n=407)	
	N	%	N	%
すぐ結果がわかる	220	55.1	224	55.0
無回答	2	0.5	1	0.2
繁華街一角で気軽に受検可	63	15.8	59	14.5
無回答	2	0.5	1	0.2
検査料金が安い	65	16.3	97	23.8
無回答	2	0.5	1	0.2
健康診断の一部として選べる	203	50.9	271	66.6
無回答	2	0.5	1	0.2
祝祭日・日曜に受検可	139	34.8	114	28.0
無回答	2	0.5	1	0.2
駅近くで受検可	42	10.5	41	10.1
無回答	2	0.5	1	0.2
夜間に受検可	118	29.6	87	21.4
無回答	2	0.5	1	0.2
郵送で受検可	145	36.3	234	57.5
無回答	2	0.5	1	0.2
窓口で言わず申込用紙で受検可	191	47.9	248	60.9
無回答	2	0.5	1	0.2
事前電話予約で当日は番号で受検可	97	24.3	150	36.9
無回答	2	0.5	1	0.2
事前ネット予約で当日番号で受検可	151	37.8	218	53.6
無回答	2	0.5	1	0.2
その他	4	1.0	9	2.2
無回答	2	0.5	1	0.2

K1. 医療機関STD検査に抵抗感じると思うか (N=806)

	男性 (n=399)		女性 (n=407)	
	N	%	N	%
非常に感じると思う	45	11.3	97	23.8
かなり感じると思う	133	33.3	124	30.5
感じると思う	147	36.8	145	35.6
あまり感じないと思う	49	12.3	33	8.1
全く感じないと思う	23	5.8	7	1.7
無回答	2	0.5	1	0.2
合計	399	100.0	407	100.0

K2. 何に抵抗を感じるか

〈医療機関のSTD検査に抵抗を非常に感じる・かなり感じる・感じる、
あまり感じないを選択した場合のみ〉 (N=773)

	男性 (n=374)		女性 (n=399)	
	N	%	N	%
検査費用がわからない	188	50.3	201	50.4
無回答	1	0.3	2	0.5
保険証から家族に知られる恐れ	123	32.9	131	32.8
無回答	1	0.3	2	0.5
知り合いに会うかも	134	35.8	179	44.9
無回答	1	0.3	2	0.5
STI検査を受付で言う必要	219	58.6	289	72.4
無回答	1	0.3	2	0.5
プライバシーの不安	174	46.5	187	46.9
無回答	1	0.3	2	0.5
軽蔑的な扱いをされる不安	95	25.4	138	34.6
無回答	1	0.3	2	0.5
プライベートを聞かれる不安	119	31.8	175	43.9
無回答	1	0.3	2	0.5
検査がはずかしい不安	137	36.6	228	57.1
無回答	1	0.3	2	0.5
検査が痛い不安	83	22.2	156	39.1
無回答	1	0.3	2	0.5
いろいろ注意される不安	37	9.9	51	12.8
無回答	1	0.3	2	0.5
その他	3	0.8	2	0.5
無回答	1	0.3	2	0.5

K3. どうしたら性感染症の検査が(医療機関で)受けやすいか (N=806)

	男性 (n=399)		女性 (n=407)	
	N	%	N	%
保健所で無料匿名で受検可	217	54.4	206	50.6
無回答	4	1.0	4	1.0
尿検査ができる	185	46.4	244	60.0
無回答	4	1.0	4	1.0
繁華街一角で気軽に受検可	44	11.0	37	9.1
無回答	4	1.0	4	1.0
検査料金が安い	51	12.8	67	16.5
無回答	4	1.0	4	1.0
健康診断の一部として選べる	178	44.6	219	53.8
無回答	4	1.0	4	1.0
祝祭日・日曜に受検可	113	28.3	87	21.4
無回答	4	1.0	4	1.0
駅近くで受検可	39	9.8	34	8.4
無回答	4	1.0	4	1.0
夜間に受検可	108	27.1	78	19.2
無回答	4	1.0	4	1.0
郵送で受検可	142	35.6	225	55.3
無回答	4	1.0	4	1.0
窓口で言わず申込用紙で受検可	159	39.8	217	53.3
無回答	4	1.0	4	1.0
事前電話予約で当日は番号で受検可	95	23.8	141	34.6
無回答	4	1.0	4	1.0
事前ネット予約で当日は番号で受検可	144	36.1	203	49.9
無回答	4	1.0	4	1.0
その他	5	1.3	4	1.0
無回答	4	1.0	4	1.0

表 16 (J1-5, K1-3) .形成調査3（世帯モニター）の分析結果

J1. 保健所HIV検査に抵抗感じると思うか (N=535)

	男性 (n=247)		女性 (n=288)	
	N	%	N	%
非常に感じると思う	39.0	15.8	85	29.5
かなり感じると思う	68.0	27.5	78	27.1
感じると思う	74.0	30.0	89	30.9
あまり感じないと思う	36	14.6	21	7.3
全く感じないと思う	26	10.5	14	4.9
無回答	4	1.6	1	0.3
合計	247	100	288	100.0

J2. 何に抵抗を感じるか

<保健所のHIV検査に抵抗を非常に感じる・かなり感じる・感じる、

	男性 (n=217)		女性 (n=273)	
	N	%	N	%
保健所自体に行きにくい	65	30.0	81	29.7
無回答	0	0.0	1	0.4
知り合いに会うかも	92	42.4	144	52.7
無回答	0	0.0	1	0.4
エイズ検査と受付で言う必要	126	58.1	201	73.6
無回答	0	0.0	1	0.4
プライバシーの不安	113	52.1	155	56.8
無回答	0	0.0	1	0.4
軽蔑的な扱いをされる不安	56	25.8	80	29.3
無回答	0	0.0	1	0.4
プライベートを聞かれる不安	82	37.8	113	41.4
無回答	0	0.0	1	0.4
いろいろ注意される不安	16	7.4	21	7.7
無回答	0	0.0	1	0.4
どういう検査かわからない不安	52	24.0	98	35.9
無回答	0	0.0	1	0.4
その他	9	4.1	12	4.4
無回答	0	0.0	1	0.4

J3. 医療機関HIV検査に抵抗感じると思うか (N=535)

	男性 (n=247)		女性 (n=288)	
	N	%	N	%
非常に感じると思う	56	22.7	85	29.5
かなり感じると思う	70	28.3	83	28.8
感じると思う	67	27.1	86	29.9
あまり感じないと思う	29	11.7	20	6.9
全く感じないと思う	23	9.3	10	3.5
無回答	2	0.8	4	1.4
合計	247	100.0	288	100.0

J4. 何に抵抗を感じるか

<医療機関のHIV検査に抵抗を非常に感じる・かなり感じる・感じる、

	男性 (n=222)		女性 (n=274)	
	N	%	N	%
医療機関自体に行きにくい	66	29.7	76	27.7
無回答	2	0.9	4	1.5
検査費用がわからない	96	43.2	133	48.5
無回答	2	0.9	4	1.5
保険証から家族に知られる恐れ	51	23.0	53	19.3
無回答	2	0.9	4	1.5
知り合いに会うかも	75	33.8	127	46.4
無回答	2	0.9	4	1.5
エイズ検査と受付で言う必要	142	64.0	204	74.5
無回答	2	0.9	4	1.5
プライバシーの不安	115	51.8	145	52.9
無回答	2	0.9	4	1.5
軽蔑的な扱いをされる不安	54	24.3	72	26.3
無回答	2	0.9	4	1.5
プライベートを聞かれる不安	71	32.0	97	35.4
無回答	2	0.9	4	1.5
いろいろ注意される不安	14	6.3	20	7.3
無回答	2	0.9	4	1.5
どういう検査かわからない不安	50	22.5	73	26.6
無回答	2	0.9	4	1.5
その他	5	2.3	9	3.3
無回答	2	0.9	4	1.5

J5. どうしたら保健所や医療機関でのエイズ検査が受けやすいか (N=535)

	男性 (n=247)		女性 (n=288)	
	N	%	N	%
すぐ結果がわかる	114	46.2	135	46.9
無回答	3	1.2	2	0.7
繁華街一角で気軽に受検可	32	13.0	32	11.1
無回答	3	1.2	2	0.7
検査料金が安い	54	21.9	64	22.2
無回答	3	1.2	2	0.7
健康診断の一部として選べる	156	63.2	212	73.6
無回答	3	1.2	2	0.7
祝祭日・日曜に受検可	62	25.1	50	17.4
無回答	3	1.2	2	0.7
駅近くで受検可	16	6.5	7	2.4
無回答	3	1.2	2	0.7
夜間に受検可	50	20.2	37	12.8
無回答	3	1.2	2	0.7
郵送で受検可	76	30.8	157	54.5
無回答	3	1.2	2	0.7
窓口で言わず申込用紙で受検可	131	53.0	176	61.1
無回答	3	1.2	2	0.7
事前電話予約で当日は番号で受検可	76	30.8	126	43.8
無回答	3	1.2	2	0.7
事前ネット予約で当日番号で受検可	73	29.6	102	35.4
無回答	3	1.2	2	0.7
その他	8	3.2	12	4.2
無回答	3	1.2	2	0.7

K1. 医療機関STI検査に抵抗感じると思うか (N=535)

	男性 (n=247)		女性 (n=288)	
	N	%	N	%
非常に感じると思う	39	15.8	68	23.6
かなり感じると思う	72	29.1	87	30.2
感じると思う	86	34.8	97	33.7
あまり感じないと思う	20	8.1	18	6.3
全く感じないと思う	28	11.3	14	4.9
無回答	2	0.8	4	1.4
合計	247	100.0	288	100.0

K2. 何に抵抗を感じるか

<医療機関のSTI検査に抵抗を非常に感じる・かなり感じる・感じる、あまり感じないを選択した場合のみ> (N=487)

	男性 (n=217)		女性 (n=270)	
	N	%	N	%
検査費用がわからない	87	40.1	108	40.0
無回答	0	0.0	3	1.1
保険証から家族に知られる恐れ	70	32.3	43	15.9
無回答	0	0.0	3	1.1
知り合いに会うかも	71	32.7	119	44.1
無回答	0	0.0	3	1.1
STI検査を受付で言う必要	136	62.7	205	75.9
無回答	0	0.0	3	1.1
プライバシーの不安	108	49.8	126	46.7
無回答	0	0.0	3	1.1
軽蔑的な扱いをされる不安	49	22.6	60	22.2
無回答	0	0.0	3	1.1
プライベートを聞かれる不安	77	35.5	98	36.3
無回答	0	0.0	3	1.1
検査がはずかしい不安	98	45.2	147	54.4
無回答	0	0.0	3	1.1
検査が痛い不安	38	17.5	70	25.9
無回答	0	0.0	3	1.1
いろいろ注意される不安	16	7.4	14	5.2
無回答	0	0.0	3	1.1
その他	3	1.4	4	1.5
無回答	0	0.0	3	1.1

K3. どうしたら性感染症の検査が(医療機関で)受けやすいか (N=535)

	男性 (n=247)		女性 (n=288)	
	N	%	N	%
保健所で無料匿名で受検可	126	51.0	130	45.1
無回答	2	0.8	3	1.0
尿検査ができる	137	55.5	189	65.6
無回答	2	0.8	3	1.0
繁華街一角で気軽に受検可	26	10.5	23	8.0
無回答	2	0.8	3	1.0
検査料金が安い	40	16.2	59	20.5
無回答	2	0.8	3	1.0
健康診断の一部として選べる	153	61.9	176	61.1
無回答	2	0.8	3	1.0
祝祭日・日曜に受検可	58	23.5	43	14.9
無回答	2	0.8	3	1.0
駅近くで受検可	15	6.1	8	2.8
無回答	2	0.8	3	1.0
夜間に受検可	51	20.6	35	12.2
無回答	2	0.8	3	1.0
郵送で受検可	75	30.4	148	51.4
無回答	2	0.8	3	1.0
窓口で言わず申込用紙で受検可	114	46.2	150	52.1
無回答	2	0.8	3	1.0
事前電話予約で当日は番号で受検可	66	26.7	114	39.6
無回答	2	0.8	3	1.0
事前ネット予約で当日は番号で受検可	67	27.1	87	30.2
無回答	2	0.8	3	1.0
その他	4	1.6	5	1.7
無回答	2	0.8	3	1.0

表 17 (F1-5) 形成調査8 (STD受診者) の分析結果

F1. 保健所HIV検査に抵抗感じると思うか (N=312)

	男性 (n=134)		女性 (n=174)		不明 (n=4)	
	N	%	N	%	N	%
非常に感じると思う	12	9.0	24	13.8	0	0.0
かなり感じると思う	21	15.7	19	10.9	1	25.0
感じると思う	46	34.3	41	23.6	2	50.0
あまり感じないと思う	22	16.4	36	20.7	0	0.0
全く感じないと思う	23	17.2	41	23.6	1	25.0
無回答	10	7.5	13	7.5	0	0.0
合計	134	100.0	174	100.0	4	100.0

F2. 何に抵抗を感じるか

〈保健所のHIV検査に抵抗を非常に感じる・かなり感じる・感じる、
あまり感じないを選択した場合のみ〉 (N=224)

	男性 (n=101)		女性 (n=120)		不明 (n=3)	
	N	%	N	%	N	%
保健所自体に行きにくい	43	42.6	53	44.2	2	66.7
無回答	1	1.0	2	1.7	0	0.0
知り合いに会うかも	28	27.7	46	38.3	2	66.7
無回答	1	1.0	2	1.7	0	0.0
エイズ検査と受付で言う必要	46	45.5	62	51.7	1	33.3
無回答	1	1.0	2	1.7	0	0.0
プライバシーの不安	45	44.6	51	42.5	3	100.0
無回答	1	1.0	2	1.7	0	0.0
軽蔑的な扱いをされる不安	23	22.8	29	24.2	0	0.0
無回答	1	1.0	2	1.7	0	0.0
プライベートを聞かれる不安	19	18.8	37	30.8	0	0.0
無回答	1	1.0	2	1.7	0	0.0
いろいろ注意される不安	7	6.9	12	10.0	0	0.0
無回答	1	1.0	2	1.7	0	0.0
どういう検査かわからない不安	21	20.8	29	24.2	0	0.0
無回答	1	1.0	2	1.7	0	0.0
その他	6	5.9	7	5.8	0	0.0
無回答	1	1.0	2	1.7	0	0.0

F3. 医療機関HIV検査に抵抗感じると思うか (N=312)

	男性 (n=134)		女性 (n=174)		不明 (n=4)	
	N	%	N	%	N	%
非常に感じると思う	13	9.7	21	12.1	0	0.0
かなり感じると思う	20	14.9	11	6.3	0	0.0
感じると思う	44	32.8	48	27.6	0	0.0
あまり感じないと思う	21	15.7	32	18.4	0	0.0
全く感じないと思う	24	17.9	49	28.2	1	25.0
無回答	12	9.0	13	7.5	3	75.0
合計	134	100.0	174	100.0	4	100.0

F4. 何に抵抗を感じるか

〈医療機関のHIV検査に抵抗を非常に感じる・かなり感じる・感じる、
あまり感じないを選択した場合のみ〉 (N=210)

	男性 (n=98)		女性 (n=112)	
	N	%	N	%
医療機関自体に行きにくい	37	37.8	28	25.0
無回答	3	3.1	5	4.5
検査費用がわからない	31	31.6	55	49.1
無回答	3	3.1	5	4.5
保険証から家族に知られる恐れ	28	28.6	39	34.8
無回答	3	3.1	5	4.5
知り合いに会うかも	23	23.5	30	26.8
無回答	3	3.1	5	4.5
エイズ検査と受付で言う必要	39	39.8	47	42.0
無回答	3	3.1	5	4.5
プライバシーの不安	35	35.7	41	36.6
無回答	3	3.1	5	4.5
軽蔑的な扱いをされる不安	17	17.3	24	21.4
無回答	3	3.1	5	4.5
プライベートを聞かれる不安	20	20.4	26	23.2
無回答	3	3.1	5	4.5
いろいろ注意される不安	6	6.1	10	8.9
無回答	3	3.1	5	4.5
どういう検査かわからない不安	13	13.3	15	13.4
無回答	3	3.1	5	4.5
その他	2	2.0	4	3.6
無回答	3	3.1	5	4.5

F5. どうしたら保健所や医療機関でのエイズ検査が受けやすいか (N=312)

	男性 (n=134)		女性 (n=174)		不明 (n=4)	
	N	%	N	%	N	%
すぐ結果がわかる	77	57.5	108	62.1	1	25.0
無回答	8	6.0	7	4.0	3	75.0
繁華街一角で気軽に受検可	27	20.1	33	19.0	0	0.0
無回答	8	6.0	7	4.0	3	75.0
検査料金が安い	32	23.9	67	38.5	0	0.0
無回答	8	6.0	7	4.0	3	75.0
健康診断の一部として選べる	46	34.3	78	44.8	0	0.0
無回答	8	6.0	7	4.0	3	75.0
祝祭日・日曜に受検可	56	41.8	55	31.6	0	0.0
無回答	8	6.0	7	4.0	3	75.0
駅近くで受検可	16	11.9	30	17.2	0	0.0
無回答	8	6.0	7	4.0	3	75.0
夜間に受検可	44	32.8	48	27.6	0	0.0
無回答	90	67.2	126	72.4	3	75.0
郵送で受検可	23	17.2	58	33.3	0	0.0
無回答	8	6.0	7	4.0	3	75.0
窓口で言わず申込用紙で受検可	64	47.8	92	52.9	1	25.0
無回答	8	6.0	7	4.0	3	75.0
事前電話予約で当日は番号で受検可	24	17.9	56	32.2	1	25.0
無回答	8	6.0	7	4.0	3	75.0
事前ネット予約で当日番号で受検可	27	20.1	50	28.7	0	0.0
無回答	8	6.0	7	4.0	3	75.0
その他	1	0.7	6	3.4	0	0.0
無回答	8	6.0	7	4.0	3	75.0

表 18. 形成調査 1, 2, 3, 8 で受検に抵抗を感じる人の割合

対象集団	検査の種類	男	女	女／男
自動車教習所受講生(若者)	保健所でのエイズ検査	28.7	43.7	1.52
	医療機関でのエイズ検査	35.5	50.7	1.43
	医療機関STD検査	29.6	45.8	1.55
パソコンモニター(中年)	保健所でのエイズ検査	37.1	48.9	1.32
	医療機関でのエイズ検査	44.9	54.5	1.21
	医療機関STD検査	44.6	54.3	1.22
世帯モニター(中高年)	保健所でのエイズ検査	43.3	56.6	1.31
	医療機関でのエイズ検査	51.0	58.3	1.14
	医療機関STD検査	44.9	53.8	1.20
STD医療機関受診者	保健所でのエイズ検査	24.7	24.7	1.00
	医療機関でのエイズ検査	24.6	18.4	0.75

* 抵抗を感じる人＝「非常に感じる+かなり感じる」

表 19. 受検・受診に抵抗を感じる理由の順位分析

検査の種類	対象集団	性別	行きにくい	検査費用がわからない	保険証から家族に知られる恐れ	知り合いに会うかも	エイズ/STD検査と受付で言う必要	プライバシーの不安	軽蔑的な扱いをされる不安	プライベートを聞かれる不安	いろいろ注意される不安	どういう検査かわからない不安	検査がはずかし不安	検査が痛い不安
保健所でのエイズ検査	自動車教習所受講生(若者)	男	2			4	3	5	7	6	8	1		
		女	3			4	2	5	7	6	8	1		
	パソコンモニター(中年)	男	3			4	1	2	7	5	8	6		
		女	5			5	1	2	6	3	7	4		
	世帯モニター(中高年)	男	5			3	1	2	6	4	8	7		
		女	6			3	1	2	7	4	8	5		
	STD受診者	男	3			4	1	2	5	7	8	6		
		女	2			4	1	3	6	5	8	6		
	自動車教習所受講生(若者)	男	1	3	2	4	4	7	9	8	10	6		
		女	6	2	5	4	1	7	9	8	10	3		
医療機関でのエイズ検査	パソコンモニター(中年)	男	4	3	6	5	1	2	8	7	10	8		
		女	6	2	9	4	1	3	6	5	10	8		
	世帯モニター(中高年)	男	6	3	8	4	1	2	7	5	10	9		
		女	6	3	9	4	1	2	8	5	10	7		
	STD受診者	男	2	4	5	6	1	3	8	7	10	9		
		女	6	1	4	5	2	3	8	7	10	9		
医療機関 STD検査	自動車教習所受講生(若者)	男		1	5	2	2	6	9	7	10		2	8
		女		2	6	4	3	7	9	8	10		1	5
	パソコンモニター(中年)	男		2	6	5	1	3	8	7	10		4	9
		女		3	9	5	1	4	8	6	10		2	7
	世帯モニター(中高年)	男		4	7	6	1	2	8	5	10		3	9
		女		5	9	4	1	3	8	6	10		2	7

* 網掛けは割合が50%を超えるもの

* 框で囲った数字は、割合が70%を超えるもの

表 20. HIV 検査や STD 検査を受け易くするための意見に関する順位分析

検査の種類	対象集団	性別	保健所で無料匿名できる	尿検査できる	すぐ結果がわかる	繁華街で気軽に受検可	検査料金が安い	健康診断の一部として選べる	祝祭日曜に受検可	駅近くで受検可	夜間に受検可	郵送で受検可	窓口で言わずにお問い合わせ用紙で受検可	事前電話予約で当日は番号で予約可	事前ネット予約で当日は番号で受検可
保健所や医療機関でのエイズ検査	自動車教習所受講生(若者)	男			1	10	9	3	8	11	5	4	2	7	6
		女			2	10	7	3	9	11	8	4	1	4	6
	パソコンモニター(中年)	男			1	10	9	2	6	11	7	5	3	8	4
		女			4	10	8	1	7	11	9	3	2	6	5
	世帯モニター(中高年)	男			3	10	8	1	7	11	9	4	2	4	6
		女			4	10	7	1	8	11	9	3	2	5	6
	STD受診者	男			1	7	6	4	3	10	5	9	2	9	7
		女			1	9	4	3	7	10	9	5	2	6	8
STD検査	自動車教習所受講生(若者)	男	1	2		12	9	3	10	11	6	5	4	8	7
		女	1	2		12	8	4	10	11	9	5	3	5	7
	パソコンモニター(中年)	男	1	2		11	10	3	7	12	8	6	4	9	5
		女	5	1		11	10	3	8	12	9	2	4	7	6
	世帯モニター(中高年)	男	3	2		11	10	1	8	12	9	5	4	7	6
		女	5	1		11	8	2	9	12	10	4	3	6	7

* 網掛けは割合が50%を超えるもの

* 枠で囲った数字は、割合が70%を越えるもの

表21. 形成調査5（HIV陽性者）の分析結果

	満足（保健所受検者 (N=21)）	満足（非常に・かなり・まあまあ）			満足（医療機関受検者 (N=41)）			満足（受検施設無回答者 (N=33)）			満足（保健所）			満足（医療機関）			
		満足（やや・かなり・非常に）			不満（やや・かなり・非常に）			満足（非常に・かなり・まあまあ）			不満（やや・かなり・非常に）			満足（非常に）			
		満足（非常に）	まあまあ	不満（やや・かなり・非常に）	無回答	満足（非常に）	まあまあ	不満（やや・かなり・非常に）	無回答	満足（非常に）	まあまあ	不満（やや・かなり・非常に）	無回答	満足（非常に）	まあまあ	不満（やや・かなり・非常に）	無回答
全体的印象	度数	11	7	3	0	9	14	18	0	6	16	2	9	9	10	5	9
	(%)	52.4	33.3	14.3	0.0	22.0	34.1	43.9	0.0	18.2	48.5	6.1	27.3	27.3	30.3	15.2	27.3
曜日（保健所のみ）	6	9	6	0					5	8	6	14					
	28.6	42.9	28.6	0.0					15.2	24.2	18.2	42.4					
時間帯（保健所のみ）	4	7	10	0					4	6	9	14					
	19.0	33.3	47.6	0.0					12.1	18.2	27.3	42.4					
電話予約時の対応	4	9	3	5	5	19	2	15	3	9	0	21	5	5	1	22	
	19.0	42.9	14.3	23.8	12.2	46.3	4.9	36.6	9.1	27.3	0.0	63.6	15.2	15.2	3.0	66.7	
受付時の対応	9	11	1	0	8	21	4	8	7	8	3	15	8	8	2	15	
	42.9	52.4	4.8	0.0	19.5	51.2	9.8	19.5	21.2	24.2	9.1	45.5	24.2	24.2	6.1	45.5	
待合場所の雰囲気（保健所のみ）	4	11	6	0					4	7	7	15					
	19.0	52.4	28.6	0.0					12.1	21.2	21.2	45.5					
検査担当者の態度（保健所のみ）	9	8	4	0					10	6	2	15					
	42.9	38.1	19.0	0.0					30.3	18.2	6.1	45.5					
医師の態度（医療機関のみ）					19	9	12	1					12	6	4	11	
					46.3	22.0	29.3	2.4					36.4	18.2	12.1	33.3	
看護師の態度（医療機関のみ）					19	9	9	4					14	5	2	12	
					46.3	22.0	22.0	9.8					42.4	15.2	6.1	36.4	
検査についての説明	9	7	4	1	16	10	13	2	9	5	3	16	14	5	2	12	
	42.9	33.3	19.0	4.8	39.0	24.4	31.7	4.9	27.3	15.2	9.1	48.5	42.4	15.2	6.1	36.4	
プライバシー配慮	8	8	4	1	17	7	14	3	10	5	3	15	12	6	4	11	
	38.1	38.1	19.0	4.8	41.5	17.1	34.1	7.3	30.3	15.2	9.1	45.5	36.4	18.2	12.1	33.3	
性的指向配慮	7	10	3	1	14	11	11	5	7	8	3	15	10	8	3	12	
	33.3	47.6	14.3	4.8	34.1	26.8	26.8	12.2	21.2	24.2	9.1	45.5	30.3	24.2	9.1	36.4	
検査結果告知時の配慮	13	1	7	0	11	12	17	1	7	6	5	15	10	7	5	11	
	61.9	4.8	33.3	0.0	26.8	29.3	41.5	2.4	21.2	18.2	15.2	45.5	30.3	21.2	15.2	33.3	

表22. 形成調査7（保健所受検者）の分析結果

	市保健所								府保健所								
	検査を受けに来た人 (N=140)				結果を聞きに来た人 (N=60)				検査を受けに来た人 (N=179)				結果を聞きに来た人 (N=134)				
	満足 (非常に・かな り) まあまあ	不満 (や や・かな り・非常 に)	無回答	満足 (非常 に・かな り) まあまあ	不満 (や や・かな り・非常 に)	無回答	満足 (非常 に・かな り) まあまあ	不満 (や や・かな り・非常 に)	無回答	満足 (非常 に・かな り) まあまあ	不満 (や や・かな り・非常 に)	無回答	満足 (非常 に・かな り) まあまあ	不満 (や や・かな り・非常 に)	無回答		
全体的印象	度数	102	31	4	3	49	9	1	1	122	48	9	0	116	16	1	1
	(%)	72.9	22.1	2.9	2.1	81.7	15.0	1.7	1.7	68.2	26.8	5.0	0.0	86.6	11.9	0.7	0.7
曜日		59	45	36	0	22	20	17	1	42	62	72	3	52	48	32	2
		42.1	32.1	25.7	0.0	36.7	33.3	28.3	1.7	23.5	34.6	40.2	1.7	38.8	35.8	23.9	1.5
時間帯		54	45	41	0	29	14	16	1	43	54	77	5	60	38	32	4
		38.6	32.1	29.3	0.0	48.3	23.3	26.7	1.7	24.0	30.2	43.0	2.8	44.8	28.4	23.9	3.0
受付時の対応		98	34	7	1	41	15	3	1	118	50	7	4	102	27	3	2
		70.0	24.3	5.0	0.7	68.3	25.5	5.0	1.7	65.9	27.9	3.9	2.2	76.1	20.1	2.2	1.5
待合場所の雰囲気		71	55	14	0	30	21	8	1	73	76	27	3	68	50	14	2
		50.7	39.3	10.0	0.0	50.0	35.0	13.3	1.7	40.8	42.5	15.1	1.7	50.7	37.3	10.4	1.5
検査担当者の態度		107	27	4	2	50	7	2	1	142	32	0	5	117	14	1	2
		76.4	19.3	2.9	1.4	83.3	11.7	3.3	1.7	79.3	17.9	0.0	2.8	87.3	10.4	0.7	1.5
検査（結果）についての説明		92	40	7	1	46	10	2	2	144	24	4	7	118	10	2	4
		65.7	28.6	5.0	0.7	76.7	16.7	3.3	3.3	80.4	13.4	2.2	3.9	88.1	7.5	1.5	3.0
プライバシー配慮		93	31	16	0	42	11	6	1	117	41	17	4	110	18	3	3
		66.4	22.1	11.4	0.0	70.0	18.3	10.0	1.7	65.4	22.9	9.5	2.2	82.1	13.4	2.2	2.2
性的指向配慮		85	48.5	138	2	46	11	1	2	119	49	4	7	104	26	0	4
		60.7	34.3	3.6	1.4	76.7	18.3	1.7	3.3	66.5	27.4	2.2	3.9	77.6	19.4	0.0	3.0

表23. 形成調査5, 6, 7の自由記述の内容分析

	形成調査5:HIV陽性者(n=76)			保健所受検者	
	医療機関 の検査	保健所 の検査	パソコンモニター (n=53)	市(n=112)	府(n=172)
検査の日・時間の不便	—	9	6	52	73
即日検査の希望	—	—	—	9	13
プライバシーの問題	11	4	6	15	16
従事者の対応への不満	23	6	14	2	2
従事者のよい対応	9	13	3	23	43
性的指向への配慮	—	—	—	—	3
検査促進につながる広報を	—	—	—	6	9
特に不満なし	—	—	7	6	18

説 明 書

自動車教習所受講生のみなさんへ

この調査は、厚生労働省の厚生労働科学研究による調査で、今後のわが国の効果的なエイズ対策に生かすための情報を集めることを目的として実施されるものです。よろしくご協力のほどを御願い申し上げます。

- ・ 回答は無記名で、個人の特定につながる質問は一切ありません。
- ・ 質問は、性感染症やエイズに関する知識やご認識をお聞きする内容が中心ですが、性行動に関する質問が 3 間含まれます。
- ・ 調査へのご参加は任意です。参加しないことによる不利益は一切ありません。
- ・ 答えたくない質問にはお答えになる必要はありません。
- ・ 途中で参加を取りやめることもできます。
- ・ データは、集計した形でのみ扱われるため、個々人の情報が外部に出たりすることは決してなく、またいただいた内容が、上記の目的以外に使われることはできません。

以上の点についてご同意いただけた場合にのみ、質問への回答にお進みください。

(調査にご協力いただける方には、粗品をご用意しておりますので、お受け取り下さい。)

調査に関するご質問、もしくは、内容に関連してご相談なさりたいことがあれば、調査員、もしくは下記にご連絡ください。

(問い合わせ先)

厚生労働省エイズ予防のための戦略研究班事務局

(京都大学大学院医学研究科社会疫学分野 TEL:075-753-4350 FAX:075-753-4359)

エイズ予防のための基礎調査

調査主体：厚生労働科学研究「エイズ予防のための戦略研究」

自動車教習所受講生のみなさんへ

この調査は、厚生労働省の厚生労働科学研究による調査で、今後のわが国のエイズ啓発プログラム対策に生かすための情報を集めることを目的として実施されるものです。よろしくご協力のほどを御願い申し上げます

質問は、性感染症やエイズに関する知識やご認識をお聞きする内容が中心ですが、性行動に関する質問が 3 間含まれます。

調査へのご参加は任意です。参加しないことによる不利益は一切ありません。また、答えたくない質問にはお答えになる必要はありません。回答は無記名で、個人の特定につながる質問は一切ありません。データは、集計した形でのみ扱われるため、個々人の情報が外部に出たりすることは決してなく、またいただいた内容が、上記の目的以外に使われることはありません。

以上の点についてご同意いただけた場合にのみ、質問への回答にお進みください。

(調査にご協力いただいた方には、粗品をご用意しておりますので、お受け取り下さい。)

記入した調査票は、回収用封筒に入れて、封印して、調査員にお渡し下さい。

研究に関するお問い合わせ、もしくは、内容に関連してご相談なさりたいことがあれば、調査員、もしくは下記にご連絡ください。

厚生労働省「エイズ予防のための戦略研究」班事務局
(京都大学大学院医学研究科社会疫学分野 TEL:075-753-4350 FAX:075-753-4359)

A. あなたご自身のことについてお伺いします。

A1. あなたは、

1. 男 2. 女

A2. 年齢は、

歳

A3. あなたのお住まいは、

1. 大阪府内 2. 大阪府以外

B. 性感染症（性病）のことについてお伺いします。

B1. 性感染症について日ごろ関心をお持ちですか

1. 全くない
2. 少少はある
3. ある
4. かなりある
5. 非常にある

B2. 自分が今、性感染症に感染している可能性があると思いますか？

1. 全くないと思う
2. あまりないと思う
3. あるともないともいえない
4. ありそうだと思う
5. かなりあると思う

B3. 性感染症の検査を受けてみようという気持ちは、今どれくらいありますか

1. 全くない
2. 少少はある
3. ある
4. かなりある
5. 非常にある

C. エイズのことについてお伺いします。

C1. エイズについて日ごろ関心をお持ちですか

1. 全くない
2. 少少はある
3. ある
4. かなりある
5. 非常にある

C2. 自分が今エイズウイルスに感染している可能性があると思いますか？

1. 全くないと思う
2. あまりないと思う
3. あるともないともいえない
4. ありそうだと思う
5. かなりあると思う

C3. エイズの検査を受けてみようという気持ちは、今どれくらいありますか

1. 全くない
2. 少少はある
3. ある
4. かなりある
5. 非常にある

このページの括弧のなかの文章をまずよくお読みください。

性器クラミジアという性病についての情報です。

1. 今、日本で非常に増えています。
2. 今、**大阪**でも非常に増えています。
3. **女性に多い性病です** (男性の2倍以上)。
4. **若い人に多く、10人に1人以上**が感染していると言われています。
5. 相手から**うつりやすい病気です** (5回に1回)。
6. **オーラルセックス** (口を使った性行為) でもうつります。
7. 感染していても**男性の半分、女性の8割でいたみもかゆみも出ません**。
8. でも、放っておくと、女性では卵管が傷ついて**不妊**になりやすくなります。
9. でも、放っておくと、男性では**副こう丸炎**になることがあります。
10. 放っておくと、**エイズウイルス**に何倍もかかりやすくなります。
11. 出産のとき**赤ちゃん**の肺や目にうつるという困ったことが起こります。
12. 医療機関で頼めば**尿で検査**できます。
13. 最近、薬を一回飲むだけでなおるようになりました。

エイズについての情報です。

1. 最近、**中国**で、エイズウイルス感染者が増えています。
2. 最近、**台湾**で、大きなエイズ流行がきました。
3. 最近、日本で、エイズウイルス感染者が増えています。
4. 最近、**大阪**で、エイズウイルス感染者が増えています。
5. 治療の進歩で、**早く治療**を受ければ、感染しても、普通に近い生活ができるようになりました。
6. エイズウイルスに感染しても、**5-10年は症状がなく**、自分で感染しているかどうかわかりません。
7. 男性より**女性**の方が感染しやすい。
8. 保健所(保健センター)では、名前を言わずに無料でエイズ検査ができます。
9. 大阪には、**夜間や休日にエイズ検査**を受けられる公的な検査所があります。
10. 日本中**どこの保健所でも**エイズ検査を受けることができます。
11. 病院や医院では、自費なら、**実名でなくても**エイズ検査ができます。
12. 検査で感染がわかつても、名前や住所が国に報告されることはありません。

D. 性器クラミジアの情報についてお伺いします。

	知っていますか？		あなた自身にとって重要な情報だと思いますか？					
	はい	いいえ	自分には全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらとも言えない	自分にとって重要なである	自分にとってかなり重要な	
〈性器クラミジアのはやり具合〉								
1. 日本で非常に増えている	1	2	1	2	3	4	5	
2. 大阪で非常に増えている	1	2	1	2	3	4	5	
3. 若い人に多く、10人に1人近くが感染している	1	2	1	2	3	4	5	
4. 女性に多い（男性の2倍）	1	2	1	2	3	4	5	
〈性器クラミジアのうつり方〉								
5. 相手からうつりやすい（5回に1回）	1	2	1	2	3	4	5	
6. オーラルセックス（口を使った性行為）でもうつる	1	2	1	2	3	4	5	
〈性器クラミジアの身体への影響や検査・治療〉								
7. 感染していても男の半分、女の8割で無症状である	1	2	1	2	3	4	5	
8. 放っておくと女性では卵管が傷ついて不妊になりやすくなる	1	2	1	2	3	4	5	
9. 放っておくと男性では副こう丸炎になりやすい	1	2	1	2	3	4	5	
10. 放っておくとエイズウイルスにかかりやすくなる	1	2	1	2	3	4	5	
11. 出産のとき赤ちゃんの肺や目にうつる	1	2	1	2	3	4	5	
12. 医療機関で頼めば尿で検査できる	1	2	1	2	3	4	5	
13. 最近一回薬を飲めばなるようになつた	1	2	1	2	3	4	5	

E. エイズの情報についてお伺いします。

＜エイズのはやり具合＞	知っていますか？		あなた自身にとって重要な情報だと思いますか？					
	はい	いいえ	自分には全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらとも言えない	自分にとって重要なである	自分にとってかなり重要な	
1. 最近、中国で増えている	1	2	1	2	3	4	5	
2. 最近、台湾で非常に増えている	1	2	1	2	3	4	5	
3. 最近、日本で増えている	1	2	1	2	3	4	5	
4. 最近、大阪で増えている	1	2	1	2	3	4	5	
＜エイズの医学について＞								
5. 治療の進歩で早く治療すれば普通に近い生活を送れるようになった	1	2	1	2	3	4	5	
6. 感染しても 5-10 年は症状がなく、自分でもわからない	1	2	1	2	3	4	5	
7. 男性より女性の方が感染しやすい	1	2	1	2	3	4	5	
＜エイズ検査について＞	はい	いいえ	自分には全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらとも言えない	自分にとって重要なである	自分にとってかなり重要な	
8. 保健所では、名前を言わずには、無料で検査できる								
9. 大阪には、夜間や休日に検査を受けられる公的な検査所がある	1	2	1	2	3	4	5	
10. 日本中どこの保健所でもエイズ検査を受けられる	1	2	1	2	3	4	5	
11. 病院や医院では、自費なら実名でなくても検査できる	1	2	1	2	3	4	5	
12. 感染がわかつても、名前や住所が国に報告されたりしない。	1	2	1	2	3	4	5	

もう一度前と同じ質問ですが、今の時点のお考えをお答えください。

F. 性感染症（性病）のことについてお伺いします。

F1. 自分が今性感染症に感染している可能性があると思いますか？

1. 全くないと思う
2. あまりないと思う
3. あるともないともいえない
4. ありそうだと思う
5. かなりあると思う

F2. 性感染症の検査を受けてみようという気持ちは、今どれくらいありますか

1. 全くない
2. 多少はある
3. ある
4. かなりある
5. 非常にある

G. エイズのことについてお伺いします。

G1. 自分が今エイズウイルスに感染している可能性があると思いますか？

1. 全くないと思う
2. あまりないと思う
3. あるともないともいえない
4. ありそうだと思う
5. かなりあると思う

G2. エイズの検査を受けてみようという気持ちは、今どれくらいありますか

1. 全くない
2. 多少はある
3. ある
4. かなりある
5. 非常にある

H. 性感染症（性病）の検査について

あなたが性感染症の検査を受けようと思ったと仮定してお答えください。

H1. 医療機関に検査を受けにいくことに抵抗を感じると思いますか？

1. 非常に感じると思う
2. かなり感じると思う
3. 感じると思う
4. あまり感じないと思う
5. 全く感じないと思う

H2. 何に抵抗を感じると思いますか？（○はいくつでも）

1. 検査費用がわからないこと
2. 保険証を使えば家族に知られる恐れがあること
3. 誰か知り合いに会うかもしれないこと
4. プライバシーが守られるどうかに不安があること
5. 軽べつ的な目で見られるかもしれないこと
6. 色々プライベートなことを聞かれるかもしれないこと
7. 恥ずかしい検査をされるかもしれないこと
8. 色々注意されるかもしれないこと
9. その他（下の枠内にお書きください）

H3. 医療機関に行くより郵送検査の方がいいと思いますか？

1. はい
2. いいえ

H4. どうしたら性病の検査が受けやすいと思いますか？（○はいくつでも）

1. エイズ検査のように保健所で無料で名前を言わずに検査ができること
2. 尿検査でできること
3. 繁華街の一角で気軽に検査が受けられること
4. 検査の値段が安いこと
5. 定期検診の検査の一部として選べること
6. 祝祭日や日曜日に受けられること
7. 駅の近くで受けられること
8. 夜間に受けられること
9. その他（下の枠内にお書きください）

I. エイズの検査について

あなたがエイズの検査を受けようと思ったと仮定してお答えください。

I1. 保健所にエイズ検査を受けにいくことに抵抗を感じると思いますか？

1. 非常に感じると思う
2. かなり感じると思う
3. 感じると思う
4. あまり感じないと思う
5. 全く感じないと思う

I2. 何に抵抗を感じると思いますか (○はいくつでも)

1. 保健所という場所自体に行きにくさを感じる
2. 誰か知り合いに会うかもしれないこと
3. 知り合いでなくとも人と顔を会わすこと
4. プライバシーが守られるかどうかに不安があること
5. 軽べつ的な扱いを受けるかもしれないこと
6. 色々プライベートなことを聞かれるかもしれないこと
7. 色々注意されるかもしれないこと
8. その他 (下の枠内にお書きください)

I3. 医療機関にエイズ検査を受けにいくことに抵抗を感じると思いますか？

1. 非常に感じると思う
2. かなり感じると思う
3. 感じると思う
4. あまり感じないと思う
5. 全く感じないと思う

I4. 何に抵抗を感じると思いますか (○はいくつでも)

1. 医療機関自体に行きにくく感じる
2. 誰か知り合いに会うかもしれないこと
3. 知り合いでなくとも人と顔を会わすこと
4. プライバシーが守られるかどうかに不安があること
5. 軽べつ的な扱いを受けるかもしれないこと
6. 色々プライベートなことを聞かれるかもしれないこと
7. 説教をされるかもしれないこと
8. その他 (下の枠内にお書きください)

I5. 保健所や医療機関に行くより郵送検査の方がいいと思いますか？

- 1. はい
- 2. いいえ

I6. どうしたらエイズ検査が受けやすいと思いますか？ (○はいくつでも)

- 1. すぐに結果がわかること
- 2. 繁華街の一角で気軽に検査が受けられること
- 3. 検査の値段が安いこと
- 4. 定期検診の検査の一部として選べること
- 5. 祝祭日や日曜日に受けられること
- 6. 駅の近くで受けられること
- 7. 夜間に受けられること
- 8. その他 (下の枠内にお書きください)

J. 性行動についてお伺いします。

J1. あなたは性経験がおありますか？

- 1. ある
- 2. ない

J2. これまでの性交渉の相手は2人以上になりますか。

- 1. はい
- 2. いいえ

J3. これまでにコンドームを用いない性交渉の経験がありますか？

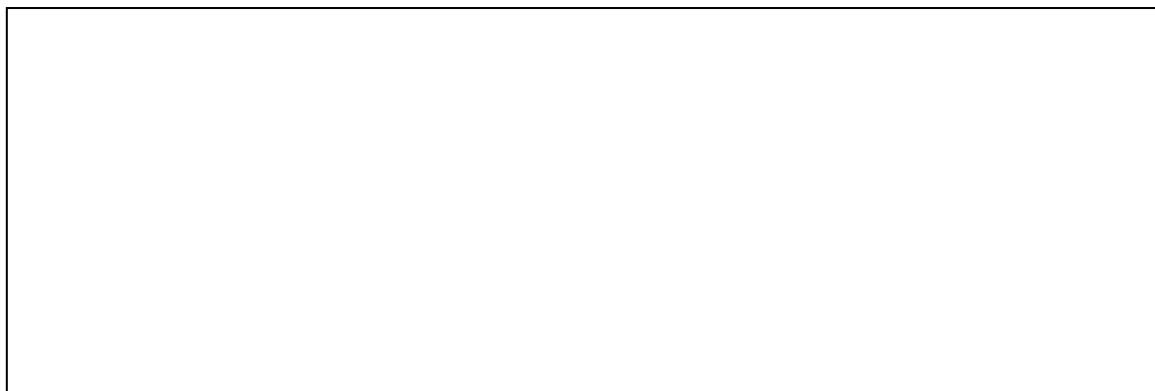
- 1. はい
- 2. いいえ

K. 大阪におけるエイズキャンペーンについてお伺いします。

K1. これまで大阪におけるエイズキャンペーンに接したことがありますか？

- 1. 全くない
- 2. ほとんどない
- 3. あまりない
- 4. 少しはある
- 5. かなりある
- 6. 非常によくある。

これで質問は終わりですが、その他、エイズや性感染症に対する対策に関して、お考えやご提案があれば、お書きください。



ご協力ありがとうございました。

説 明 書

この調査は、厚生労働省の厚生労働科学研究による調査で、今後のわが国の効果的なエイズ対策に生かすための情報を集めることを目的として実施されるものです。よろしくご協力のほどを御願い申し上げます。

- ・回答は無記名で、個人の特定につながる質問は一切ありません。
- ・質問は、性感染症やエイズに関する知識やご認識をお聞きする内容が中心ですが、性行動に関する質問が3問含まれます。
- ・調査へのご参加は任意です。参加しないことによる不利益は一切ありません。
- ・答えたくない質問にはお答えになる必要はありません。
- ・途中で参加を取りやめることもできます。
- ・データは、集計した形でのみ扱われるため、個々人の情報が外部に出たりすることは決してなく、またいただいた内容が、上記の目的以外に使われることはありません。

以上の点についてご同意いただけた場合にのみ、質問への回答にお進みください。

調査に関するご質問、もしくは、内容に関連してご相談なさりたいことがあれば、調査員、もしくは下記にご連絡ください。

(問い合わせ先)

厚生労働省エイズ予防のための戦略研究班事務局

(京都大学大学院医学研究科社会疫学分野 TEL:075-753-4350 FAX:075-753-4359)

エイズ予防のための基礎調査

調査主体：厚生労働科学研究「エイズ予防のための戦略研究」

A. あなたご自身のことについてお伺いします。

A1. あなたは、

1. 男 2. 女

A2. 年齢は、

歳

B. 性感染症（性病）のことについてお伺いします。

B1. 性感染症について日ごろ関心をお持ちですか

1. 全くない
2. 多少はある
3. ある
4. かなりある
5. 非常にある

B2. 自分が今、性感染症に感染している可能性があると思いますか？

1. 全くないと思う
2. あまりないと思う
3. あるともないともいえない
4. ありそうだと思う
5. かなりあると思う

B3. 性感染症の検査を受けてみようという気持ちは、今どれくらいありますか

1. 全くない
2. 多少はある
3. ある
4. かなりある
5. 非常にある

C. エイズのことについてお伺いします。

C1. エイズについて日ごろ関心をお持ちですか

1. 全くない
2. 多少はある
3. ある
4. かなりある
5. 非常にある

C2. 自分が今エイズウイルスに感染している可能性があると思いますか？

1. 全くないと思う
2. あまりないと思う
3. あるともないともいえない
4. ありそうだと思う
5. かなりあると思う

C3. エイズの検査を受けてみようという気持ちは、今どれくらいありますか

1. 全くない
2. 多少はある
3. ある
4. かなりある
5. 非常にある

このページの括弧のなかの文章をまずよくお読みください。

性器クラミジアという性病についての情報です。

1. 今、日本で非常に増えています。
2. 今、**大阪**でも非常に増えています。
3. **女性に多い**性病です（男性の2倍以上）。
4. **若い人**に多く、**10人に1人以上**が感染していると言われています。
5. 相手から**うつりやすい病気**です（5回に1回）。
6. **オーラルセックス**（口を使った性行為）でもうつります。
7. 感染していても**男性の半分、女性の8割**でいたみもかゆみも出ません。
8. でも、放っておくと、女性では卵管が傷ついて**不妊**になりやすくなります。
9. でも、放っておくと、男性では**副こう丸炎**になることがあります。
10. 放っておくと、**エイズウイルス**に何倍もかかりやすくなります。
11. 出産のとき**赤ちゃん**の肺や目にうつるという困ったことが起こります。
12. 医療機関で頼めば**尿で検査**できます。
13. 最近、薬を一回飲むだけでなおるようになりました。

エイズについての情報です。

1. 最近、**中国**で、エイズウイルス感染者が増えています。
2. 最近、**台湾**で、大きなエイズ流行がきました。
3. 最近、日本で、エイズウイルス感染者が増えています。
4. 最近、**大阪**で、エイズウイルス感染者が増えています。
5. 治療の進歩で、**早く治療**を受ければ、感染しても、普通に近い生活ができるようになりました。
6. エイズウイルスに感染しても、**5-10年は症状がなく**、自分では感染しているかどうかわかりません。
7. 男性より**女性**の方が感染しやすい。
8. 保健所（保健センター）では名前を言わずに無料でエイズ検査ができます。
9. 大阪には、**夜間や休日にエイズ検査**を受けられる公的な検査所があります。
10. 日本中**どの保健所でも**エイズ検査を受けることができます。
11. 病院や医院では、自費なら、**実名でなくても**エイズ検査ができます。
12. 検査で感染がわかつても、名前や住所が国に報告されることはありません。

D. 性器クラミジアの情報についてお伺いします。

	知っていますか？		あなた自身にとって重要な情報だと思いますか？				
	はい	いいえ	自分には全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらとも言えない	自分にとって重要なである	自分にとってかなり重要な
〈性器クラミジアのはやり具合〉							
1. 日本で非常に増えている	1	2	1	2	3	4	5
2. 大阪で非常に増えている	1	2	1	2	3	4	5
3. 若い人に多く、10人に1人近くが感染している	1	2	1	2	3	4	5
4. 女性に多い（男性の2倍）	1	2	1	2	3	4	5
〈性器クラミジアのうつり方〉							
5. 相手からうつりやすい（5回に1回）	1	2	1	2	3	4	5
6. オーラルセックス（口を使った性行為）でもうつる	1	2	1	2	3	4	5
〈性器クラミジアの身体への影響や検査・治療〉							
7. 感染していても男の半分、女の8割で無症状である	1	2	1	2	3	4	5
8. 放っておくと女性では卵管が傷ついて不妊になりやすくなる	1	2	1	2	3	4	5
9. 放っておくと男性では副こう丸炎になりやすい	1	2	1	2	3	4	5
10. 放っておくとエイズウイルスにかかりやすくなる	1	2	1	2	3	4	5
11. 出産のとき赤ちゃんの肺や目にうつる	1	2	1	2	3	4	5
12. 医療機関で頼めば尿で検査できる	1	2	1	2	3	4	5
13. 最近一回薬を飲めばなおるようになった	1	2	1	2	3	4	5

E. エイズの情報についてお伺いします。

＜エイズのはやり具合＞	知っていますか？		あなた自身にとって重要な情報だと思いますか？				
	はい	いいえ	自分には全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらとも言えない	自分にとって重要なある	自分にとってかなり重要な
1. 最近、中国で増えている	1	2	1	2	3	4	5
2. 最近、台湾で非常に増えている	1	2	1	2	3	4	5
3. 最近、日本で増えている	1	2	1	2	3	4	5
4. 最近、大阪で増えている	1	2	1	2	3	4	5
＜エイズの医学について＞							
5. 治療の進歩で早く治療すれば普通に近い生活を送れるようになった	1	2	1	2	3	4	5
6. 感染しても5-10年は症状がなく、自分でもわからない	1	2	1	2	3	4	5
7. 男性より女性の方が感染しやすい	1	2	1	2	3	4	5
＜エイズ検査について＞	はい	いいえ	自分には全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらとも言えない	自分にとって重要なある	自分にとってかなり重要な
8. 保健所では、名前を言わずに、無料で検査できる							
9. 大阪には、夜間や休日に検査を受けられる公的な検査所がある	1	2	1	2	3	4	5
10. 日本中どこの保健所でもエイズ検査を受けられる	1	2	1	2	3	4	5
11. 病院や医院では、自費なら実名でなくても検査できる	1	2	1	2	3	4	5
12. 感染がわかつても、名前や住所が国に報告されたりしない。	1	2	1	2	3	4	5

もう一度前と同じ質問ですが、今の時点のお考えをお答えください。

F. 性感染症（性病）のことについてお伺いします。

F1. 自分が今性感染症に感染している可能性があると思いますか？

1. 全くないと思う
2. あまりないと思う
3. あるともないともいえない
4. ありそうだと思う
5. かなりあると思う

F2. 性感染症の検査を受けてみようという気持ちは、今どれくらいありますか

1. 全くない
2. 少少はある
3. ある
4. かなりある
5. 非常にある

G. エイズのことについてお伺いします。

G1. 自分が今エイズウイルスに感染している可能性があると思いますか？

1. 全くないと思う
2. あまりないと思う
3. あるともないともいえない
4. ありそうだと思う
5. かなりあると思う

G2. エイズの検査を受けてみようという気持ちは、今どれくらいありますか

1. 全くない
2. 少少はある
3. ある
4. かなりある
5. 非常にある

H. 性感染症（性病）の検査について

あなたが性感染症の検査を受けようと思ったと仮定してお答えください。

H1. 医療機関に検査を受けにいくことに抵抗を感じると思いますか？

1. 非常に感じると思う
2. かなり感じると思う
3. 感じると思う
4. あまり感じないと思う
5. 全く感じないと思う

H2. 何に抵抗を感じると思いますか (○はいくつでも)

1. 検査費用がわからないこと
2. 保険証を使えば家族に知られる恐れがあること
3. 誰か知り合いに会うかもしれないこと
4. プライバシーが守られるどうかに不安があること
5. 軽べつの目で見られるかもしれないこと
6. 色々プライベートなことを聞かれるかもしれないこと
7. 恥ずかしい検査をされるかもしれないこと
8. 色々注意されるかもしれないこと
9. その他 (下の枠内にお書きください)

H3. 医療機関に行くより郵送検査の方がいいと思いますか？

1. はい
2. いいえ

H4. どうしたら性病の検査が受けやすいと思いますか? (○はいくつでも)

1. エイズ検査のように保健所で無料で名前を言わずに検査ができる
2. 尿検査でできること
3. 繁華街の一角で気軽に検査が受けられること
4. 検査の値段が安いこと

5. 定期検診の検査の一部として選べること
6. 祝祭日や日曜日に受けられること
7. 駅の近くで受けられること
8. 夜間に受けられること
9. その他（下の枠内にお書きください）

I. エイズの検査について

あなたがエイズの検査を受けようと思ったと仮定してお答えください。

I1. 保健所にエイズ検査を受けにいくことに抵抗を感じると思いますか？

1. 非常に感じると思う
2. かなり感じると思う
3. 感じると思う
4. あまり感じないと思う
5. 全く感じないと思う

I2. 何に抵抗を感じると思いますか（○はいくつでも）

1. 保健所という場所自体に行きにくさを感じる
2. 誰か知り合いに会うかもしれないこと
3. 知り合いでなくとも人と顔を会わすこと
4. プライバシーが守られるかどうかに不安があること
5. 軽べつ的な扱いを受けるかもしれないこと
6. 色々プライベートなことを聞かれるかもしれないこと
7. 色々注意されるかもしれないこと
8. その他（下の枠内にお書きください）

I3. 医療機関にエイズ検査を受けにいくことに抵抗を感じると思いますか？

1. 非常に感じると思う
2. かなり感じると思う
3. 感じると思う
4. あまり感じないと思う
5. 全く感じないと思う

I4. 何に抵抗を感じると思いますか (○はいくつでも)

1. 医療機関自体に行きにくく感じる
2. 誰か知り合いに会うかもしれないこと
3. 知り合いでなくとも人と顔を会わすこと
4. プライバシーが守られるかどうかに不安があること
5. 軽べつ的な扱いを受けるかもしれないこと
6. 色々プライベートなことを聞かれるかもしれないこと
7. 説教をされるかもしれないこと
8. その他 (下の枠内にお書きください)

I5. 保健所や医療機関に行くより郵送検査の方がいいと思いますか？

1. はい
2. いいえ

I6. どうしたらエイズ検査が受けやすいと思いますか? (○はいくつでも)

1. すぐに結果がわかること
2. 繁華街の一角で気軽に検査が受けられること
3. 検査の値段が安いこと
4. 定期検診の検査の一部として選べること
5. 祝祭日や日曜日に受けられること
6. 駅の近くで受けられること
7. 夜間に受けられること
8. その他 (下の枠内にお書きください)

J. 性行動についてお伺いします。

J1. あなたは性経験がおありますか？

1. ある
2. ない

J2. これまでの性交渉の相手は2人以上になりますか。

1. はい
2. いいえ

J3. これまでにコンドームを用いない性交渉の経験がありますか？

1. はい
2. いいえ

K. 大阪におけるエイズキャンペーンについてお伺いします。

K1. これまで大阪におけるエイズキャンペーンに接したことがありますか？

1. 全くない
2. ほとんどない
3. あまりない
4. 少しはある
5. かなりある
6. 非常によくある。

これで質問は終わりですが、その他、エイズや性感染症に対する対策に関して、お考えやご提案があれば、お書きください。

ご協力ありがとうございました。

説 明 書

中央調査社世帯モニターのみなさまへ

この調査は、厚生労働省の厚生労働科学研究による調査で、今後のわが国の効果的なエイズ対策に生かすための情報を集めることを目的として実施されるものです。よろしくご協力のほどを御願い申し上げます。

- ・回答は無記名で、個人の特定につながる質問は一切ありません。
- ・質問は、性感染症やエイズに関する知識やご認識をお聞きする内容が中心ですが、性行動に関する質問が3問含まれます。
- ・調査へのご参加は任意です。参加しないことによる不利益は一切ありません。
- ・答えたくない質問にはお答えになる必要はありません。
- ・途中で参加を取りやめることもできます。
- ・データは、集計した形でのみ扱われるため、個々人の情報が外部に出たりすることは決してなく、またいただいた内容が、上記の目的以外に使われることはできません。

以上の点についてご同意いただけた場合にのみ、質問への回答にお進みください。

調査に関するご質問、もしくは、内容に関連してご相談なさりたいことがあれば、弊社もしくは下記にご連絡ください。

(問い合わせ先)

厚生労働省エイズ予防のための戦略研究班事務局

(京都大学大学院医学研究科社会疫学分野 TEL:075-753-4350 FAX:075-753-4359)

エイズ予防のための基礎調査

調査主体：厚生労働科学研究「エイズ予防のための戦略研究」

中央調査杜世帯モニターのみなさまへ

この調査は、厚生労働省の厚生労働科学研究による調査で、今後のわが国のエイズ啓発プログラム対策に生かすための情報を集めることを目的として実施されるものです。よろしくご協力のほどを御願い申し上げます

質問は、性感染症やエイズに関する知識やご認識をお聞きする内容が中心ですが、性行動に関する質問が数問含まれます。

調査へのご参加は任意です。参加しないことによる不利益は一切ありません。また、答えたくない質問にはお答えになる必要はありません。回答は無記名で、個人の特定につながる質問は一切ありません。データは、集計した形でのみ扱われるため、個々人の情報が外部に出たりすることは決してなく、またいただいた内容が、上記の目的以外に使われることはございません。

以上の点についてご同意いただけた場合にのみ、質問への回答にお進みください。

記入した調査票は、回収用封筒に入れて、ご返送下さい。

研究に関するお問い合わせ、もしくは、内容に関連してご相談なさりたいことがあれば、下記にご連絡ください。

厚生労働省「エイズ予防のための戦略研究」班事務局

(京都大学大学院医学研究科社会疫学分野 TEL:075-753-4350 FAX:075-753-4359)

A. あなたご自身のことについてお伺いします。

A1. あなたは、

1. 男 2. 女

A2. 年齢は、

歳

A3. あなたのお住まいは、

1. 大阪府内 2. 大阪府以外

B. 性感染症（性病）のことについてお伺いします。

B1. 性感染症について日ごろ関心をお持ちですか

1. 全くない
2. 多少はある
3. ある
4. かなりある
5. 非常にある

B2. 自分が今、性感染症に感染している可能性があると思いますか？

1. 全くないと思う
2. あまりないと思う
3. あるともないともいえない
4. ありそうだと思う
5. かなりあると思う

B3. 性感染症の検査を受けてみようという気持ちは、今どれくらいありますか

1. 全くない
2. 多少はある
3. ある
4. かなりある
5. 非常にある

C. エイズのことについてお伺いします。

C1. エイズについて日ごろ関心をお持ちですか

1. 全くない
2. 多少はある
3. ある
4. かなりある
5. 非常にある

C2. 自分が今エイズウイルスに感染している可能性があると思いますか？

1. 全くないと思う
2. あまりないと思う
3. あるともないともいえない
4. ありそうだと思う
5. かなりあると思う

C3. エイズの検査を受けてみようという気持ちは、今どれくらいありますか

1. 全くない
2. 多少はある
3. ある
4. かなりある
5. 非常にある

このページの括弧のなかの文章をまずよくお読みください。

性器クラミジアという性病についての情報です。

1. 今、日本で非常に増えています。
2. 今、**大阪**でも非常に増えています。
3. **女性に多い**性病です（男性の2倍以上）。
4. **若い人**に多く、**10人に1人以上**が感染していると言われています。
5. 相手から**うつりやすい病気**です（5回に1回）。
6. **オーラルセックス**（口を使った性行為）でもうつります。
7. 感染していても**男性の半分、女性の8割**でいたみもかゆみも出ません。
8. でも、放っておくと、女性では卵管が傷ついて**不妊**になりやすくなります。
9. でも、放っておくと、男性では**副こう丸炎**になることがあります。
10. 放っておくと、**エイズウイルス**に何倍もかかりやすくなります。
11. 出産のとき**赤ちゃん**の肺や目にうつるという困ったことが起こります。
12. 医療機関で頼めば**尿で検査**できます。
13. 最近、薬を一回飲むだけでなおるようになりました。

エイズについての情報です。

1. 最近、**中国**で、エイズウイルス感染者が増えています。
2. 最近、**台湾**で、大きなエイズ流行がきました。
3. 最近、日本で、エイズウイルス感染者が増えています。
4. 最近、**大阪**で、エイズウイルス感染者が増えています。
5. 治療の進歩で、**早く治療**を受ければ、感染しても、普通に近い生活ができるようになりました。
6. エイズウイルスに感染しても、**5-10年は症状がなく**、自分では感染しているかどうかわかりません。
7. 男性より**女性**の方が感染しやすい。
8. 保健所（保健センター）では、名前を言わずに無料でエイズ検査ができます。
9. 大阪には、**夜間や休日にエイズ検査**を受けられる公的な検査所があります。
10. 日本中**どの保健所でも**エイズ検査を受けることができます。
11. 病院や医院では、自費なら、**実名でなくても**エイズ検査ができます。
12. 検査で感染がわかつても、名前や住所が国に報告されることはありません。

D. 性器クラミジアの情報についてお伺いします。

〈性器クラミジアのはやり具合〉	知っていますか？		あなた自身にとって重要な情報だと思いますか？					自分にとってかなり重要な情報
	はい	いいえ	自分には全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらとも言えない	自分にとって重要なある		
			1	2	3	4		
1. 日本で非常に増えている	1	2	1	2	3	4	5	
2. 大阪で非常に増えている	1	2	1	2	3	4	5	
3. 若い人に多く、10人に1人近くが感染している	1	2	1	2	3	4	5	
4. 女性に多い（男性の2倍）	1	2	1	2	3	4	5	
〈性器クラミジアのうつり方〉								
5. 相手からうつりやすい（5回に1回）	1	2	1	2	3	4	5	
6. オーラルセックス（口を使った性行為）でもうつる	1	2	1	2	3	4	5	
〈性器クラミジアの身体への影響や検査・治療〉								
7. 感染していても男の半分、女の8割で無症状である	はい	いいえ	自分には全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらとも言えない	自分にとって重要なある	自分にとってかなり重要な情報	
			1	2	3	4		
	1	2	1	2	3	4		
8. 放っておくと女性では卵管が傷ついて不妊になりやすくなる	1	2	1	2	3	4	5	
9. 放っておくと男性では副こう丸炎になりやすい	1	2	1	2	3	4	5	
10. 放っておくとエイズウイルスにかかりやすくなる	1	2	1	2	3	4	5	
11. 出産のとき赤ちゃんの肺や目にうつる	1	2	1	2	3	4	5	
12. 医療機関で頼めば尿で検査できる	1	2	1	2	3	4	5	
13. 最近一回薬を飲めばなるようになつた	1	2	1	2	3	4	5	

E. エイズの情報についてお伺いします。

＜エイズのはやり具合＞	知っていますか？		あなた自身にとって重要な情報だと思いますか？				
	はい	いいえ	自分には全く重要でない	あまり重要でない	どちらとも言えない	自分にとって重要なある	自分にとってかなり重要な
1. 最近、中国で増えている	1	2	1	2	3	4	5
2. 最近、台湾で非常に増えている	1	2	1	2	3	4	5
3. 最近、日本で増えている	1	2	1	2	3	4	5
4. 最近、大阪で増えている	1	2	1	2	3	4	5
＜エイズの医学について＞							
5. 治療の進歩で早く治療すれば普通に近い生活を送れるようになった	1	2	1	2	3	4	5
6. 感染しても 5-10 年は症状がなく、自分でもわからない	1	2	1	2	3	4	5
7. 男性より女性の方が感染しやすい	1	2	1	2	3	4	5
＜エイズ検査について＞	はい	いいえ	自分には全く重要でない	あまり重要でない	どちらとも言えない	自分にとって重要なある	自分にとってかなり重要な
8. 保健所では、名前を言わずに、無料で検査できる	1	2	1	2	3	4	5
9. 大阪には、夜間や休日に検査を受けられる公的な検査所がある	1	2	1	2	3	4	5
10. 日本中どこの保健所でもエイズ検査を受けられる	1	2	1	2	3	4	5
11. 病院や医院では、自費なら実名でなくても検査できる	1	2	1	2	3	4	5
12. 感染がわかつても、名前や住所が国に報告されたりしない。	1	2	1	2	3	4	5

もう一度前と同じ質問ですが、今の時点のお考えをお答えください。

F. 性感染症（性病）のことについてお伺いします。

F1. 自分が今性感染症に感染している可能性があると思いますか？

1. 全くないと思う
2. あまりないと思う
3. あるともないともいえない
4. ありそうだと思う
5. かなりあると思う

F2. 性感染症の検査を受けてみようという気持ちは、今どれくらいありますか

1. 全くない
2. 少少はある
3. ある
4. かなりある
5. 非常にある

G. エイズのことについてお伺いします。

G1. 自分が今エイズウイルスに感染している可能性があると思いますか？

1. 全くないと思う
2. あまりないと思う
3. あるともないともいえない
4. ありそうだと思う
5. かなりあると思う

G2. エイズの検査を受けてみようという気持ちは、今どれくらいありますか

1. 全くない
2. 少少はある
3. ある
4. かなりある
5. 非常にある

H. 性感染症（性病）の検査について

あなたが性感染症の検査を受けようと思ったと仮定してお答えください。

H1. 医療機関に検査を受けにいくことに抵抗を感じると思いますか？

1. 非常に感じると思う
2. かなり感じると思う
3. 感じると思う
4. あまり感じないと思う
5. 全く感じないと思う

H2. 何に抵抗を感じると思いますか (○はいくつでも)

1. 検査費用がわからないこと
2. 保険証を使えば家族に知られる恐れがあること
3. 誰か知り合いに会うかもしれないこと
4. プライバシーが守られるどうかに不安があること
5. 軽べつの目で見られるかもしれないこと
6. 色々プライベートなことを聞かれるかもしれないこと
7. 恥ずかしい検査をされるかもしれないこと
8. 色々注意されるかもしれないこと
9. その他 (下の枠内にお書きください)

H3. 医療機関に行くより郵送検査の方がいいと思いますか？

1. はい
2. いいえ

H4. どうしたら性病の検査が受けやすいと思いますか? (○はいくつでも)

1. エイズ検査のように保健所で無料で名前を言わずに検査ができる
2. 尿検査でできること
3. 繁華街の一角で気軽に検査が受けられること
4. 検査の値段が安いこと

5. 定期検診の検査の一部として選べること
6. 祝祭日や日曜日に受けられること
7. 駅の近くで受けられること
8. 夜間に受けられること
9. その他（下の枠内にお書きください）

I. エイズの検査について

あなたがエイズの検査を受けようと思ったと仮定してお答えください。

I1. 保健所にエイズ検査を受けにいくことに抵抗を感じると思いますか？

1. 非常に感じると思う
2. かなり感じると思う
3. 感じると思う
4. あまり感じないと思う
5. 全く感じないと思う

I2. 何に抵抗を感じると思いますか（○はいくつでも）

1. 保健所という場所自体に行きにくさを感じる
2. 誰か知り合いに会うかもしれないこと
3. 知り合いでなくとも人と顔を会わすこと
4. プライバシーが守られるかどうかに不安があること
5. 軽べつ的な扱いを受けるかもしれないこと
6. 色々プライベートなことを聞かれるかもしれないこと
7. 色々注意されるかもしれないこと
8. その他（下の枠内にお書きください）

I3. 医療機関にエイズ検査を受けにいくことに抵抗を感じると思いますか？

1. 非常に感じると思う
2. かなり感じると思う
3. 感じると思う
4. あまり感じないと思う
5. 全く感じないと思う

I4. 何に抵抗を感じると思いますか (○はいくつでも)

1. 医療機関自体に行きにくく感じる
2. 誰か知り合いに会うかもしれないこと
3. 知り合いでなくとも人と顔を会わすこと
4. プライバシーが守られるかどうかに不安があること
5. 軽べつ的な扱いを受けるかもしれないこと
6. 色々プライベートなことを聞かれるかもしれないこと
7. 説教をされるかもしれないこと
8. その他 (下の枠内にお書きください)

I5. 保健所や医療機関に行くより郵送検査の方がいいと思いますか？

1. はい
2. いいえ

I6. どうしたらエイズ検査が受けやすいと思いますか? (○はいくつでも)

1. すぐに結果がわかること
2. 繁華街の一角で気軽に検査が受けられること
3. 検査の値段が安いこと
4. 定期検診の検査の一部として選べること
5. 祝祭日や日曜日に受けられること
6. 駅の近くで受けられること
7. 夜間に受けられること
8. その他 (下の枠内にお書きください)

J. 性行動についてお伺いします。

J1. あなたは性経験がおありますか？

1. ある
2. ない

J2. これまでの性交渉の相手は2人以上になりますか。

1. はい
2. いいえ

J3. これまでにコンドームを用いない性交渉の経験がありますか？

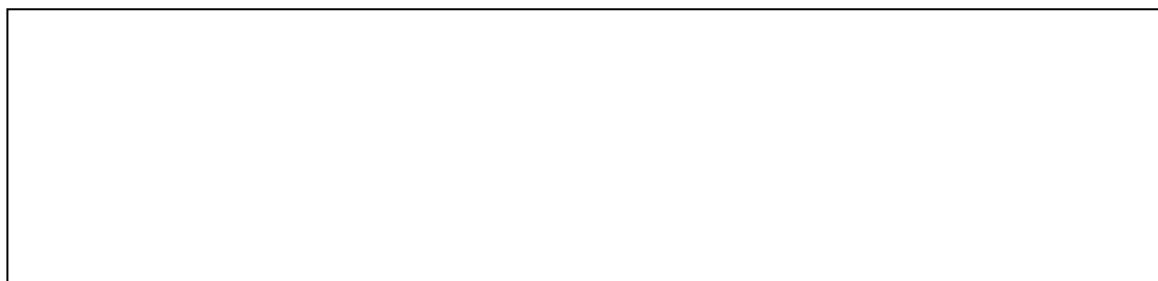
1. はい
2. いいえ

K. 大阪におけるエイズキャンペーンについてお伺いします。

K1. これまで大阪におけるエイズキャンペーンに接したことがありますか？

1. 全くない
2. ほとんどない
3. あまりない
4. 少しはある
5. かなりある
6. 非常によくある。

これで質問は終わりですが、その他、エイズや性感染症に対する対策について、お考えやご提案があれば、お書きください。



ご

協力ありがとうございました。

インタビューフロー

(1) アンケートの妥当性の確認

- ・ このアンケートについてどう思いますか（これを皮切りに話を始める）

Probe : 言葉で分かりにくいところ、回答が難しいところ

(2) STDについて

- ・ STDについて普段、話題になることがありますか。

Probe : 友達や知り合いでかかった人がいましたか？

- ・ STDに関して（アンケートの内容で）知らなかつたことがありましたか？

- ・ STDについての情報で（アンケートの内容で）大切と思った情報がありましたか？

Probe : 特にどの情報ですか？

家族にとって重要な情報がありましたか？

- ・ STD感染が心配となつたと仮定してください。まずどうすると思いますか？

Probe : どうやって情報を集めますか？ どういう情報を信頼？

- ・ STD検査を受けようと思ったとします。どうしますか？

Probe : どこにかかりますか？（診療科）

- ・ 医療機関にいくのはどうですか？

Probe : いきやすいですか？

いきにくいとすればなぜですか？（雰囲気、場所、プライバシー）

- ・ どうあれば、STD検査にいきやすいと思いますか？

Probe : 場所、時間帯、雰囲気、医療者側の態度

在宅検査についてはどう思いますか？

(3) HIVについて

- ・ エイズについて普段、話題になることがありますか。

Probe : 友達や知り合い同士で話題にすることありますか？

- ・ エイズに関して（アンケートの内容で）知らなかつたことがありましたか？

- ・ エイズについての情報で（アンケートの内容で）大切と思った情報がありましたか？

Probe : 特にどの情報ですか？

家族にとって重要な情報がありましたか？

- ・ HIV感染が心配となつたと仮定してください。まずどうすると思いますか？

Probe : どうやって情報を集めますか？ どういう情報を信頼？

- HIV検査を受けようと思ったとします。どうしますか？

Probe：どこにかかりますか？（保健所、診療科）

- 保健所に検査にいくのはどうですか？

Probe：いきやすいですか？

いきにくいくらいとすればなぜですか？（雰囲気、場所、プライバシー）

- どうあれば、保健所にいきやすいと思いますか？

Probe：場所、時間帯、雰囲気、スタッフ側の態度

- 医療機関に検査にいくのはどうですか？

Probe：いきやすいですか？

いきにくいくらいとすればなぜですか？（雰囲気、場所、プライバシー）

- どうあれば、保健所にいきやすいと思いますか？

Probe：場所、時間帯、雰囲気、スタッフ側の態度

- 在宅検査についてはどう思いますか？

インタビューの説明及び参加同意書

私は、「エイズ予防のための戦略研究」に関するインタビューに参加するにあたり、調査について及び以下の項目について担当する調査者から十分な説明を受け、私のプライバシーが厳重に守られる形で調査が行われることを理解いたしました。そこで今回、私はこのインタビューに自らの自由意志で参加することにいたします。

記

- ・ インタビューは 2 時間程度です。
- ・ インタビューはプライバシー保護のために、仮名で行います。
- ・ インタビュー参加は完全に自発的なもので、参加の意思がなくなったときには、インタビューの途中でも退席することができます。その場合でも、謝金をお払いします。
- ・ 参加しない、もしくは途中で取りやめることによる不利益は一切ありません。
- ・ 会話はテープ録音され、その後文章化されます。
- ・ 回答しにくい質問があれば、無理に答えなくても構いません。
- ・ 録音して欲しくないと思われる質問があれば、その部分の録音は中断もしくはその場で削除します。
- ・ 録音テープや文章化されたデータは施錠できる場所で厳重に保管され、研究以外の目的で使われることはできません。研究終了後 5 年以内にそれらのデータはすべて裁断の上破棄されます。
- ・ あなたがインタビューに参加したことは、一切口外されることはありません。
- ・ インタビューでの発言内容は本研究の研究担当者のみが閲覧し、研究論文に引用されることがあります。個人を特定できるいかなる情報も含むことは一切なく、研究以外の目的で使用されることはありません。
- ・ 研究成果は希望があれば入手可能です。

以上

同意日 平成 年 月 日

本人署名（仮名もしくは記号） _____

インタビューに関する説明を行い、自由意思による同意が得られたことを確認します。

担当者署名 _____

説明書

HIV 検査サービスのあり方に関する 基礎調査へのご協力の御願い

この調査は、厚生労働省の厚生労働科学研究による調査で、今後のわが国の HIV 検査体制のあり方を見直すための情報を集めることを目的として実施されるものです。よろしくご協力のほどを御願い申し上げます。

- ・回答は無記名で、個人の特定につながる質問は一切ありません。
- ・質問は、過去の保健所等の公的 HIV 検査や一般医療機関での HIV 検査を受けた経験のある方に、その時の印象とそれに基づくご意見・ご提案をお聞きする内容となっています。
- ・調査へのご参加は任意です。参加しないことによる不利益は一切ありません。
- ・答えたくない質問にはお答えになる必要はありません。
- ・途中で参加を取りやめることもできます。
- ・データは、まとめた形でのみ扱われるため、個々人の情報が外部に出たりすることは決してなく、またいただいた内容が、上記の目的以外に使われることはなりません。

以上の点についてご同意いただけた場合にのみ、質問にご回答ください。
(調査にご協力いただける方には、謝金 1000 円を進呈させていただいております。)

調査に関するご質問、もしくは、内容に関連してご相談なさりたいことがあれば、この説明書をあなたに手渡した主治医、もしくは下記にご連絡ください。

(問い合わせ先)

厚生労働省エイズ予防のための戦略研究班事務局
(京都大学大学院医学研究科社会疫学分野 TEL:075-753-4350 FAX:075-753-4359)

HIV 検査サービスのあり方に関する基礎調査

この調査は、厚生労働省の厚生労働科学研究による調査で、今後のわが国の HIV 検査サービスのよりよいあり方の検討に資する情報を集めることを目的として実施されるものです。よろしくご協力のほどを御願い申し上げます。質問は、過去の保健所等の公的 HIV 検査や一般医療機関での HIV 検査を受けた経験のある方に、その時の印象とそれに基づくご意見・ご提案をお聞きする内容となっています。

調査へのご参加は任意です。参加しないことによる不利益は一切ありません。また、答えたくない質問にはお答えになる必要はありません。回答は無記名で、個人の特定につながる質問は一切ありません。データは、まとめた形でのみ扱われるため、個々人の情報が外部に出たりすることは決してなく、またいただいた内容が、上記の目的以外に使われることはできません。

以上の点についてご同意いただけた場合にのみ、質問への回答にお進みください。

なお、調査にご協力いただいた方には、謝金を進呈しておりますので、お受け取り下さい。

記入した調査票は、封筒に入れて、密封して、主治医にお渡し下さい。

研究に関するご質問があれば、下記にご連絡ください。

厚生労働省「エイズ予防のための戦略研究」班事務局

(京都大学大学院医学研究科社会疫学分野 TEL:075-753-4350 FAX:075-753-4359)

A.これまで以下の機会で検査を受けたことがありますか？ 該当するものすべてに○をつけてください。

1. 保健所などでの公的検査
2. 一般医療機関（エイズ診療拠点病院以外）での検査

B.これらの検査サービスについてどういう全体的印象を持っておられますか？

自分が受けた検査についてお答えください。

(どれかひとつに○をつけてください)						
	非 し常 てに い満 る足	か しな り い満 る足	ま あ と 思 うだ	や や 不 満 るが	か な り あ 不 満 るが	非 常 が に あ 不 満
B1 保健所など公的HIV検査に対して全体的にどのような印象を持っておられますか？	→	1	2	3	4	5
B2 一般医療機関におけるHIV検査に対して全体的のどのような印象を持っておられますか？	→	1	2	3	4	5

C. 保健所など公的 HIV 検査の経験のある方にお聞きします。検査サービスの各部についてどういう印象を持っておられますか？

	(どれかひとつに○をつけてください)					
	非常 し常 てに い満 る足	か しな り い満 る足	ま あ と ま 思 あ うだ	や や 不 満 るが	か な が り あ 不 満 る	非 常 が に あ 不 満
C1. 検査のできる曜日 ➡	1	2	3	4	5	6
C2. 検査のできる時間帯 ➡	1	2	3	4	5	6
C3. 電話による検査予約時の応対 ➡	1	2	3	4	5	6
C4. 検査受付時の応対 ➡	1	2	3	4	5	6
C5. 待合室の雰囲気 ➡	1	2	3	4	5	6
C6. 検査担当者の応対 ➡	1	2	3	4	5	6
C7. 受検者のプライバシーに対する配慮 ➡	1	2	3	4	5	6
C8. 受検者のセクシュアリティに対する配慮 ➡	1	2	3	4	5	6
C9. 検査結果の告知時の応対 ➡	1	2	3	4	5	6

D. 一般医療機関で HIV 検査の経験のある方にお聞きします。検査サービスの各部についてどういう印象を持っておられますか？

	(どれかひとつに○をつけてください)					
	非常 し常 てに い満 る足	か しな り い満 る足	ま あ と ま 思 あ うだ	や や 不 満 るが	か な が り あ 不 満 る	非 常 が に あ 不 満
D1. 電話による検査予約時の応対 ➡	1	2	3	4	5	6
D2. 検査受付時の応対 ➡	1	2	3	4	5	6
D3. 医師の応対 ➡	1	2	3	4	5	6
D4. 看護師の応対 ➡	1	2	3	4	5	6
D5. 受検者のプライバシーに対する配慮 ➡	1	2	3	4	5	6
D6. 受検者のセクシュアリティに対する配慮 ➡	1	2	3	4	5	6
D7. 検査結果の告知時の応対 ➡	1	2	3	4	5	6

D8. 一般医療機関での HIV 検査費用はどう思われましたか。(○はひとつ)

1. 高すぎる
2. やや高すぎる
3. 適当である

C. HIV 検査について、具体的に、どのような経験があったのか、またどのように改善すればよいかの提案があればお書きください。今後の改善の上で重要ですので、できるだけ多くお書きいただければ幸いです。ただしご自分の特定につながるような個人情報は含めないように御願いします。

ご協力どうもありがとうございました。（足りない場合には裏面もお使いください）

説明書

HIV 検査サービスのあり方に関する 基礎調査へのご協力の御願い

この調査は、厚生労働省の厚生労働科学研究による調査で、今後のわが国の HIV 検査体制のあり方を見直すための情報を集めることを目的として実施されるものです。よろしくご協力を御願い申し上げます。

- 回答は無記名で、個人の特定につながる質問は一切ありません。
- 質問は、過去の保健所等の公的 HIV 検査や一般医療機関での HIV 検査を受けた経験のある方に、その時の印象とそれに基づくご意見・ご提案をお聞きする内容となっています。
- 調査へのご参加は任意です。参加しないことによる不利益は一切ありません。
- 答えたくない質問にはお答えになる必要はありません。
- 途中で参加を取りやめることもできます。
- データは、まとめた形でのみ扱われるため、個々人の情報が外部に出たりすることは決してなく、またいただいた内容が、上記の目的以外に使われることはありません。

以上の点についてご同意いただけた場合にのみ、質問にご回答ください。

調査に関するご質問は下記にご連絡ください。

厚生労働省エイズ予防のための戦略研究班事務局

(京都大学大学院医学研究科社会疫学分野 TEL:075-753-4350 FAX:075-753-4359)

また、この調査に関連して HIV 検査に関する心配や不安などを感じられた場合には、下記にご連絡ください。

財団法人エイズ予防財団 エイズ電話相談 0120-177-812（祝祭日を除く月～金曜日 10:00～13:00、14:00～17:00）

専門の相談員が、フリーダイヤルによるエイズに関する電話相談を受けつけています。携帯電話からは、03-3592-1183 へ。相談員が直接電話に出ます。

HIV 検査サービスのあり方に関する基礎調査

A. これまで以下の機会で検査を受けたことがありますか？ 該当するものすべてに○をつけてください。

1. 保健所などの公的検査
2. 一般医療機関（エイズ診療拠点病院以外）での検査

B. これらの検査サービスについてどういう全体的印象を持っておられますか？自分が受けた検査についてお答えください。

(どれかひとつに○をつけてください)						
	非 常 に 満 足	か し な り い 満 足	ま あ と 思 う だ	や や 不 満 る が	か な が り あ 不 満 る 満	非 常 が に あ 不 る 満
B1 保健所など公的HIV検査に対して全体的にどのような印象を持っておられますか？ ➡	1	2	3	4	5	6
B2 一般医療機関におけるHIV検査に対して全体的のどのような印象を持っておられますか？ ➡	1	2	3	4	5	6

C. 保健所など公的 HIV 検査の経験のある方にお聞きします。検査サービスの各部についてどういう印象を持っておられますか？

(どれかひとつに○をつけてください)						
	非 常 に 満 足	か し な り い 満 足	ま あ と 思 う だ	や や 不 満 る が	か な が り あ 不 満 る 満	非 常 が に あ 不 る 満
C1. 検査のできる曜日 ➡	1	2	3	4	5	6
C2. 検査のできる時間帯 ➡	1	2	3	4	5	6
C3. 電話による検査予約時の応対 ➡	1	2	3	4	5	6
C4. 検査受付時の応対 ➡	1	2	3	4	5	6
C5. 待合室の雰囲気 ➡	1	2	3	4	5	6
C6. 検査担当者の応対 ➡	1	2	3	4	5	6
C7. 受検者のプライバシーに対する配慮 ➡	1	2	3	4	5	6
C8. 受検者のセクシュアリティに対する配慮 ➡	1	2	3	4	5	6
C9. 検査結果の告知時の応対 ➡	1	2	3	4	5	6

D. 一般医療機関で HIV 検査の経験のある方にお聞きします。検査サービスの各部についてどういう印象を持っておられますか？

(どれかひとつに○をつけてください)						
	非 し常 てに い満 る足	か しなり い満 る足	ま あ とま 思あ うだ	や や 不 満 あるが	か なり があ不 る満	非 常 がに あ不 る満
D1. 電話による検査予約時の応対	→	1	2	3	4	5
D2. 検査受付時の応対	→	1	2	3	4	5
D3. 医師の応対	→	1	2	3	4	5
D4. 看護師の応対	→	1	2	3	4	5
D5. 受検者のプライバシーに対する配慮	→	1	2	3	4	5
D6. 受検者のセクシュアリティに対する配慮	→	1	2	3	4	5
D7. 検査結果の告知時の応対	→	1	2	3	4	5

D8. 一般医療機関での HIV 検査費用はどう思われましたか。（○はひとつ）

1. 高すぎる
2. やや高すぎる
3. 適当である

C. HIV 検査について、具体的に、どのような経験があったのか、またどのように改善すればよいかの提案があればお書きください。今後の改善の上で重要ですので、できるだけ多くお書きいただければ幸いです。ただしご自分の特定につながるような個人情報は含めないように御願いします。

ご協力どうもありがとうございました。

説明書

HIV 検査サービスのあり方に関する 基礎調査へのご協力の御願い

この調査は、厚生労働省の厚生労働科学研究による調査で、今後のわが国の HIV 検査体制のあり方を見直すための情報を集めることを目的として実施されるものです。よろしくご協力のほどを御願い申し上げます。

- ・回答は無記名で、個人の特定につながる質問は一切ありません。
- ・質問は、今回の HIV 検査についての印象とそれに基づくご意見・ご提案をお聞きする内容となっています。
- ・調査へのご参加は任意です。参加しないことによる不利益は一切ありません。
- ・答えたくない質問にはお答えになる必要はありません。
- ・途中で参加を取りやめることもできます。
- ・データは、まとめた形でのみ扱われるため、個々人の情報が外部に出たりすることは決してなく、またいただいた内容が、上記の目的以外に使われることはなりません。

以上の点についてご同意いただけた場合にのみ、質問にご回答ください。
(調査にご協力いただける方には、500 円の図書券を進呈させていただきます。)

調査に関するご質問があれば、この説明書をあなたに手渡した受付担当者、もしくは下記にご連絡ください。

(問い合わせ先)

厚生労働省エイズ予防のための戦略研究班事務局

(京都大学大学院医学研究科社会疫学分野 TEL:075-753-4350 FAX:075-753-4359)

HIV 検査サービスのあり方に関する基礎調査

この調査は、厚生労働省の厚生労働科学研究による調査で、今後のわが国の HIV 検査サービスのよりよいあり方の検討に資する情報を集めることを目的として実施されるものです。よろしくご協力のほどを御願い申し上げます。今回の HIV 検査についての印象とそれに基づくご意見・ご提案をお聞きする内容となっています。

説明書を理解し、ご同意いただけた場合にのみ、ご回答ください。なお、調査にご協力いただいた方には、謝品を進呈しておりますので、お受け取り下さい。

記入した調査票は、封筒に密封して、お帰りの際に回収箱にお入れ下さい。

研究に関するご質問があれば、受付担当者、もしくは下記にご連絡ください。

厚生労働省「エイズ予防のための戦略研究」班事務局

(京都大学大学院医学研究科社会疫学分野 TEL:075-753-4350 FAX:075-753-4359)

A. 本日の検査についてどういう全体的印象を持たれましたか？

1. 非常に満足している
2. かなり満足している
3. まあまあだと思う
4. やや不満がある
5. かなり不満がある
6. 非常に不満がある

B. 検査サービスのそれぞれの部分についての印象をお答えください。

	(どれかひとつに○をつけてください)					
	非 常 に 満 足 す る 足	か なり 満 足 す る 足	ま あ ま だ と 思 う だ	や や 不 満 す る が	か な り 不 満 す る が	非 常 に 不 満 す る が
1. 検査のできる曜日 ➡	1	2	3	4	5	6
2. 検査のできる時間帯 ➡	1	2	3	4	5	6
3. 電話による検査予約時の応対 ➡	1	2	3	4	5	6
4. 検査受付時の応対 ➡	1	2	3	4	5	6
5. 待合室の雰囲気 ➡	1	2	3	4	5	6
6. 検査担当者の応対 ➡	1	2	3	4	5	6
7. 検査についての説明 ➡	1	2	3	4	5	6
8. 受検者のプライバシーに対する配慮 ➡	1	2	3	4	5	6
9. 受検者のセクシュアリティに対する配慮 ➡	1	2	3	4	5	6
10. 検査結果の告知時の応対 ➡	1	2	3	4	5	6

(裏面もあります)

C. 本日の HIV 検査について、具体的に、どのような問題点があり、それをどのように改善すればよいかの提案があればお書きください。また、もし評価できると思われる点があれば、それもお書きください。今後の改善の上で重要ですので、できるだけ多くお書きいただければ幸いです。ただしご自分の特定につながるような個人情報は含めないように御願いします。

ご協力どうもありがとうございました。

説 明 書

HIV 予防のための基礎調査

この調査は、厚生労働省の厚生労働科学研究による調査で、今後のわが国の効果的なエイズ対策に生かすための情報を集めることを目的として実施されるものです。よろしくご協力のほどを御願い申し上げます。

- ・回答は無記名で、個人の特定につながる質問は一切ありません。
- ・質問は、エイズに関する知識やご認識及びエイズ検査の経験やお考えをお聞きする内容が中心で、性行動に関する質問などはありません。
- ・調査へのご参加は任意です。参加しないことによる不利益は一切ありません。
- ・答えたくない質問にはお答えになる必要はありません。
- ・途中で参加を取りやめることもできます。
- ・データは、集計した形でのみ扱われるため、個々人の情報が外部に出たりすることは決してなく、またいただいた内容が、上記の目的以外に使われることはできません。

以上の点についてご同意いただけた場合にのみ、質問への回答にお進みください。
(調査にご協力いただける方には、謝品を進呈させていただきます。)

調査に関するご質問は下記にご連絡ください。

厚生労働省エイズ予防のための戦略研究班事務局

(京都大学大学院医学研究科社会疫学分野 TEL:075-753-4350 FAX:075-753-4359)

また、この調査に関連して心配や不安などを感じられた場合は下記にご連絡ください。

財団法人エイズ予防財団 エイズ電話相談 0120-177-812 (祝祭日を除く月～金曜日
10:00～13:00、14:00～17:00)

専門の相談員が、フリーダイヤルによるエイズに関する電話相談を受けつけています。
携帯電話からは、03-3592-1183 へ。相談員が直接電話に出来ます。

エイズ予防のための基礎調査

調査主体：厚生労働科学研究「エイズ予防のための戦略研究」

この調査は、厚生労働省の厚生労働科学研究による調査で、今後わが国のエイズ啓発プログラム対策に生かすための情報を集めることを目的として実施されるものです。よろしくご協力のほどを御願い申し上げます

調査へのご参加は任意です。参加しないことによる不利益は一切ありません。また、答えたくない質問にはお答えになる必要はありません。回答は無記名で、個人の特定につながる質問は一切ありません。データは、集計した形でのみ扱われるため、個々人の情報が外部に出たりすることは決してなく、またいただいた内容が、上記の目的以外に使われることはありません。

以上の点についてご同意いただけた場合にのみ、質問への回答にお進みください。

(調査にご協力いただいた方には、粗品をご用意しておりますので、お受け取り下さい。)

記入した調査票は、回収用封筒に入れて、封印して、調査員にお渡し下さい。

研究に関するお問い合わせ、もしくは、内容に関連してご相談なさりたいことがあれば、調査員、もしくは下記にご連絡ください。

厚生労働省「エイズ予防のための戦略研究」班事務局
(京都大学大学院医学研究科社会疫学分野 TEL:075-753-4350 FAX:075-753-4359)

A. あなたご自身のことについてお伺いします。

A1. あなたは、

1. 男 2. 女

A2. 年齢は、

歳

A3. あなたのお住まいは、

1. 大阪府内 2. 大阪府以外

B. エイズのことについてお伺いします。

B1. エイズについて日ごろ関心をお持ちですか

1. 全くない
2. 多少はある
3. ある
4. かなりある
5. 非常にある

B2. これまでエイズ検査を受けたことがありますか？

1. いいえ
2. はい

B3. 「はい」と答えられた方にお伺いします。どこで（どういう）検査を受けましたか？

1. 保健所関係の平日の検査
2. 保健所関係の夜間・休日検査
3. 即日検査（その日のうちに結果がわかる検査）
4. 一般医療機関（泌尿器科、皮膚科、性病科、産婦人科など）
5. 郵送検査
6. その他（ ）

B2. 今日はエイズ検査を受けますか（受けましたか）？

1. いいえ
2. はい

B3. 「いいえ」と答えた方にお聞きします。それはなぜですか？ 当てはまるものをいくつでもお答えください。

1. 日本ではエイズは流行していないから
2. 自分がエイズにかかっているとは思わないから
3. 検査の費用が高いから
4. エイズはどうせ治療できないので調べても無駄だから
5. エイズのような症状がないから
6. 検査結果を知るのがこわいから
7. その他（ ）

B4. 上で選んだもののうち一番の理由と思うものはどれですか？（ひとつだけ○）

1. 日本ではエイズは流行していないから
2. 自分がエイズにかかっているとは思わないから
3. 検査の費用が高いから
4. エイズはどうせ治療できないので調べても無駄だから
5. エイズのような症状がないから
6. 検査結果を知るのがこわいから
7. その他（ ）

枠のなかの文章をまずよくお読みください。

1. 最近、**中国**で、エイズウイルス感染者が増えています。
2. 最近、**台湾**で、大きなエイズ流行が起きました。
3. 最近、日本で、エイズウイルス感染者が増えています。
4. 最近、**大阪**で、エイズウイルス感染者が増えています。
5. 治療の進歩で、**早く治療**を受ければ、エイズウイルスに感染しても、普通に近い生活ができるようになりました。
6. エイズウイルスに感染しても、**5-10年は症状がなく**、自分で感染しているかどうかわかりません。
7. エイズウイルスには、男性より**女性**の方が感染しやすい。
8. 保健所（保健センター）では、名前を言わずに無料でエイズ検査ができます。
9. 大阪には、**夜間や休日にエイズ検査**を受けられる公的な検査所があります。
10. 日本中**どこの保健所でも**エイズ検査を受けることができます。
11. 病院や医院では、自費なら、**実名でなくても**エイズ検査ができます。
12. 検査で感染がわかつても、名前や住所が国に報告されることはありません。

C. エイズの情報についてお伺いします。

＜エイズのはやり具合＞	知っていますか？		あなた自身にとって重要な情報だと思いますか？					
	はい	いいえ	自分には全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらとも言えない	自分にとって重要なである	自分にとってかなり重要な	
1. 最近、中国で増えている	1	2	1	2	3	4	5	
2. 最近、台湾で非常に増えている	1	2	1	2	3	4	5	
3. 最近、日本で増えている	1	2	1	2	3	4	5	
4. 最近、大阪で増えている	1	2	1	2	3	4	5	
＜エイズの医学について＞								
5. 治療の進歩で早く治療すれば普通に近い生活を送れるようになった	1	2	1	2	3	4	5	
6. 感染しても 5-10 年は症状がなく、自分でもわからない	1	2	1	2	3	4	5	
7. 男性より女性の方が感染しやすい	1	2	1	2	3	4	5	
＜エイズ検査について＞	はい	いいえ	自分には全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらとも言えない	自分にとって重要なである	自分にとってかなり重要な	
8. 保健所では、名前を言わずには、無料で検査できる								
9. 大阪には、夜間や休日に検査を受けられる公的な検査所がある	1	2	1	2	3	4	5	
10. 日本中どこの保健所でもエイズ検査を受けられる	1	2	1	2	3	4	5	
11. 病院や医院では、自費なら実名でなくても検査できる	1	2	1	2	3	4	5	
12. 感染がわかつても、名前や住所が国に報告されたりしない。	1	2	1	2	3	4	5	

D. エイズの検査について

D1. 自分が今エイズウイルスに感染している可能性があると思いますか？

1. 全くないと思う
2. あまりないと思う
3. あるともないともいえない
4. ありそうだと思う
5. かなりあると思う

D2. エイズの検査を受けてみようという気持ちは、今どれくらいありますか

1. 全くない
2. 多少はある
3. ある
4. かなりある
5. 非常にある

あなたがエイズの検査を受けようと思ったと仮定してお答えください。

D3. 保健所にエイズ検査を受けにいくことに抵抗を感じると思いますか？

1. 非常に感じると思う
2. かなり感じると思う
3. 感じると思う
4. あまり感じないと思う
5. 全く感じないと思う

D4. 何に抵抗を感じると思いますか (○はいくつでも)

1. 保健所という場所自体に行きにくさを感じる
2. 誰か知り合いに会うかもしれないこと
3. 知り合いでなくとも人と顔を会わすこと
4. プライバシーが守られるかどうかに不安があること
5. 軽べつ的な扱いを受けるかもしれないこと
6. 色々プライベートなことを聞かれるかもしれないこと
7. 色々注意されるかもしれないこと
8. その他 (下の枠内にお書きください)

D5. 医療機関にエイズ検査を受けにいくことに抵抗を感じると思いますか？

1. 非常に感じると思う
2. かなり感じると思う
3. 感じると思う
4. あまり感じないと思う
5. 全く感じないと思う

D6. 何に抵抗を感じると思いますか (○はいくつでも)

1. 医療機関自体に行きにくく感じる
2. 誰か知り合いに会うかもしれないこと
3. 知り合いでなくとも人と顔を会わすこと
4. プライバシーが守られるかどうかに不安があること
5. 軽べつの扱いを受けるかもしれないこと
6. 色々プライベートなことを聞かれるかもしれないこと
7. 説教をされるかもしれないこと
8. その他 (下の枠内にお書きください)

D7. エイズ検査は、保健所や医療機関に行くより郵送検査の方がいいと思いますか？

1. はい
2. いいえ

D8. どうしたらエイズ検査が受けやすいと思いますか? (○はいくつでも)

1. すぐに結果がわかること
2. 繁華街の一角で気軽に検査が受けられること
3. 検査の値段が安いこと
4. 定期検診の検査の一部として選べること
5. 祝祭日や日曜日に受けられること
6. 駅の近くで受けられること
7. 夜間に受けられること
8. その他 (下の枠内にお書きください)

E. 大阪におけるエイズキャンペーンについてお伺いします。

E1. これまで大阪におけるエイズキャンペーンに接したことがありますか？

1. 全くない
2. ほとんどない
3. あまりない
4. 少しはある
5. かなりある
6. 非常によくある。

これで質問は終わりですが、その他、エイズや性感染症に対する対策に関して、お考えやご提案があれば、お書きください。

ご協力ありがとうございました。

資料 17

形成調査 1-3 及び 8 の保健所、医療機関における HIV/STD 検査の問題点と改善方向に関する自由記載回答のまとめ

1. 質問内容と該当質問項目

質問内容	形成調査質問項目番号			
	1	2	3	8
保健所でのエイズの検査の何に抵抗を感じると思うか	J2	Q16	J2	F2
医療機関でのエイズ検査の何に抵抗を感じると思うか	J4	Q18	J4	F4
どうしたら保健所や医療機関でのエイズ検査が受けやすいと思うか	J5	Q19	J5	F5
医療機関での性感染症検査の何に抵抗を感じると思うか	K2	Q21	K2	-
どうしたら医療機関での性感染症検査が受けやすいと思うか	K3	Q22	K3	-

2. 調査別回答数（回答内容はデータシート 1）

質問内容	形成調査番号			
	1 (n=543)	2 (n=806)	3 (n=535)	8 (n=312)
保健所でのエイズの検査の何に抵抗を感じると思うか	15	2	21	13
医療機関でのエイズ検査の何に抵抗を感じると思うか	6	8	13	6
どうしたら保健所や医療機関でのエイズ検査が受けやすいと思うか	8	12	16	7
医療機関での性感染症検査の何に抵抗を感じると思うか	7	3	3	-
どうしたら医療機関での性感染症検査が受けやすいと思うか	4	7	7	-

3. 全調査回答内容のカテゴリー分類（回答内容はデータシート 2）

1) 保健所でのエイズの検査の何に抵抗を感じると思うか

カテゴリー	件数
① 結果を知ることの不安	20
② プライバシー漏洩への不安	6
③ 検査の曜日・時間帯の不便	4
④ 行きづらさ：雰囲気と場所	11
⑤ 検査への不信感	3
⑥ 時間がかかることへの不満	2
⑦ 男性に応対されることへの抵抗感	3
⑧ 費用の問題	2
⑨ 色々質問されることへの不安	1
⑩ 隔離不安	1
⑪ エイズへの抵抗感	6
⑫ その他	3

2) 医療機関でのエイズ検査の何に抵抗を感じると思うか

カテゴリー	件数
① 結果をしことの不安	10
② プライバシー漏洩への不安	7
③ 医療従事者の対応・態度への不安	2
④ 行きづらさ	3
⑤ 男性に応対されることへの抵抗感	2
⑥ 検査費用への不安	1

3) どうしたら保健所や医療機関でのエイズ検査が受けやすいと思うか

カテゴリー	件数
① 健康診断の一部に入る	5
② 検査を義務付ける	6
③ 受け易い検査機会の工夫	2
④ 顔を合わさずに受けられるようにする	3
⑤ 自己検査	2
⑥ 往診検査	2
⑦ 他の土地でも検査できること	2
⑧ メール等で結果を知れるようにする	2
⑨ 女性による対応	2
⑩ 検査費用を安く、もしくは値段がわかるように	4
⑪ PR・情報提供の強化	7
⑫ プライバシーの不安がないこと	1
⑬ 陽性告知後の対応	1
⑭ 結果が早くわかること	1

4) 医療機関での性感染症検査の何に抵抗を感じると思うか

カテゴリー	件数
① 検査に対する不安	3
② プライバシー漏洩への不安	1
③ 受診の恥ずかしさ	3
④ 男性に応対されることへの抵抗	2
⑤ その他	3

5) どうしたら医療機関での性感染症検査が受けやすいと思うか

カテゴリー	件数
① 健康診断の一部に入る	2
② 検査を義務づける	2
③ 受け易い検査機会の工夫	1
④ 顔を合わさずに受けられるようにする	1
⑤ 自己検査	1
⑥ 往診検査	1
⑦ メール等による結果を知れるようにする	1
⑧ 女性による対応	2
⑨ 検査費用に関するこ	1

データシート1：形成調査別の回答内容の具体例

(1) 形成調査1（自動車教習所受講者）

1) 保健所でのエイズの検査の何に抵抗を感じると思うか

- ・ 家族に知られるかもしれない。電話や郵便、PCのメールを使った連絡で
- ・ 保健所に限らず普段行かない場所には、抵抗を感じる。エイズ検査には尚更。
- ・ 雰囲気が閉鎖的な感じだから
- ・ 場所が知られていない
- ・ 検査をうけなければならぬような人間だと思われるのが嫌だ
- ・ 男の人と会うのがいや（先生も含めて）
- ・ エイズということに抵抗を感じる
- ・ エイズという言葉自体に自分が抵抗を感じて受けづらい
- ・ もし自分がエイズにかかっているという結果が出たら、混乱すると思うので。
- ・ 診断結果に対する不安
- ・ 告知されるところ
- ・ こわい
- ・ かわい
- ・ かかっていたら嫌だから、それを知るのが嫌だから行きたくない
- ・ 検査が痛いとかくるしいとかだったらいや

2) 医療機関でのエイズ検査の何に抵抗を感じると思うか

- ・ 健康保険組合や国保の市町村にも知れ渡る
- ・ 男の人と会うのがいや（先生も含めて）
- ・ 差別が非常に根強い。男性・女性問わずさらされる。性的に正常であってもエイズ検査を受けるさいに軽蔑的な言葉を投げつけられるかもしれない（男性・女性も）
- ・ 診断結果に対する不安

3) どうしたら保健所や医療機関でのエイズ検査が受けやすいと思うか

- ・ 明るいイメージで若い人も検査を受けてみようと思うような呼びかけ等をよくする。
- ・ 会社と団体の健康診断の一部にいれたらいいかも
- ・ 新聞、雑誌、テレビなどのPR活動
- ・ 他人の悪口を言わない、人間の鑑のような人たちで機関をつくる
- ・ 無料にしてください
- ・ 献血みたいな感じで駅などにバスがあってそんな感じだったら受けやすくなると思う
- ・ 先生や看護婦が全て女性
- ・ 皆が受ける、受けなければいけない制度があれば

4) 医療機関での性感染症検査の何に抵抗を感じると思うか

- ・ どんな検査をするのかが明確にわからないから
- ・ どういう症状なのか言うのが恥ずかしい
- ・ 健康保険組合や国保の市町村にも知れ渡る
- ・ 彼氏に反対される
- ・ 男の人と会うのがいや（先生も含めて）
- ・ こわい
- ・ 検査がこわいから

5) どうしたら医療機関での性感染症検査が受けやすいと思うか

- ・ あまり知らない人たちに性感染症になったら、こんなことになりますよとわかりやすく教える。
- ・ 薬局などで販売する
- ・ 他人の悪口を言わない、人間の鑑のような人たちで機関をつくる
- ・ 先生などがすべて女性

(2) 形成調査2（パソコンモニター）

- 1) 保健所でのエイズの検査の何に抵抗を感じると思うか
 - ・ どのぐらいの時間がかかるか、また、何度も足を運ばなければならないか
 - ・ なんとなく
 - ・ エイズ検査をしなければならない自分自身に抵抗を感じる。
 - ・ 調べてエイズだったらどうしようかと不安になる
 - ・ 平日しか行けないところ
 - ・ 自分がエイズであるとわかること
 - ・ 電車に乗って乗り継いで歩いて、1時間くらい掛かるところに保健所があると言うこと。
 - ・ その地域の人が職員なので知り合いがいるのではと不安
 - ・ もしも自分が陽性だったらその後、保健所で今後のケアや病院など紹介してくれるかが心配
 - ・ 女性医師で無い場合も有り、性に関する事だけに、男性医師では、抵抗があるから
 - ・ もしエイズだとした場合、心の問題を考えてくれるか心配。
 - ・ 検査する人が男性では抵抗を感じる
 - ・ 何年に1回とか検査を受ける義務にしたらよい
- 2) 医療機関でのエイズ検査の何に抵抗を感じると思うか
 - ・ 窓口で説明するとき何の検査かを言うなり書くなりしないといけないので、第三者に知られる恐れがある。
 - ・ 医療機関に記録が残ること
 - ・ 受けやすい場所がない
 - ・ どのぐらいの時間がかかるか、また、何度も足を運ばなければならないか
 - ・ なんとなく
 - ・ 担当の人がいやな態度をとるかもと思う 人の心が結構見えるたちなので気になる。
 - ・ 保健所までの距離
 - ・ もしエイズだった場合、心の問題を考えてくれるか心配。
 - ・ 医師が男性だと抵抗がある。
 - ・ 自分がエイズであるとわかること
 - ・ 結果
- 3) どうしたら保健所や医療機関でのエイズ検査が受けやすいと思うか
 - ・ web やメールで使い捨て ID を発行してもらい、その ID と検体を郵送で送って、その ID を使って web 上で結果を参照できるシステムがあれば
 - ・ 通常の健康診断にエイズ検査もプログラムとして入れておく
 - ・ 検査する人と顔をあわすことがない。
 - ・ 一度受けてみれば今までいいと思うはず。ある程度行き難い事もいいことですよ。逆に考えるとお手軽な検査があるからお手軽に SEX するんじゃないですかね。
 - ・ 妊娠検査薬のように自宅で一人で検査ができるらしいです・・・病院へはその後、治療に行きたい。
 - ・ 窓口で直接顔をあわさず受付できる
 - ・ 世の中のエイズに対する考え方が変わること
 - ・ 自分の住んでいる地域とかけ離れた所で検査できる。郵送の検査も地域でのものではなく、自分で選べると良いと思う。
 - ・ 女性医師に検診してもらえる
 - ・ 前もって、検査の内容を知りたい。
 - ・ 全く知らない土地のどこで検査を受けられるかがインターネットで分かり、予約できる。
 - ・ 何年に1回検査をするのが義務になるとよい。
- 4) 医療機関での性感染症検査の何に抵抗を感じると思うか
 - ・ どのぐらいの時間がかかるか、また、何度も足を運ばなければならないか
 - ・ 嫁に移っているかも知れない事・・・
 - ・ 内科ならいいが、専門の泌尿器科などに入店することじたいはずかしい。
 - ・ 女性は特に未婚だと婦人科には行きにくいと思う。
 - ・ 女性医師で無い場合が有り、性に関する事だけに、男性医師には抵抗が有る為

5) どうしたら医療機関での性感染症検査が受けやすいと思うか

- ・ web やメールで使い捨て ID を発行してもらい、その ID と検体を郵送で送って、その ID を使って web 上で結果を参照できるシステムがあれば
- ・ 企業などで行っている定期的な人間ドックなどの項目にエイズ検査項目を設けれ抵抗なく皆が受けるので受けやすくなると思います。
- ・ 通常の健康診断の時に性病検査を義務付ける
- ・ 普通の内科でも診断できるようにしてほしい
- ・ がん検診などのときと同時に申告なしで出来る
- ・ 郵送でも自分が指定した場所で検査が受けられるようになるといいと思う。
- ・ 対応者が、女性であること

(3) 形成調査3（世帯モニター）

1) 保健所でのエイズの検査の何に抵抗を感じると思うか

- ・ 今、保健所は区役所の内にあるので、人が多くてプライバシーが守られない。元は別の所であった。
- ・ 公的機関であり、検査結果が守られるとは思えないし、発見した時もしらばっくれて責任逃れをしそうで、信用できない。
- ・ 保健所に今まで行ったことがないため、抵抗を感じる。
- ・ きちんと検査ができるか疑問である
- ・ 念のために検査に行っても何か不安がある
- ・ ネット等で試薬など要求出来ないものか
- ・ 相手が誰か聞かれそう…でも全体に広がるのはくい止めたい。何とかして。
- ・ 最寄の保健所の場合、休日や夜間は閉まっている
- ・ どんな公共機関であっても人間が関れば絶対ということがない！！
- ・ 乳幼児検診で、もともと保健所にはあまり良い印象がない。
- ・ 検査の結果のことで頭がいっぱいだと思います。検査の抵抗よりも不安（これから先のこと）
- ・ 費用の件（どこから必要になるのか）
- ・ 感染している可能性（こころあたり）が全くないのであるかの様に思われる
- ・ 保健所にわざわざ行くのはおかしいです。医療機関の方が自然な感じです。
- ・ 矛盾した思いだと思うが、エイズ感染していた場合その事実を知りたくない。
- ・ もしエイズにかかっていたらどうしようか不安になる
- ・ はっきりと結果が出るのがこわいだろうと思う
- ・ 「結果が陽性だったらどうしよう」と思うから

2) 医療機関でのエイズ検査の何に抵抗を感じると思うか

- ・ 結果がどのような手段で知らされるのか。
- ・ 特別その検査のためだけに医療機関を訪問するという気になれない。
- ・ 会社へ行けなくなる
- ・ 本当にヤバイとちがうかと思ったらどこでもいくと思う。命やから。相談相手が必要やな。若い人は誰とでもすぐ許すからね。
- ・ 信用問題
- ・ 医療のほうが保健所より受けやすい。保健所はじもとのところへというと顔さすが、医療は全国、その気になればどこにでもいける。
- ・ 保健所より「公的」に思えない。
- ・ 保健所での検査なら、結果を渡されて終わるそうだが、医療機関なら、医師の隣で女性の看護師さんが聞いていそうで、陽性のとき気まずそうである。
- ・ 検査の結果のことで頭がいっぱいだと思います。検査の抵抗よりも不安（これから先のこと）
- ・ 近所だと行きにくいこともあるし、遠いと行きつづけないので、どこに行くかまよったり、信頼関係が持てるか不安
- ・ もしエイズにかかっていたらどうしようか不安になる
- ・ 矛盾した思いだと思うが、エイズ感染していた場合その事実を知りたくない。

- ・ 結果が出るのがこわいと思う

3) どうしたら保健所や医療機関でのエイズ検査が受けやすいと思うか

- ・ 全ての人が健康診断を受ける時に調べてもらえばいいと思います。もし感染していたら、田の病気と同じように個別指導といって説明をしてあげたらいいと思います。
- ・ 市民検診の一部に取り入れて欲しい。
- ・ テレビでの啓蒙、該当の活動、専門病院の紹介や薬の効果公表など。
- ・ 保健・医療機関で検査をうけることに意義があるのかもしれません、女性妊娠判定薬のように持ち帰って自分が一番に結果をわかるようになればいいと思う。
- ・ 検査をうける必要説明がなく、またあっても不明だから。つまり受診者の事情や都合無視の検査は不要と考えたから。
- ・ 家まで来て、検査に来てくれること。
- ・ 定期健康診断等のメニューに入れておく
- ・ 結果もメール・ウェブ等で結果がわかる、できるようにする。
- ・ 献血の時
- ・ プライバシーが本当に守られるとは思いません。無理。
- ・ 学校等で全員に受けさせる。全員が受けなければ特定の人だけでないためはずかしくないのではないか。
- ・ もしエイズだとして、その後の治療方法や医療機関へのスムーズな対応が受けられることが、誰もが知っていること。エイズだとして、その後は自分で治療に行ってくれと言われてもなかなか行けないと思うので。
- ・ すぐに結果がわかることと、それに対応する手段、治療機関等にすぐに運んでいってもらえて、説明、治療が受けられること、心理的なカウンセリングがしてもらえること。
- ・ 顔を見られずに受けられるといいと思う
- ・ 強制的になれば
- ・ 義務だと受けやすい

4) 医療機関での性感染症検査の何に抵抗を感じると思うか

- ・ 具体的な事が自分自身に経験もないで不安が大きい
- ・ 特に自覚症状がなく、その疑いもなく、あくまでも検査だけならば、する必要がないと考えてしまう。ただし、疑いがあるならば、受診すると思います。
- ・ 無関係な検査もされる可能性がある。
- ・ 5) どうしたら医療機関での性感染症検査が受けやすいと思うか
- ・ 受診者の都合と事情を考慮したら。
- ・ 家に知らせが来る、家で調べる事ができる。
- ・ 検査費用がわからないので（医療機関）、提示していただきたい。
- ・ 献血時
- ・ 予防のため学校等で全員に受けさせるべき（もちろんプライバシーには気を付けて）
- ・ 医療機関のモラル
- ・ 顔を見られないで受けられるといいと思う

(4) 形成調査 8 (STD クリニック受診者)

1) 保健所でのエイズの検査の何に抵抗を感じると思うか

- ・ 検査費など。
- ・ 一般医療機関でHIV検査を申し出ることに抵抗がないため、あえて保健所に行かなくてもいい。
- ・ 隔離されたりするかもしれない。
- ・ 他人と間違われた結果を報告されたらいやや。
- ・ 時間が9：30～11：00までと短いのと、あさはきびしい。過去に保健所の結果をとりにいく時間の変更をおねがいしたら、電話の対応してくれた方から注意された。保健センターの職員の方に、HIV検査は1回しかできないのですよと言われ、暗に無料で何度も受けてほしくない旨をいわれ、それ以来行っていない。
- ・ 結果に時間がかかるためみ病院で受ける。

- ・ 間違った検査結果がでた場合、匿名だと誰かわからないので困ると思う。
- ・ 時間帯の問題。
- ・ 役所は行きにくい。
- ・ お互いのためなので、あまり抵抗ないです。
- ・ こわい。
- ・ 検査結果を知るのに抵抗を感じる。
- ・ 不安だから怖い。
- ・ こわい、結果が。

2) 医療機関でのエイズ検査の何に抵抗を感じると思うか

- ・ 医療機関では実費となってますが、いくら位かかるか不安です。
- ・ 会社に知られるかどうか。
- ・ 検査結果を知るのに抵抗を感じる。
- ・ 抵抗は感じない。
- ・ こわい。
- ・ 保健所が遠い。
- ・ 医療機関でのエイズ検査は、知っている医院があるから抵抗をまったく感じない。

3) どうしたら保健所や医療機関でのエイズ検査が受けやすいと思うか

- ・ 値段をもっとわかる様にしてほしい。
- ・ 来てもらうのではなく、保健所・医療機関が出むくべき。
- ・ 費用を安くしてほしい。
- ・ う~ん！他の検査と合同でエイズ検査を受けられるようにする。
- ・ 病院などで受けても、保険がきくと受けやすい。保健所などにいくのも面倒。
- ・ 情報的によく知らない（検査の受け方）。

データシート2：全調査をプールした質問別の回答内容の分類

* 表現はプライバシーに触れないように改変・短縮

1) 保健所でのエイズの検査の何に抵抗を感じると思うか

<結果を知ることの不安> 20件

- ・ もし自分がエイズにかかっているという結果が出たら、混乱すると思うので。
- ・ 診断結果に対する不安
- ・ 告知されるところ
- ・ こわい
- ・ かわい
- ・ かかっていたら嫌だから、それを知るのが嫌だから行きたくない
- ・ 調べてエイズだったらどうしようかと不安になる
- ・ 矛盾した思いだと思うが、エイズ感染していた場合その事実を知りたくない。
- ・ もしエイズにかかっていたらどうしようか不安になる
- ・ はっきりと結果が出るのがこわいだろうと思う
- ・ こわい。
- ・ 検査結果を知るのに抵抗を感じる。
- ・ 不安だから怖い。
- ・ こわい、結果が。
- ・ 自分がエイズであるとわかる
- ・ 「結果が陽性だったらどうしよう」と思うから
- ・ もしエイズだとした場合、心の問題を考えてくれるか心配。
- ・ もしも自分が陽性だったらその後、保健所で今後のケアや病院など紹介してくれるか心配
- ・ 検査の結果のことで頭がいっぱいだと思います。検査の抵抗よりも不安（これから先のこと）

<プライバシー漏洩への不安> 6件

- ・ 家族に知られるかもしれない。電話や郵便、PCのメールを使った連絡で
- ・ その地域の人が職員なので知り合いがいるのではと不安
- ・ 今、保健所は区役所の内にあるので、人が多くてプライバシーが守られない。元は別の所であった。
- ・ 公的機関であり、検査結果が守られるとは思えないし、発見した時もしらばっくれて責任逃れをして、信用できない。
- ・ どんな公共機関であっても人間が関れば絶対ということがない！！
- ・ 保健所は地元で顔がさす。

<検査の曜日・時間帯の不便> 4件

- ・ 平日しか行けないところ
- ・ 最寄の保健所の場合、休日や夜間は閉まっている
- ・ 時間が9:30～11:00までと短いのと、朝はきびしい。過去に保健所の結果をとりにいく時間の変更をおねがいしたら、電話の対応してくれた方から注意された。職員の方に、HIV検査は1回しかできないのですよと言われ、暗に無料で何度も受けてほしくない旨をいわれ、それ以来行っていない。
- ・ 時間帯の問題。

<行きづらさ：雰囲気と場所> 11件

- ・ 保健所に限らず普段行かない場所には、抵抗を感じる。エイズ検査には尚更。
- ・ 雰囲気が閉鎖的な感じだから
- ・ 乳幼児検診で、もともと保健所にはあまり良い印象がない。
- ・ 役所は行きにくい。
- ・ 保健所に今まで行ったことがないため、抵抗を感じる。
- ・ 保健所にわざわざ行くのはおかしいです。医療機関の方が自然な感じです。
- ・ 一般医療機関でHIV検査を申し出ることに抵抗がないため、あえて保健所に行かなくてもいい。
- ・ 場所が知られていない
- ・ 電車に乗って乗り継いで歩いて、1時間くらい掛かるところに保健所があると言うこと。

- ・ 保健所が遠い。
- ・ 保健所までの距離

＜検査への不信感＞ 3件

- ・ 他人と間違われた結果を報告されたらいやや。
- ・ 間違った検査結果がでた場合、匿名だと誰かわからないので困ると思う。
- ・ きちんと検査ができるか疑問である

＜時間がかかることへの不満＞ 2件

- ・ どのくらいの時間がかかるか、また、何度も足を運ばなければならないか
- ・ 結果に時間がかかるため病院で受ける。

＜男性に応対されることへの抵抗感＞ 3件

- ・ 男の人と会うのがいや（先生も含めて）
- ・ 女性医師で無い場合も有り、性に関わる事だけに、男性医師では、抵抗があるから
- ・ 検査する人が男性では抵抗を感じる

＜費用の問題＞ 2件

- ・ 費用の件（どこから必要になるのか）
- ・ 検査費など。

＜色々質問されることへの不安＞ 1件

- ・ 相手が誰か聞かれそう…でも全体に広がるのはくい止めたい。

＜隔離不安＞ 1件

- ・ 隔離されたりするかもしれない。

＜エイズへの抵抗感＞ 6件

- ・ エイズということに抵抗を感じる
- ・ エイズという言葉自体に自分が抵抗を感じて受けづらい
- ・ なんとなく
- ・ エイズ検査をしなければならない自分自身に抵抗を感じる。
- ・ 検査をうけなければならないような人間だと思われるのが嫌だ
- ・ 感染している可能性（こころあたり）が全くないのにあるかの様に思われる

＜その他＞ 3件

- ・ 検査が痛いとかくるしいとかだったらいや
- ・ 何年に1回とか検査を受ける義務にしたらよい
- ・ ネット等で試薬など要求出来ないものか

2) 医療機関でのエイズ検査の何に抵抗を感じると思うか

＜結果をすることの不安＞ 10件

- ・ 診断結果に対する不安
- ・ もしエイズだった場合、心の問題を考えてくれるか心配。
- ・ 自分がエイズであるとわかること
- ・ 結果
- ・ 検査の結果のことで頭がいっぱいだと思います。検査の抵抗よりも不安（これから先のこと）
- ・ もしエイズにかかっていたらどうしようか不安になる
- ・ 矛盾した思いだと思うが、エイズ感染していた場合その事実を知りたくない。
- ・ 結果が出るのがこわいと思う
- ・ 検査結果を知るのに抵抗を感じる。
- ・ こわい。

＜プライバシー漏洩への不安＞ 7件

- ・ 健康保険組合や国保の市町村にも知れ渡る
- ・ 医療機関に記録が残ること

- ・ 会社へ行けなくなる
- ・ 会社に知られるかどうか。
- ・ 結果がどのような手段で知らされるのか。
- ・ 保健所での検査なら、結果を渡されて終わるが、医療機関なら、医師の隣で女性の看護師さんが聞いていそうで、陽性のとき気まずそうである。
- ・ 窓口で説明するとき何の検査かを言うなり書くなりしないといけないので、第三者に知られる恐れ

＜医療従事者の対応・態度への不安＞ 2件

- ・ 差別が非常に根強い。男性・女性問わずさらされる。性的に正常であってもエイズ検査を受けるさに軽蔑的な言葉を投げつけられるかもしれない（男性・女性も）
- ・ 担当の人がいやな態度をとるかもと思う 人の心が結構見えるたちなので気になる。

＜行きづらさ＞ 3件

- ・ 受けやすい場所がない
- ・ 特別その検査のためだけに医療機関を訪問するという気になれない。
- ・ 近所だと行きにくいこともあるし、遠いと行きつづけてないので、どこに行くかまよったり、信頼関係が持てるか不安

＜男性に応対されることへの抵抗感＞ 2件

- ・ 男の人と会うのがいや（先生も含めて）
- ・ 医師が男性だと抵抗がある。

＜検査費用への不安＞ 1件

- ・ 医療機関では実費となってますが、いくら位かかるか不安です。

3) どうしたら保健所や医療機関でのエイズ検査が受けやすいと思うか

＜健康診断の一部に入れる＞ 5件

- ・ 会社と団体の健康診断の一部にいれたらいいかも
- ・ 通常の健康診断にエイズ検査もプログラムとして入れておく
- ・ 市民検診の一部に取り入れて欲しい。
- ・ 定期健康診断等のメニューに入れておく
- ・ 他の検査と合同でエイズ検査を受けられるようにする。

＜検査を義務付ける＞ 6件

- ・ 皆が受ける、受けなければいけない制度があれば
- ・ 何年に1回検査をするのが義務になるとよい。
- ・ 全ての人が健康診断を受ける時に調べてもらえばいいと思います。
- ・ 学校等で全員に受けさせる。全員が受けなければ特定の人だけでないためはずかしくないのではないか。
- ・ 強制的になれば
- ・ 義務だと受けやすい。

＜受け易い検査機会の工夫＞ 2件

- ・ 献血みたいな感じで駅などにバスがあってそんな感じだったら受けやすくなると思う。
- ・ 献血の時に受けられるようにする。

＜顔を合わさず受けられるようにする＞ 3件

- ・ 検査する人と顔をあわすことがない。
- ・ 窓口で直接顔をあわさず受付できる。
- ・ 顔を見られずに受けられるといいと思う。

＜自己検査＞ 2件

- ・ 妊娠検査薬のように自宅で一人で検査ができたらしいです・・・病院へはその後、治療に行きたい。
- ・ 女性妊娠判定薬のように持ち帰って自分が一番に結果をわかるようになればいいと思う。

<往診検査> 2件

- ・ 家まで来て、検査に来てくれること。
- ・ 来てもらうのではなく、保健所・医療機関が出むくべき。

<他の土地でも検査できること> 2件

- ・ 自分の住んでいる地域とかけ離れた所で検査できる。郵送の検査も地域でのものではなく、自分で選べると良いと思う。
- ・ 全く知らない土地のどこで検査を受けられるかがインターネットで分かり、予約できる。

<メール等で結果を知れるようにする> 2件

- ・ web やメールで使い捨て ID を発行してもらい、その ID と検体を郵送で送って、その ID を使って web 上で結果を参照できるシステムがあれば
- ・ 結果もメール・ウェブ等で結果がわかる、できるようにする。

<女性による対応> 2件

- ・ 先生や看護婦が全て女性
- ・ 女性医師に検診してもらえる

<検査費用を安く、もしくは値段がわかるように> 4件

- ・ 無料にしてください
- ・ 値段をもっとわかる様にしてほしい。
- ・ 費用を安くしてほしい。
- ・ 病院などで受けても、保険がきくと受けやすい。保健所などにいくのも面倒。

<PR・情報提供の強化> 7件

- ・ 新聞、雑誌、テレビなどのPR活動
- ・ 世の中のエイズに対する考え方方が変わること
- ・ テレビでの啓蒙、該当の活動、専門病院の紹介や薬の効果公表など。
- ・ 情報的によく知らない（検査の受け方）。
- ・ もしエイズだとして、その後の治療方法や医療機関へのスムーズな対応が受けられることが、誰もが知っていること。
- ・ 明るいイメージで若い人も検査を受けてみようと思うような呼びかけ等をよくする。
- ・ 前もって、検査の内容を知りたい。

<プライバシーの不安がないこと> 1件

- ・ プライバシーが本当に守られるとは思いません。無理。

<陽性告知後の対応> 1件

- ・ （感染していた場合）対応する手段、治療機関等にすぐに運んでいってもらえて、説明、治療、カウンセリングがしてもらえること。

<結果が早くわかること> 1件

- ・ すぐに結果がわかること。

4) 医療機関での性感染症検査の何に抵抗を感じると思うか

<検査に対する不安> 3件

- ・ 検査がこわいから
- ・ どんな検査をするのかが明確にわからないから
- ・ 具体的な事が自分自身に経験もないので不安が大きい。

<プライバシー漏洩への不安> 1件

- ・ 健康保険組合や国保の市町村にも知れ渡る

<受診の恥ずかしさ> 3件

- ・ どういう症状なのか言うのが恥ずかしい
- ・ 女性は特に未婚だと婦人科には行きにくいと思う。
- ・ 内科ならいいが、専門の泌尿器科などに入店することじたいはずかしい。

<男性に応対されることへの抵抗> 2件

- ・ 男の人と会うのがいや（先生も含めて）
- ・ 女性医師で無い場合が有り、性に関する事だけに、男性医師には抵抗が有る為

<その他> 3件

- ・ どのくらいの時間がかかるか、また、何度も足を運ばなければならないか
- ・ 彼氏に反対される。
- ・ 無関係な検査もされる可能性がある。

5) どうしたら医療機関での性感染症検査が受けやすいと思うか

<健康診断の一部に入れる> 2件

- ・ 企業などで行っている定期的な人間ドックなどの項目にエイズ検査項目を設けれ抵抗なく皆が受けるので受けやすくなると思います。
- ・ がん検診などのときと同時に申告なしで出来る

<検査を義務づける> 2件

- ・ 通常の健康診断の時に性病検査を義務付ける
- ・ 予防のため学校等で全員に受けさせるべき（もちろんプライバシーには気を付けて）

<受け易い検査機会の工夫> 1件

- ・ 普通の内科でも診断できるようにしてほしい

<顔を合わさずに受けられるようにする> 1件

- ・ 顔を見られないで受けられるといいと思う

<自己検査> 1件

- ・ 薬局などで販売する

<往診検査> 1件

- ・ 家に知らせが来る、家で調べる事ができる。

<メール等による結果を知れるようにする> 1件

- ・ web やメールで使い捨て ID を発行してもらい、その ID と検体を郵送で送って、その ID を使って web 上で結果を参照できるシステムがあれば

<女性による対応> 2件

- ・ 先生などがすべて女性
- ・ 対応者が、女性であること

<検査費用に関すること> 1件

- ・ 検査費用がわからないので（医療機関）、提示していただきたい。

<PR・情報提供の強化>

- ・ あまり知らない人たちに性感染症になったら、こんなことになりますよとわかりやすく教える。

資料 18

形成調査 5 のエイズ診療拠点病院の HIV 陽性者の調査における自由記述回答のまとめ

1. 質問内容

質問 D 「HIV 検査について、具体的に、どのような経験（いやだったこと、よかったです）があったのか、またどのように改善すればよいかの提案（時間帯、曜日、迅速検査、受付、事前事後のカウンセリング、告知の仕方、プライバシーの配慮など）があればお書きください。今後の改善の上で重要ですので、できるだけ多くお書きいただければ幸いです。ただしご自分の特定につながるような個人情報は含めないように御願いします。」

2. 回答数

100 人の回答者のうち、76 人から自由記述回答が得られた。

3. 回答内容の集計

内容	件数
1. 医療機関での経験	
(1) プライバシーに配慮に対する不満	<環境>
	7
	<対応>
	4
(2) 医療従事者の対応についての不満	<告知時の対応>
	8
	<その他の対応>
	6
(3) 医療従事者の差別的対応	9
(4) ポジティブな評価	<対応>
	9
(5) その他	3
2. 保健所での経験	
(1) 検査の曜日・時間についての不満	9
(2) プライバシーの配慮に対する不満	4
(3) 担当者の態度・対応についての不満	6
(4) ポジティブな評価	<検査>
	2
	<担当者の態度・対応>
	11
(5) その他	3

4. 回答内容の具体例（表現はプライバシーに触れないように改変・短縮）

4-1. 医療機関での経験

(1) プライバシーに配慮に対する不満

<環境>

- ・ カーテン一枚で仕切られた「個室」で告知された。
- ・ 告知の時、待合の人間に聞こえないか不安だった。
- ・ 不完全な個室で性的指向の話をされるつらい
- ・ 他の患者さんに聞こえるような環境で告知された。
- ・ 仕切りカーテンの反対側に他の患者がいる環境で告知をされた。
- ・ 待合室に筒抜けになるような環境で告知された。
- ・ 他の患者さんに聞こえそうな、病院の懇話室で告知をされた。

<対応>

- ・ 家族同席で告知された。
- ・ 家に電話があり、母親に用件（再検査にくること）が伝えられた。母親とともに診察室に呼び込まれ、一緒にHIV告知をされた。
- ・ 本人とのコンタクトの取り方に配慮がなく、家族にはばれそうになった。
- ・ 一般医療機関で、告知を家族に先にされたため動搖した。

(2) 医療従事者の対応についての不満

<告知時の対応>

- ・ 告知・カウンセリングがほとんどなく、ただ、拠点病院に行くよう言われた。
- ・ 理由も告げずに、ただ、至急に拠点病院に行くように言われた。
- ・ 告知のときに患者に対する配慮がなく死ぬほど苦しんだ。
- ・ 入院していた病院で夜中に突然告知され、ショックを受けた。
- ・ 電話で突然告知され、冷静になるまで時間がかかった。
- ・ 専門外の総合病院で何の配慮もなく告知され、またストレートな質問をされた。
- ・ 告知は医師とカウンセラーが同席するのがよいと思う。
- ・ 告知後に病気の説明もないと精神的ダメージが大きい。

<その他の医師の対応>

- ・ 先生がパニックになって、すぐ死ぬようなことを言われた。
- ・ 医師がHIVのことを知らない。
- ・ 発症していないのに「エイズ」と言われた。
- ・ セカンドオピニオンで他の病院にいったからもとの病院にいくよう言われた。
- ・ 地方の医療機関ではプライバシーが守られず、説明も不十分で不安がたまつたが、拠点病院で解消された。
- ・ 本人だけでなく、影響を受ける相手（妻など）への配慮が非常に重要。

(3) 医療従事者の差別的態度

- ・ 患者の心を傷つける発言や態度はよくない。
- ・ 一般医療機関で告知されたが、医師と看護師の態度は淡々としていた。
- ・ HIV陽性とわかったら医師が豹変し、冷淡で関わりたくないという態度だった。そんな態度では自殺を考える人も出かねない。一生忘れられない、プライバシーもない経験だった。
- ・ 公立病院で最悪の医師にあたった。
- ・ 嫌悪感丸出しの表情で対応された。
- ・ 他科の医師が心のどこかで偏見を持っているように感じた。
- ・ 看護師から差別的な態度を取られたように感じた。
- ・ 一般医療機関で、入院中にHIV陽性がわかつたら、プライバシーの配慮などなく、医師、看護師たちから、暴言や陰口を言われ、妻や子どもにまで差別的扱いを受け、死を考えた。
- ・ 医師の対応はよかつたが、看護師が冷たい態度だった。

(4) 医療機関に対するポジティブな評価

- ・ 国立大阪病院は医師、看護師ともに最高の対応で治療に希望が持てるようになった。
- ・ 国立病院ではしっかり説明もあり話も聞いてもらえ楽になった。
- ・ 拠点病院での応対は完璧である。
- ・ 開業医の先生に親切にしてもらえた。
- ・ 一般医療機関で検査したが、迅速に拠点病院に紹介してくれた。
- ・ 親身な対応で感謝している。
- ・ 告知のとき、医師が看護師からとても親身に対応してもらった。
- ・ 診察日以外でも電話できちんと対応してくれるので満足している。
- ・ 親切で丁寧だった。

(5) その他

- ・ 特別室に入れられ高額な差額ベッド代を取られた。

- ・ 高額な検査費用がかかる場合がある。
- ・ 待ち時間が長く、検査が高額。

4-2. 保健所での経験

(1) 検査の曜日・時間についての不満

- ・ 時間帯・曜日が限られているので不便（5件）。
- ・ 検査の時間帯が長くなればよい。
- ・ 休日は平日遅くの検査があればいいと思う。
- ・ 土日・休日の検査をもっと多くして欲しい（2件）。

(2) プライバシーの配慮に対する不満

- ・ 多くの人と顔を合わせるのはいやだった。
- ・ 待合室で人目にさらされるのは、センシティブになっている人間にはきつい。
- ・ 全般に感謝の気持ちが強いが、告知の場所が、人にわかつてしまう環境で、悲しく恥ずかしい思いをした。
- ・ 受付で〇〇の検査はここですかと自分で聞かなければいけないことに戸惑った。

(3) 担当者の態度・対応についての不満

- ・ （以前の話） 告知の時のや事後の相談にのってもらえずとても悔しい思いをした。
- ・ （以前の話） 同性愛者は全員乱交すると言われ、知っている限りの同性愛者を連れてこいと言われた。病院も紹介してもらえなかった。
- ・ 医師から不安になるような言動をされた。特に「子どもは生まない方がいい」という発言はやめて欲しい。
- ・ 告知時にもう誰ともセックスするなと言われショックだった。
- ・ 陽性告知のとき担当がおろおろしていては不安になる。
- ・ （以前の話） 施設内の検査や待合の場所がわかりにくかった。通院・投薬についての質問にも答えてもらうと不安感も和らいだと思う。

(4) ポジティブな評価

<検査について>

- ・ 無料匿名検査はよい。
- ・ 保健所の検査はシステムティックで特に不満ない。

<担当者の態度・対応>

- ・ 告知のとき何人かの人が同席されていて結果を予想できショックが和らいだ。告知の仕方がよかったです。
- ・ 告知の際、カウンセラーの説明が詳細でわかりやすかった。
- ・ 告知のとき、別室に連れていかれたのがすごく不安だったが、色々丁寧に教えていただいた。
- ・ 告知の仕方やプライバシーの配慮がきちんとされ、親身にアドバイスしてもらった。「ゲイ」であることを受け入れてもらえた。
- ・ 担当者がよく理解していて、精神的にフォローしてもらった。
- ・ 担当者、医師、ソーシャルワーカーの対応が暖かくで非常によかったです。
- ・ プライバシーに配慮して丁寧に説明してもらって非常に好印象だった。
- ・ 結果を聞くときの対応はとてもよかったです。
- ・ 職員やボランティアの人が治療を勧めてくれたお陰で日常に帰ることができ感謝している。
- ・ すごくよい対応で大変満足している。
- ・ 担当の人がとてもよくしてくれた。

(5) その他

- ・ カウンセリングの体制をよくして欲しい。
- ・ 告知の場所が暗い廊下の奥にありとても暗い印象だった。
- ・ 検査場所の雰囲気はもっと明るい方がよい。

資料 19

形成調査 6 のパソコンモニターの調査における自由記述回答の内容のまとめ

1. 質問内容

質問 D 「HIV 検査について、具体的に、どのような経験（いやだったこと、よかったです）があったのか、またどのように改善すればよいかの提案（時間帯、曜日、迅速検査、受付、事前事後のカウンセリング、告知の仕方、プライバシーの配慮など）があればお書きください。今後の改善の上で重要ですので、できるだけ多くお書きいただければ幸いです。ただしご自分の特定につながるような個人情報は含めないように御願いします。」

2. 回答数

109人の回答者のうち、53人から有効な自由記述回答が得られた。

3. 回答内容の集計

* 同じ人の回答に複数の内容が含まれる場合は、分割して集計。

内容	件数
(1) 検査の曜日・時間帯などについて	6
(2) 検査結果にかかる時間に関する意見	1
(3) 待合室等のプライバシーに関する意見	6
(4) 保健所に行きにくさについて	2
(5) 担当者・相手の対応について	3 10 4
(6) 検査等の PR について	4
(7) 検査費用について	5
(8) 特に問題を感じない	7
(9) その他	8

4. 回答内容の具体例

- 表現はプライバシーに触れないように改変・短縮
- 複数の内容が含まれる場合は、分割して分類。

(1) 検査に関する意見

<検査の曜日・時間帯>

- 受付時間が限定されている場合が多く、仕事を持っているとなかなか行きにくい。
- 受付時間が短い。
- 希望日に最寄の検査機関では検査を実施していなかったので、毎日どこかの検査機関で検査が受けられるようにする。また、検査可能な時間帯を 9:00~12:00, 13:00~16:00, 19:00~22:00 などとする。
- 夜間にできたのが良かったです。平日に行くことができない人は、受診できるところが限られるだろうから不便だと思う。

- ・ 検査に来た人同士が顔を合わさないように、時間帯に余裕を持って案内をすることなどを希望する。
- ・ 待ち時間がもう少し短ければいい

(3) 検査結果にかかる時間に関する意見

- ・ 結果ができる2週間後までものすごく不安でした。待ってる間に不安になって、結果を聞きに行くのが嫌になりました。ほんとに長い2週間でした。出来るものなら、その場ですぐに教えていただきたかったです。

(3) 待合室等のプライバシーに関する意見

- ・ 検査する前の場所で他の人と待たないといけない。WEBで申し込めるようにできないのか？
- ・ 一人一人の受付でなく、来た人が受付で顔を合わせることがあるようになっていた。気になる人は気になるのではないだろうか。
- ・ 待合室あたりで他の人たちと、顔を合わせそうになるのが嫌でした。近所の人と会ったりすれば、噂になるのも怖かったです。
- ・ (医療機関) 検査についての説明を聞くときに隣の患者さんと間仕切り一枚だったのが気になりました。
- ・ 来る人たちの顔がわかるというか、完璧にプライバシーを守ることはできないとは思うが、少し周りが気になった。
- ・ 待合室で他の人と顔をあわすのが嫌だったので少し工夫があればよいのになと思いました。

(4) 保健所に行きにくさについて

- ・ 保健所で昔受けたのですが、役所の中の入り口が「それ」と分かる点が何となく嫌だった。
- ・ 特に嫌だった事はなかったが保健所全体の雰囲気が暗い古いという感じで若い子たちは行きにくいのではないか

(5) 担当者・相手の対応について

<よい対応>

- ・ 3度とも別の場所で受けたがいずれも対応は良くていたいかったことはなかった。プライバシーも守られていた。説明もちゃんとあって数字4ヶタを名乗った。
- ・ 適正な検査で満足している。プライバシーの配慮も良かった。
- ・ 結果を聞きに行った時も他の人の情報がみえないようにしてくれたので、他の人に自分が見えないと安心できた。

<悪い対応>

- ・ プライバシーのない場所で職員に対応され、大声で「そんな月20万円の薬代っていったいどんな病気だ」と呼ばされました。おまけに近所に住んでる職員からエイズ患者だと言いふらされました。ほんの5年ほど前の話です。公務員の意識改革でもしない限り偏見はなくならない。
- ・ 検査を受けた動機について質問され、返答したところ、担当者があからさまに不快感を示された点
- ・ 数年に一回念のために検査を行っていますが、さも原因があつたんでしょ！って態度をされることがあるので結構不愉快
- ・ (10年以上前) 不特定多数に異性と関係をこれからは控えなさいと、まるでそうしたために検査に来たのでしょうかと言わんばかりの態度でした。場所とか人にもそういう後ろめたさが漂う雰囲気でいやな印象しか残ってません。
- ・ いやな目でみられたように感じたことがあった。成人病検査の中に組み込んで検査をするべきだと思う。
- ・ あまりにも事務的、船体的に偏見ではないが気分を害した。
- ・ 看護士の態度に不満がある。
- ・ 嫌だったことは、保健婦の方が数をさばくような感じで乱暴に扱われ、後々まで傷口が痛んだ。
- ・ HIVを含めた血液検査だったので無造作な感じがした。
- ・ 今から11年頃前に腰椎の手術を受ける時に同時にHIVの血液検査も受けるよう病院から言われました。

HIV検査と聞いただけで不愉快な思いをしましたし、私自身は受ける状態には思えなかつたので拒否したかったのですが有無を言わさない看護師の態度がイヤな感じを受けました。

<対応への注文>

- ・(15年近く前)検査結果を保健所へ受取に行った際、確かに密封はされていたものの、結果の書類を窓口の女性から、「大丈夫だったみたいですよ」と言いながら渡された時には、正直、「密封の意味がない」と心の中で笑ってしまいました。
- ・特にないが、検査を後ろめたい気持ちで受けるようなことのないようにしてほしい。
- ・(医療機関)受ける前に看護士が呼び出す受験者名について、名前でなく、ニックネームをつけて呼んで欲しい。
- ・(検査結果の通知のときには)カウンセラーなりの立ち会いの下で封筒を開けないと、ショックを受けたその場で、次の行動を自分で考えることは難しいと思う。

(6) 検査等のPRについて>

- ・検査可能の場所の広報を十分に行うなどのことが必要と思われる。
- ・保健センターで受けられる時間帯がまず平日の午前中であること、さらに一般病院でも受けられることを知らなかつたことが、受けるまでの問題であり、かなり限定された場所・時間でしか検査できないと思っていた。なので検査時間を広げるか、検査場所の周知徹底に努めてほしい。
- ・コマーシャルはいいと思う。5年前は市のホームページを見て調べた。
- ・普通の性交渉経験がある人はみんな危険があるという事をもっと知らせていかないといけないと思う。

(7) 検査費用について

- ・費用が異常に高かった。保険が効かなかつたから。
- ・匿名で無料で受けれる点が良かったです
- ・無料にすればよい
- ・価格はもう少し安いほうがよい
- ・(医療機関で)高額だった。

(8) 特に問題を感じない

- ・さほど抵抗なく受けたと思う。
- ・受けなければならなくなつたこと自体がいやなことだったが、他には何も不満はなかつた。
- ・自分が特に気負わず検査を受けたので、特別な感情は抱きませんでした。
- ・他の性病検査と一緒に受けたのでたいして気にならなかつた
- ・あんまり記憶になくらいすぐ終わりました。みんなにオススメしたいと思います！
- ・通院のついでに検査してもらった。よく知っている先生からの方がよいので、病院でやってもらつてよかったです。
- ・特に不満も不安も無かつた。非常に事務的に行われて、かえって何も考えずに受ける事が出来た。

(9) その他

- ・一般的ながん検査などと一緒に行ったので特別差別?は感じなかつた。特にエイズ検査の時間を設けるなどすると逆に検査に行きづらくなると思う。
- ・検査時に、陽性の結果が出た際、公表だか届出だかする欄にOKと記入したが、人によっては不安感を覚えるかも知れないなども感じた。
- ・実名を告げた検査で、結果を郵送してもらえるサービスを匿名サービスと併用して導入すべきと思う。
- ・エイズ検査以外にも、性病の検査をしてくれたことがよかったです。
- ・自分は陰性でしたが、告知するときに対面でするのがいやでした。
- ・誰でも受けられて無料が望ましい。
- ・もっと簡単に受診できるシステムにしてほしい。
- ・無料で匿名で参加できしたこと

資料 20

形成調査 7 の大阪市の保健所等の調査における自由記述回答の内容のまとめ

1. 質問内容

質問 D「本日の HIV 検査について、具体的に、どのような問題点があり、それをどのように改善すればよいかの提案（時間帯、曜日、迅速検査、受付、事前事後のカウンセリング、告知の仕方、プライバシーの配慮など）があればお書きください。また、よかつた点があれば、それもお書きください。今後の改善の上で重要ですので、できるだけ多くお書きいただければ幸いです。ただしご自分の特定につながるような個人情報は含めないように御願いします。」

2. 回答数

200 人の回答者のうち、112 人から自由記述回答が得られた。

3. 回答内容の集計

* 同じ人の回答に複数の内容が含まれる場合は、分割して集計。

内容	件数
(1) 検査に関する意見	<検査の曜日・時間帯・場所>
	<人数制限>
	<結果伝達の工夫>
(2) 検査結果にかかる時間の関する意見	<即日検査・早い結果返し>
	<一週間は長い>
(3) 待合室のプライバシーに関する意見	15
(4) 担当者の対応・態度に対する意見	<説明がよい>
	<親切・丁寧>
	<対応への注文>
(5) 検査等への PR 不足の指摘	6
(6) 特になし	11
(7) その他	

4. 回答内容の具体例

- 表現はプライバシーに触れないように改変・短縮
- 複数の内容が含まれる場合は、分割して分類。

(1) 検査に関する意見

<検査の曜日・時間帯・場所>

- もっと週に何度か行ったら、より多くの人が検査を受けて感染拡大をおさえられるのでは。
- 曜日や時間帯にもう少し幅があれば良いと思いました。
- 日曜にしてるのは助かりました。
- 曜日（検査できる）が少ない。

- ・ 日曜日が少ない。
- ・ 時間帯、曜日に対して 9:00～17:00、曜日土、日対応を希望します。
- ・ 日曜のみだと受けたくても無理な方がいると思うので、例えば、土、日、土、日、と隔週で実施するのが良いと思います。・ホームページに載っている時間帯と実際の時間帯が違っていたので、可能であればリアルタイムに携帯電話等で確認できるページがあれば良いと思います。
- ・ 平日も何日かしてくれると多くの人がこれるようになると思う。時間帯は遅くまであるとありがたい。
- ・ 曜日や時間を増やした方がよい。
- ・ 曜だけだと、ちょっと来にくく人もいると思うので、土、日、祝にしてほしいです。
- ・ 出来ればもう 1 日、別の曜日があると嬉しいです。
- ・ 日程と時間帯が限られている。
- ・ 曜日、時間がかなり限定されている点が、より多くの人が検査を受ける機会を少なくしていると思う。
- ・ 週に 2 回くらい検査日があった方がいいのでは？
- ・ 毎週 1 回のみというのが、働く者にとって、検査機会を少なくしていると思う。もう少し機会を増やして欲しい。
- ・ 毎日検査すると良い。又は月、水、金。時間は午後 2～4 時頃迄に、午前 10～12 時頃を。
- ・ 休日も検査日にして頂きたいです（仕事の都合でなかなか来ることが出来ない為）。
- ・ 夜の仕事をしているため、遅い時間帯の検査及び発表の設定をしてほしい。
- ・ できれば平日は毎日やっていただきたいです。
- ・ 曜日、時間帯を増やして欲しい。
- ・ 検査の時間帯、曜日はもう少し範囲が広い方が来やすいと思う。
- ・ 時間帯を午後もやってほしい。もう少し受付時間が長ければいいと思う。仕事をしていると昼休みの方が会社を出やすい。
- ・ 検査の曜日と時間帯が幅広くなるといいなと思います。
- ・ 午後も実施していただければ、より便利になると思います。
- ・ 時間帯が短いので、昼前ぐらいまで伸ばして欲しい。朝だけだとかなり来れる日が限られて 1 カ月～2 カ月とか先送りになって「もういいや」とか思ったり…。時間帯を伸ばして欲しいです。
- ・ 時間帯に幅があれば、もっと来やすい。
- ・ 土、日や、仕事が終わってからも来れる夜の時間帯の受付があつたら良いと思います。
- ・ 仕事面などで、午前中のみというのが非常に難しく、土、日が無いのも毎回困っています。
- ・ 木曜以外にも夜間の検査があれば仕事をしている人も来やすいのではないかと思う。
- ・ 週 2 回、あるいは 1 日 2 回（午前、午後など）あってもいいのでは？HIV、梅毒、クラミジア以外の性感染症の検査もあればいいのでは？
- ・ 曜日と時間帯は仕事が忙しい人もいるので、夜の遅い時間まで開いているといいかと思います。
- ・ 結果発表を木曜日だけと限定しているのは、利用者には不便かと感じました。
- ・ 夜間検診が複数の場所で週 5 日（月～金）程度あれば検査希望者も増えるのでは。②12/1 AIDS DAY にあべのアポロビルでキャンペーンを行って検診をやっているが年 2 回～4 回（季節に 1 回）やってもらえると啓蒙にもつながると思います。
- ・ 曜日をもっと増やしていただければ嬉しいです。
- ・ 夜間に検査できるのは良いが、結果を 1 週間後に聞きに来るのがやや面倒だと思う。土日も検査できると良い（できるところもあると思いますが）。
- ・ 夜にやっているというのを知ったのは最近で、もしそうと知ったらくる人はたくさんいると思います。
- ・ できれば休日検診を増やしてほしい。
- ・ 仕事を持っている人は、夜間の時間を 6 時～10 時ぐらいまであれば利用しやすいと思います。
- ・ 結果報告日が木曜日の 6～8 時に限られているのはなぜなのか。
- ・ 働いている人の為に、平日の夜の検査日を増やしてもらえれば、もっと手軽に検査に来れる。
- ・ 夜間の時間帯にもやってほしかった。
- ・ 曜日は週 2 回ぐらい、時間帯はもう少し幅をもたせれば最高です。
- ・ 週 2、検査日を設けて欲しい。
- ・ 時間帯は増やすべきである。曜日も増やすべきである。
- ・ 各区に平日夕方からも受けられるようにすれば、より検査を受ける人が増えると思う。予想以上に手

軽。性病検査までできるのはありがたい。病院でなら検査費高いし。

- ・特別な期間だけ（夏だけ、夏・冬の各一週間のみetc）でも良いので土曜日に設定してもらえると検査を受けやすい。
- ・自分が社会人と言う事もあり、土、日、以外は検査に行けない立場にあったので、本当に感謝しています。ボランティアの方々のおかげです。
- ・週に何度かあると来やすいように思います。
- ・今後、より多くの人が安心して受けられるよう多くの曜日、場所での検査があるようになってほしいと思います。
- ・時間帯、曜日はいろんな種類で、しかもいろいろな場所にして頂ければ。
- ・HIV検査のできる場所、時間帯にかなりの制限があるため、近くの市・区役所で受けられる様にしていただきたい。
- ・結果を聞きにくる日が限定されているので来にくい。

<人数制限>

- ・定員の30名になっていて検査を受けることが出来ずすごく悲しかったです。無料・即日なのはすごくいいと思います。
- ・先着30名に限定されているので、来たのに受けられなくて帰った人もいた。
- ・一番不満に思ったのは30人のみという間口の狭さです。
- ・問題点は定員30名というところ（これは仕方がないとは思っています。即日に検査結果をするので）

<結果伝達の工夫>

- ・検査サービスの時間帯についてですが、本人来訪の場合、午前中から結果通知ができたらよろしいと思った。
- ・結果を取りにくるのがいやだ。郵送か電話でできるようにしてください。もしくは代理人でもいけるようにしたら、もっと受けにくる人が増えると思う。

(2) 検査結果にかかる時間の関する意見

<即日検査・早い結果返し>

- ・告知が即日なところが少ない。
- ・24時間迅速検査の体制を求めます。
- ・即日に結果がわかるという事が非常にありがたく思いました。
- ・即日検査ができるところをふやすべき。
- ・時間がかかるのは仕方がないことですし、時間を決めて、その時間が来るまでは外で待っているというのは時間を自由に使っていいと思いました。本当は国民全員に受けてもらいたい検査ですから24時間365日、迅速検査を行ってもらいたいです。
- ・即日検査も可能であればお願いしたい。
- ・他の検査所では、大抵は一週間結果を待たなければいけませんが、これは不安で悩む人にとって非常に心配な一週間です。こちらのような即日検査結果が出るところは素晴らしい、他の検査機関でも即日検査が実施できいたら良いと思います。
- ・検査結果をちょっと早く（2日～3日）にしてほしい。
- ・検査後結果の時間が早ければ早いほど良いのではないかと思います。待ち時間があればあるほど検査を受けた人は不安になるのではないかと思います。

<一週間は長い>

- ・検査結果がわかるまで1週間は長く、少しでも早くわかるようにしてほしい。
- ・告知方法は、こわい…ドキドキ。一週間長い。
- ・1週間は長い。
- ・特に問題はないと思う。（梅毒、クラミジアの）簡単な質問にも丁寧に説明を受けた。検査から1週間かかるのが、その間不安が一杯なのでもっと短い時間でわかればよいと思う。

(3) 待合室のプライバシーに関する意見

- ・待合室も個別で仕切って欲しい。

- ・ 結果を伝えられる時に関しては満足しているが、検査に来た時、採血までの待ち時間に色々な人たちと顔を合わせる事が多く、もう少し会わないようにしてほしいとは思いました。
- ・ 査結果の告知の仕方はプライバシーをもっと配慮するように、外に音がもれない部屋でするべきだと思います。カーテンで遮るだけだったので、声が外にもれているのでは、結果を聞かれたくない人もいると思うので。
- ・ 結果を伝える声がカーテン越しに筒抜けと感じた。
- ・ プライバシーに関する配慮はIDナンバー、個室等は良かったが、待合室、整理券をもらうまでに待つ場所等が改善できるならば、していただけるといいかなと思いました。
- ・ 待合室で他人と顔を合わせないようになれば良い。また結果は郵送やインターネットなどで分かっても良いと思います。その場で受付してすぐ検査できるのが良かったです。
- ・ もう少し検査者が顔を合わせないような配慮をお願いしたい。
- ・ しいて問題点を挙げれば、場所が狭いということでしょうか。
- ・ 検査中に待ってる人などと顔をあわせるのが少々難ありかなと。
- ・ プライバシーに対する配慮に不満あり。検査時に前後の人に顔を見られるのは、いかがなものでしょうか。改善を望みます。
- ・ できれば他の方と顔を合わせない様にしていただければ、ありがとうございます。
- ・ まったく人に会わないようになると、このビルに入る時にやはり気になる…。
- ・ 問題点は待つ場所です。
- ・ 受付に来る際も、検査の際も他の人と同じ所にいます。あ個別対応を望む人もいるかもしれません。
- ・ プライバシーの配慮はもっとして欲しい。

(4) 担当者の対応・態度に対する意見

<説明がよい>

- ・ きちんと説明してもらったので満足している。
- ・ わかりやすく説明してもらってよかったです、安心して受診できた。
- ・ 具体的に性行為の形態によって安全・不安全について説明があるのはよい。
- ・ 検査結果の時に、予防法等、危険行為を教えてもらえたのがよかったです。

<親切・丁寧>

- ・ 事前事後の説明は丁寧で細かい説明でした。
- ・ 担当者はしっかりしててよかったです。
- ・ 受付の方の対応が丁寧で良かったです。
- ・ スタッフの方はみんな丁寧で良かったです。
- ・ 皆さんやさしくてよかったです。
- ・ 検査の方は優しかったので安心しました。
- ・ 対応して下さった方々も非常に親切で、安心して検査を受ける事ができました。
- ・ 検査の手順、カウンセラーさん、受付さんの対応はとてもよく、安心して検査を受けられました。
- ・ 対応してくださるスタッフの方がとても親切で、すごくよかったです。
- ・ スタッフが大変配慮をして下さっているので、その点がとても良かった。
- ・ 検査をして下さった皆様の明るさによって救われました。有難う御座いました。
- ・ 検査担当者の方がとても丁寧で安心して検査を受けられました。
- ・ とても自然な感じがあり、個人を尊重してくれている感じでよかったです。
- ・ 職員さんは優しく対応していただいてありがとうございました。
- ・ 対応について非常にあかるく良いと思いました。
- ・ 対応は非常に良かったです。有料でも良い位です。
- ・ カウンセリングの方も受付の方もみなさんとても感じよく、安心しました。ちゃんとこれからの説明も丁寧にしてくれて助かりました。
- ・ 担当して頂いた方々が「今日はお越し頂いてありがとうございます。勇気が必要だったでしょうね」とねぎらいの言葉をかけてくれはって本当に心強かったです。検査の説明と検査結果をとてもていねいに説明してくれて嬉しかったです。

- ・ 看護士さんがとても良かったデス。

<対応への注文>

- ・ 以前（7年以上前）受けた時には事前カウンセリング（説明）が十分だった覚えがあるが、少し物足りなさを感じた。
- ・ 具体的なカウンセリングがやや物足りない気がします。

(5) 検査等へのPR不足の指摘

- ・ H I V検査で結果を知るのが恐いと思っている人は多いと思うので、検査をしましょうとだけ呼びかけるのではなく、治療効果なども説明していけば、より一層検査に関心をもてると思う。
- ・ このような制度があることが、まだまだ普及していないように思われ、住民全体に対するPR等が必要と思っています。
- ・ もっともっとみんなが関心を持ち、又、こういう場所等の啓蒙にも力を入れて下さい。
- ・ H I Vがどれだけ恐い病気なのかを知らない人が日本人には多いと思います。TVのCMや、病院で告知をするのと、小学校から教えていったほうがいいと思います。
- ・ もっとH I Vの医療は進んでいる、検査に行くのは恥ずかしくない当たり前、コンドームを女性が持ち歩くのも当たり前の、閉鎖的なところを除くようにどんどん公共広告していくと、H I Vの広がりもくい止められると思います。
- ・ テレビのCMなどでみんなに呼びかけているのは良い事だと思います。みんながもっと簡単に検査できるように検査の方法だけでなく、事前事後のカウンセリングが具体的にみんな告知できれば日本人の意識レベルが高まると思います。

(6) 特になし

- ・ こんなもんではないですかね。
- ・ 特になし（4件）。
- ・ とても良い対応でよかったです。
- ・ 今後もこのような機会を続けてほしいと思います。
- ・ 不快な印象はなく、非常に適切であったと思います。
- ・ 良かったです。
- ・ 無料検査ありがたい（3件）。

(7) その他

- ・ 一般健診に取り入れたりできないのでしょうか。
- ・ 重要性が叫ばれているのなら、なぜ通常の健康診断で行わないのか？
- ・ 採血が痛い、怖い。痛くない注射針の開発をしてほしい。
- ・ 人が少なくてよかったです。
- ・ 国がもっと多くの人が当然に検査を受ける環境をつくるべきだと思います。
- ・ 現在のところ検査項目はH I V、梅毒、クラミジアの3点のみとなってはいるのですが、出来れば他の性感染症（C型肝炎等）も含めていただきたい。各性感染症に感染する可能性の有る性行為について詳しく書かれた小冊子があればよいと思います。
- ・ 特に問題すべき不満な点はありませんでした。ただ数名の人が来るので採取者（看護士）さんはゴム手袋をした方がいいと思った。
- ・ カウンセリングは事前より事後に重点を置いたほうがいいと思います。知識が少ない点とたとえ知識があったとしてもパニックになってしまう事が考えられるからです。
- ・ 検査を受けた動機、心当たりについての調査がなく、プライバシーについて安心できる。
- ・ 海外に長く滞在していたため検査にきました。プライバシーへの配慮は特に大事ですが、もっと身近な病気として、もっと明るく検査出来ればと思います。
- ・ 過去に別のある保健所で検査した時の事前のカウンセリングで、話したくもないのに感染機会のあった状況について根掘り葉掘り聞かれていやな思いをした事があったのですが、ここではそのような事が全くなかったので良かったと思います。他の検査場でもそうであってほしいと思います。

資料 21

形成調査 7 の大阪府保健所の調査における自由記述回答の内容のまとめ

1. 質問内容

質問 D「本日の HIV 検査について、具体的に、どのような問題点があり、それをどのように改善すればよいかの提案（時間帯、曜日、迅速検査、受付、事前事後のカウンセリング、告知の仕方、プライバシーの配慮など）があればお書きください。また、よかった点があれば、それもお書きください。今後の改善の上で重要ですので、できるだけ多くお書きいただければ幸いです。ただしご自分の特定につながるような個人情報は含めないように御願いします。」

2. 回答数

313 人の回答者のうち、172 人から有効な自由記述回答が得られた。

3. 回答内容の集計

* 同じ人の回答に複数の内容が含まれる場合は、分割して集計。

内容	件数
(1) 検査に関する意見	
<検査の曜日・時間帯>	73
<結果伝達の工夫>	4
<待ち時間の長さ>	2
(2) 検査結果にかかる時間に関する意見	
<即日検査・早い結果返し>	13
<一週間は長い>	4
(3) 待合室のプライバシーに関する意見	16
(4) 施設内の案内に関する意見	5
(5) 担当者の対応・態度に対する意見	
<説明がよい>	14
<プライバシー配慮評価>	5
<親切・丁寧>	24
<対応への注文>	2
(6) 性的指向への配慮	3
(7) 検査等への PR 不足の指摘	9
(8) 説明不足の指摘	7
(9) 特に問題なし	18
(10) その他	10

4. 回答内容の具体例

- 表現はプライバシーに触れないように改変・短縮
- 複数の内容が含まれる場合は、分割して分類。

(1) 検査に関する意見

<検査の曜日・時間帯>

- 月～金曜日は働いているので、土曜日にしていただけると助かります。
- やはり曜日、時間帯が限定しそう。仕事等で来れない人がいると思う。
- できれば土曜日の午前中とかにしてほしい。
- 曜日を増やして欲しい
- 曜日と時間帯が限られているので平日に休みの取れない方などは受けたくても受けられない。
- 曜日、時間帯がかなり限られていて、よほどでないと検査出来ないのはどうかと思う。
- 曜日は木曜でも良いけど、2:00～3:00 だと学生は来れない（早退しないといけない）。2:00～3:00 にするなら土曜や日曜の学校のない日か、木曜なら時間をもっと遅くして欲しいと思った。
- 土日に受けられるようにして欲しい。事前のカウンセリングが良かった。

- ・ 時間帯、曜日についてはもう少し自由に来れるようにしてもらいたい。今のままだと検査をしたくても出来ない人が出てくると思う。
- ・ 時間帯について、朝早くやった（8:00or9:00とか）又、夜遅くやった方がいいと思う。
- ・ 週に1度、1時間のみの検査では来れるチャンスが少ない。
- ・ 曜日を増やして欲しい。
- ・ 曜日、時間帯を問わず受診できるようにして欲しい。
- ・ 木曜日に検査を受けたのですが、平日だけではなく、隔週でも良いから土、日に検査日があるとよい。
- ・ 仕事をしているので、平日の昼間來るのがむずかしい。土・日も行っていただけると尚良い。
- ・ 平日の1時間や限られた時間帯設定では本当は受けたいと考えている人が受けられない可能性がある。
- ・ 検査の曜日と時間帯をもう少し増やしてほしい。
- ・ 仕事などで平日来れない人もたくさんいると思うので、時間帯を長くするか、土曜日の午前だけでも検査を受けられるなどしてもらえるとよい
- ・ 平日午前・午後はで有休をとらないといけない。大阪の都市でも土・日はやっているが地元でも行けるようにして欲しい。病院では1万円弱かかり、時間の都合からお金がかかる方を選ばないといけない時があった。いつでもどこでも受けれる体制にして欲しい。
- ・ 時間帯、曜日を土、日、祝日でも受けれるようにしていただきたい。（どこでも）
- ・ 検査できる日程がもう少し多ければありがたい。あと時間帯ももう少し長い方が嬉しいです。
- ・ 週1日だけじゃなくて日数をもっと増やしたらいいと思う。時間帯も長めにするとか…。
- ・ 曜日を増やして欲しい。
- ・ 水曜日しかやってないのは…土日もやってほしい。夜もやってほしいです。
- ・ 平日の昼間の限られた時間で来て検査できるひとは非常に少ないと思います。
- ・ 曜日、時間帯を増やして欲しい。
- ・ 土曜日・日曜日の検査や平日であれば、夜間も検査が受けれるようにして欲しいです。
- ・ 検査日・時間がかなり限定されているので、他の曜日・時間にでも予約をすれば、検査をしていただけるとありがたいです。
- ・ 夜間・休日にできる所をもっと増やして欲しい。
- ・ 検査の日と結果を受ける2回も平日に会社を休まねばならない。土日か夜間にも検査をして欲しい。
- ・ 週一回でお願いしたい。時間帯も終日やって欲しい。
- ・ 曜日がもっとあったらいいと思います。
- ・ 土曜日に対応してもらいたいです。
- ・ 時間帯や曜日をいつでもいけるようにしてほしい。
- ・ もう少し受付時間・日に幅があればいいなあ…
- ・ 曜日や時間帯の選択の幅をもっと広げてほしい。（できれば、いつでも可能等）
- ・ 仕事の都合などもあるので検査日や結果日、時間などもう少し多くしたら良いかと思います。
- ・ 普段月～土まで仕事をしているので、平日の昼間にわざわざ時間を作るのは大変でした。会社に理由をつくるのが面倒でした。もっと多くの人が行きやすい日・時間帯でやっていればいいと思います。
- ・ 休日でも開いていると良いと感じた。
- ・ 平日夜間、土日祝日等に受けることができる場所を増やして欲しいです。
- ・ 時間や曜日が難しい時間帯だと思いました。
- ・ 曜日、時間帯が大変制約されておりもっと拡大してほしい。
- ・ 曜日、特に時間も短いので仕事の都合がつけにくく、なかなか来れませんでした。
- ・ 検査を受ける時間、曜日をふやしたらもっと検査しやすくなると思う。
- ・ もう少し検査できる曜日と時間帯をふやして欲しい。
- ・ もう少し曜日を増やすほうが、来る方が増えるんではないかと思います。
- ・ 時間と曜日をもっと増やした方がいいかと思う。
- ・ 平日の晚にも検査があればよい。
- ・ 検査曜日を増やすと良いと思う（週2程）。
- ・ もう少し検査の時間帯を長くしてほしい。
- ・ 検査を受ける時間帯、曜日が非常に限られている。これでは働き出すと受けられなくなると思う。
- ・ 曜日などが増えてもう少し来やすければ良いと思いますが、検査を受ける人の数を考えると今の状態しかないかなと思います。
- ・ 時間帯を昼だけでなく夜や、曜日も増やすと良いと思います。
- ・ 時間帯は問題ないですが、曜日がすごく限定されてるのが不満です。〇〇保健所は第〇曜日のみといったよ

うにかなり制限があるので、仕事している人は検査に来にくいと思います。

- ・ 検査を受けに来ている人数は確かに少ないので、病気が病気だけに、時間帯、曜日を広く設定し、もう少し受けやすい環境を作った方がよいのではないかと思う。
- ・ 受付日、時間帯は拡大すべきだと思う。毎日とはいはずとも、週2日、平日と土曜日や日曜日と、働く人のタイプによって選択できるようになってほしい。時間帯も午前・午後に分けることが必要ではないか。
- ・ 検査を受けられる日が少なすぎるよう感じられます。
- ・ 時間帯は午後にも設けてほしい。
- ・ 結果の曜日ももっと色々あつたら助かります。
- ・ 検査日、時間の拡大。
- ・ 受付時間が2時～3時の1時間しか無いのが少し不満である。
- ・ 検査日はいつでも実施できるようにして欲しい。検査結果を電話で回答できるようにして欲しい。
- ・ 検査結果について、時間帯にもう少し幅があれば良いと思った。あるいは時間指定ができるような仕組みになつていれば良かった。
- ・ 仕事があるので時間帯を増やしてほしいと思いました。
- ・ 時間帯が朝早く、平日なのでしんどかった。
- ・ 午後6時以降～7時の時間帯があれば、仕事を休めない人も受けに行きやすいと思います。この時間帯で開けってくれている保健所が少ない。
- ・ 検査日がもう少し、ふえれば良いなと思いました。できれば毎週が良いです。
- ・ 学生にとってこの時間帯は少し難しいと思った。
- ・ 足を運びやすいような時間、5:00以降等に検査があつてもうれしい。
- ・ 毎週とか、少し日数を増やしたら、お仕事されている方でも来やすいと思います。
- ・ 結果の時間帯はやはり夜の方が好ましい。
- ・ 時間帯や曜日は不便な人もいるかもしれないが、梅田やなんばで土日に実施しているのでいいと思う。
- ・ 木曜日（14:00～15:00）という時間帯では、普通であれば都合をつけるのは難しいと思います。

<結果伝達の工夫>

- ・ 一週間後の平日に、また結果を受け取りに来る事も大変困難です。以前他の国で経験したことですが、検査の結果が出たころに、あらかじめもらった（パスワード：番号）を使い、いつでも電話で結果確認ができるシステムがあれば、便利だと思います。病院（保健所）等へ行く事が一度ですみます。
- ・ 平日の昼間という時間帯が来にくいです。夜間か土・日もあると人が来やすいと思います。希望者には郵送しても良いかと思います。
- ・ 勤めていたら中々検査にこれない。また取りにこれない。時間外に取りにこれるようなシステムがあればよいと思う。
- ・ 検査曜日は特定の日でもよいが、結果は1週間後であれば、いつでも解るようにまた郵送（局留）等も利用できるようにして頂ければうれしいです。

<待ち時間の長さ>

- ・ 30分位あれば全て終わると思いましたが、混んでいたためか、1時間費やしました。
- ・ 待ち時間が長すぎる。

（2）検査結果にかかる時間に対する意見

<即日検査・早い結果返し>

- ・ 検査結果を当日にしてもらいたい。
- ・ 即日検査もして欲しいです。
- ・ 迅速検査
- ・ 結果が即日わかるようにしてもらえば、もっと気軽に受信できるようになると思います。
- ・ 迅速検査にしてもらいたい。
- ・ 検査結果が出るまでの時間を短縮してほしいです。例）1週間→即日
- ・ 検査結果については、所要1週間とのことだったが、出来れば、即日から翌日で分かれれば良い。
- ・ 検査の結果が出るのに、1週間かかるというのがやはり不安で一杯になる。もう少し、早いこと結果が出れば良いと思う。
- ・ HIVの検査の結果を早く出して欲しいです。
- ・ 出来るだけ早く結果を聞きたい。
- ・ 結果が出るまでの時間を短縮して欲しいです。
- ・ 希望としては、結果は早いにこしたことはないと思う

- ・簡単な結果をはやめに教えてもらえたと思います。
- ・<一週間は長い>
- ・1週間待たなくてはいけないのが辛い。
- ・検査当日に結果を知りたかった。一週間つらかった。
- ・結果通知が1週間後でしたので、その間は不安でいっぱいでした。
- ・1週間の待ち時間があったため非常にこわかった。できればもっと早く、結果を出していただきたい。

(3) 待合室のプライバシーに関する意見

- ・待合室のプライバシーの保護。
- ・待ち合いの場所で知り合いに会う可能性もあるので、もう少しプライバシーに配慮して欲しい。
- ・ジロジロと他の検査を受ける人にも見られてあまりプライバシーがあるとは思えない。(待合中)
- ・待合場所の雰囲気は良くないとは思うが、皆気恥ずかしい気持ちがあるので仕方がないとは思う。少しでもいいから囲いなどを作つてやるとよいのではないか?
- ・待合室がオーブンすぎる感じがしてやや不満。
- ・待合場所をもう少し工夫した方が良いと思う。
- ・受付・待合も個室の方がいい。
- ・待合室で知人に会つたりしない様にカーテンなど増やした方がいいと思います。
- ・待合室がロビーであり、他の職員の人などと顔を合わしたりして少しそうしたかったです。ポスターには匿名と書かれているから安心して来ましたが、待合室では顔がバレるということで自分の近くの保健所では受けたくないと思いました。もう少しプライバシーの件を配慮しないと検査を受けに来る人が増えないと思います。
- ・プライバシー保護の割には、カーテンなど待ち合い場所にもっとつけて欲しい。
- ・保健所の入ったすぐの場所が待合となつたので部屋を用意頂けたらありがたい。
- ・匿名なのに、待合室が狭くまわりの方にすぐ検査対象者だという事がバレてしまい少し嫌でした。
- ・匿名であるにも関わらず、待合室で被験者が顔を合わせたりしていたら意味がないのでは?。予約制や、待ち時間のスライド化などの工夫してみてはいかがでしょうか?
- ・不安を増長させる雰囲気の部屋だった。(待合室、カウンセリング室)
- ・採血の時の場所を保護するものはあったが(ついたてみたいな物)、横の人が丸見えで、視線も気になるし、雑談しているし、気になる人は気になると思う。なるべく誰とも会いたくないのだから。プライバシーの保護が中途半端な気がする。
- ・相談、カウンセリングは個室でおこなってくれるが、事務所で血液検査のことを聞くのであれば意味がないのではないか?!

(4) 施設内の案内に関する意見

- ・受付が不明。結果を聞きにくる時もどこに行けばよいかわからない。
- ・受付時どこに行けばよいかわからない。
- ・受取に来た時の受付が解りづらい。
- ・受付の場所が分かりにくいです。個室なので、よかったです。
- ・入り口からすぐ進行方向が分かる様に矢印などがあればもっと分かりやすく、入りやすいのでは?

(5) 担当者の対応・態度に関する意見

<説明がよい>

- ・説明は丁寧でゆったりとしていて良かったです。
- ・HIV/AIDSに関しての説明がきちんとなされていた点が非常に良かった。
- ・検査担当者の方の説明で簡潔でよかったです。
- ・きちんと説明していただき満足しています。
- ・とてもわかりやすく説明してもらいました。
- ・とても分かりやすい説明と丁寧な対応をしていただきありがとうございました。
- ・説明が分かりやすかったです。
- ・説明もわかりやすく優しくて良かったです。友達にもオススメします。
- ・とても細かく、説明とアドバイスをいただけてよかったです。自分で少しあいまいであった知識の部分も説明いだいてよくわかった。

- 担当の方はとても親切で、すべての質問について丁寧に答えてくださいました。なかなか普通の機関で専門家の方とお話ししていただく機会がないので、いろんな相談ができる助かりました。
- 分かり易く説明していただいた点がとても良く、安心できました。
- 丁寧に説明して下さってビックリしました。(市役所の人とかの対応は事務的なことが多かったので。)
- 説明もわかりやすく、丁寧にしていただいて本当に良かったです。
- 多少の不安がありましたら係の女性がわかりやすく説明してくれたので安心して友人知人にも教える事ができます。ありがとうございました。

<プライバシー配慮評価>

- 匿名で受ける事ができて、プライバシーも配慮されていましたので、良かったです。
- プライバシーの配慮は問題ないです。
- 検査自体は非常に迅速でプライバシーも考慮して頂きよかったです。
- プライバシーの配慮などはとても良かったと思います。
- プライバシーに対する配慮が非常にいきとどいていることにびっくりしました。安心して受けられるというのが今回の一番の印象です。周りの友人にもすすめたいと思います。

<親切・丁寧>

- 職員の方々の対応や態度にはすごく満足している。
- 受付（担当者）の人達もやさしかったので緊張しなくてよかったです。
- 相談にのってくださり、いろいろなアドバイスもして頂き、感謝しています。
- 親切に相談に乗ってくれた。
- 対応が良くて話しやすかった。
- 笑顔で案内してくれたので安心できた。
- 担当の方が親切で、よかったです。
- 結果担当者の態度が非常に適切で好感を持たれました。ありがとうございました。
- 良い対応してくれたし、別になんにも言うことないです！
- 受け付けして下さった方が笑顔で対応してくださったので不安が軽減されました。
- ていねいな対応で満足している。
- 全体にわたりプライバシーの配慮を感じられ良かったと思う。
- とても良かったです。何を聞いてもふしんがらず聞いてくれてうれしかった。
- 事前事後の担当のカウンセリング職員の対応には満足していますが、
- 対応はすごく安心できましたし、HIVの検査は受けておいてよかったです。
- 話しやすいので、検査に抵抗がなかった。
- とても話しやすく、結果についてもわかりやすく説明してもらいました。親切、親身に対応していただき、ありがとうございました。
- 担当者の方の対応も優しく、とても快く感じました。
- 親切な対応ありがとうございました。
- 相談にのってもらえたのでよかったです。今後の生活態度も改めようと思います。性病のことを考えるよいきっかけになりました。
- カウンセリングの方と採血をして下さる方が穏やかで、優しくて安心した。
- カウンセリングの人が優しかった。
- カウンセリングの方の対応はとっても良かった。一番初め不安だったが、とっても優しかったから来てくれたと思った。
- 親身になってカウンセリングしてくれた。

<対応への注文>

- 保健所の受付で HIV 検査の担当者を呼んでもらうようにお願いした時に、職員全員に聞こえるような大声で「エイズ検査」と言われ少しつらかったです。
- 告知の仕方について→相当緊張した。

(6) 性的指向への配慮

- 性的指向に対しての寛容な態度は良かったです。
- 以前に検査した時は、結果担当者が、僕の性的指向（ゲイ）を考えずにストレートだという前提で話していたのが、少し不満でした。今回は、特に僕がどういった性的指向であるかということは担当の方は話されなかったので、前回よりも満足しています。
- 特に目につく問題点は見受けられなかったが、やはり同性愛者のカウンセラーの方などいらっしゃれば深い

話が出来たと思います。そういう方の募集もしてみてはいかがでしょう？

(7) 検査等のPR不足の指摘

- ・ もっともっと気楽に来る事ができる様にCMするべきだ。
- ・ 保健所の前にポスター（検査、本日やっています）でアピールや、近くの中・高校へアピールしたり、イベントなどをやるともっとみんなに知られると思います。
- ・ HIV検査についての周知が十分とはいえず、検査がなされるに際し、十分にプライバシー保護が図られていることをもっと広く知らせるべきと思う。
- ・ （検査の情報が）若い人に浸透していないのでもっといろんな所で周知をした方がいいと思います。
- ・ テレビで無記名、無料という事が解り安心して保健所へ電話致しました。来て良かったと思います。
- ・ 検査している事が分かりにくいので、知らない人も多いと思う。インターネットや携帯で調べれば、いつ、どこで検査しているか分かるので、そのことをCMなどでしたり、ポスターで検査の案内をしたらもっと多くの人が受けれると思う。
- ・ 無料で検査が出来ることは知らなかっただし、こんな近くでも検査が出来るとも知らなかっただけです。
- ・ インターネットで調べてきたのですが、曜日ごとに検査している曜日が違い、都合の合う保健所に行けば、いつでも検査が受けれるので良かった。インターネットで調べれば保健所で検査が受けれる事をもっと伝えないと良いと思う。
- ・ 私が保健所で検査をしてくれる事を知りませんでした。そういった人がたくさんいると思うので、もっと広げた方がいいと思います。

(8) 説明不足の指摘

- ・ クラミジアなど+の結果が出たときに検査や治療できる病院を具体的に教えてほしい。また、あの注意点までも結果時に詳しくカウンセリングを受けたい。
- ・ 検査の正観性についての説明が欠けている。
- ・ 3週間以上経過しないと検査結果がわからない事と別にこの検査だけでは100%HIVキャリアかどうか判明しないという点についての説明がわかりづらかった。
- ・ HIVについての説明書きのレベルがどれも浅く同じレベル。ウイルスについて、感染機序についてもっと専門的な詳しい説明をして、HIVについてアナウンスをしても良いと感じた。
- ・ 匿名の検査については、番号にするなどの工夫があつてもいいように思う。
- ・ ホームページに「気になる事があって 3ヶ月経たないと正確な検査結果が出ない」と書いておいてもらえば良かった。
- ・ もう少しくわしくも言ってほしい。

(9) 特に問題なし

- ・ 特になし（18件）

(10) その他

- ・ 診断書がもらえて自分の相手（彼氏や彼女）に報告できる、また証拠となるのでありがたい。
- ・ 病院だけでなく、診断書の発行もして欲しい。
- ・ 普通は、体調が悪く病院に行って血液検査を受けるときに、ついでにHIV検査をしたい。また関心がない人に検査をさせる場合に、他の検査のために病院で採血のついでにHIV検査をさせたい。病院での検査も無料にして欲しい。
- ・ 極度の不安の方もいると思うので、必記≠（問診）で済ませられる質問はそうすれば、来られた方の気持ちを必要以上に刺激しないと思います。接する人が少ない方が安心だと思うし、会話の少ない方が安心な方もおられると思います。
- ・ HIVに対する理解が深まり、意識の改善につながりました。
- ・ 音楽を流しているところが安心出来ました。選曲もよく、カウンセリングも外に聴こえないと思ったので安心してカウンセリング・検査を受ける事が出来ました。
- ・ 自分で封を開けてくださいと言われるのはプレッシャーがありました。
- ・ 欲をいえば他にも検査項目を増やして頂けるとありがたいです。
- ・ 待合室のパンフ レットは、他の人がいると取りにくい。正面ではなく背後に設置するようにしたい。
- ・ エイズ等のパンフレットは、駅等にも置いて欲しい。